

アロバビュークライアント 設定 & 操作マニュアル

第 22 版 2017/01

1

目次

1 お断り	6
2 動作環境	7
2.1 対応 OS	7
2.2 対応ブラウザ	7
3 インストールの前に	8
3.1 アンチウイルスソフトがインストールされている環境について	8
4 インストール・起動	9
4.1 事前準備	9
4.2 アロバビュークライアントのインストール	10
4.3 Internet Explorer のインターネットオプションについて(必要な場合のみ)	15
5 基本画面	16
5.1 メニューバー[共通]	17
5.2 カメラツールバー[共通]	19
5.2.1 カメラ操作リモコンパネル[ライブモード]	20
5.3 メイン操作パネル[録再モード]	21
5.3.1 ①録画操作パネル	21
5.3.2 ②グラフィカルチャート	22
5.3.3 ③サムネイルビューエリア	23
6 ログアウト／終了	24
6.1 ログアウトするには	24
6.2 終了するには	25
7 環境設定	26
7.1 [全般]タブ	27
7.2 [保存]タブ	29
7.3 [メニュー]タブ	30
7.4 [カメラツールバー]タブ	31
7.5 [録画再生]タブ	32
7.6 [イベント通知]タブ	33
7.7 [マップ]タブ	35
7.8 [映像表示]タブ	36
8 ユーザー設定	38
8.1 ユーザー情報	39

9 管理者設定	40
9.1 カメラグループ.....	41
9.1.1 カメラグループとは.....	41
9.1.2 カメラグループを登録するには.....	41
9.1.3 カメラグループの名前を変更するには.....	43
9.1.4 カメラグループを削除するには.....	44
9.2 カメラ.....	45
9.2.1 カメラを登録するには	46
9.2.2 カメラの設定を変更するには	55
9.2.3 カメラを削除するには	56
9.2.4 カメラグループを移動するには.....	57
9.3 カスタムビュー.....	58
9.3.1 カスタムビューとは	58
9.3.2 カスタムビューを登録するには.....	58
ローテーション表示について	60
9.3.3 カスタムビューの内容を変更するには.....	61
9.3.4 カスタムビューを削除するには.....	62
9.4 録画スケジュール	63
9.4.1 録画スケジュールを設定するには	63
9.5 ユーザー	65
9.5.1 ユーザーを登録するには	65
9.5.2 ユーザー情報を変更するには	66
9.5.3 ユーザーを削除するには	67
9.5.4 GUEST ユーザを登録するには	68
9.6 管理者	69
9.6.1 システム管理者とカメラグループ管理者	69
9.6.2 システム管理者を設定するには.....	70
9.6.3 カメラグループ管理者を設定するには.....	71
9.7 ユーザ権限.....	72
9.8 ログ閲覧	74
サービスコントロールセンターの起動から設定まで	75

9.9 システム設定	76
9.9.1 録画再生の設定を行うには	76
9.10 閉じる	76
10 操作	77
10.1 ライブモード	78
10.1.1 ビューを表示するには	78
10.1.2 カスタムビューの操作	79
10.1.3 ホームビューを表示するには	80
10.1.4 ArobaView Commander を使用するには	80
10.1.5 ライフチェックコンソール機能を使用するには	81
10.1.6 スナップショットを撮影するには	83
10.1.7 スナップムービーを録画するには	84
10.1.8 カメラを操作するには	84
10.1.9 ジョイスティックコントロール機能を使用するには	86
10.1.10 クリックオンセンタリング機能を使用するには	87
10.1.11 PC 側から音を出すには(発声)	88
10.1.12 PC 側で音声を聞くには(集音)	89
10.1.13 デジタルズームを使うには	90
10.1.14 マルチモニタで使用するには	91
10.2 録再モード	93
10.2.1 録画データを再生するには	93
10.2.2 再生したいビューを選択するには	97
10.2.3 グラフィカルチャートから録画データを探すには	98
10.2.4 サムネイルから録画データを探すには	99
10.2.5 さまざまな再生方法	100
10.2.6 録画したカメラ画像を印刷するには	103
10.2.7 スナップショットを撮影するには	103
10.2.8 録音した音声を聞くには	104
10.2.9 デジタルズームを使うには	105
10.2.10 録画データをダウンロードするには	106

11 アンインストール	107
12 各種マニュアルの入手方法	109
12.1 アロバビュークライアント 設定 & 操作マニュアル	109
12.2 再生専用アプリケーション ArobaViewPlayer 操作ガイド	109
12.3 マップビュー 設定 & 操作マニュアル	109
12.4 ArobaViewCommander 設定 & 操作マニュアル	110
13 制限事項	111
14 トラブルシューティング	112
14.1 ログイン時	112
14.2 操作系	112
14.3 カメラ関連	113

1 お断り

- 本書は、本書作成時のソフトウェア及びハードウェアの情報に基づいて作成されています。その後、ソフトウェアのバージョンアップ等により、本書に記載されている内容とソフトウェアに搭載されている機能が異なっていることがあります。
- 本書の内容は、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の一部またはすべてを無断で複製、複製、改変することはその形態を問わず禁じます。
- 本書の内容については、万全を期して作成していますが、わかりにくい表現や記載漏れ、誤記などがございましたらご連絡ください。
- アロパビュー、ArobaView は株式会社ルクレの登録商標です。
- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における、商標ないし登録商標です。
- その他、本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。本マニュアルには™マーク、® マークは記載していません。

2 動作環境

2.1 対応 OS

- Windows 7 Professional SP1/Home Premium SP1 (日本語版)
- Windows 8.1/Windows 8.1 Pro (64bit/日本語版)
- Windows 10 Pro (64bit/日本語版)

※Windows 8.1/Windows 8.1 Pro/Windows 10 Pro の場合、デスクトップアプリとして動作します。

※64bitOS の場合、WOW64(Windows 32-bit On Windows 64-bit)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

2.2 対応ブラウザ

- Microsoft Internet Explorer 11

3 インストールの前に

ここではアロバビューインストール前の確認事項について解説します。インストール前に必ずご確認ください。

3.1 アンチウイルスソフトがインストールされている環境について

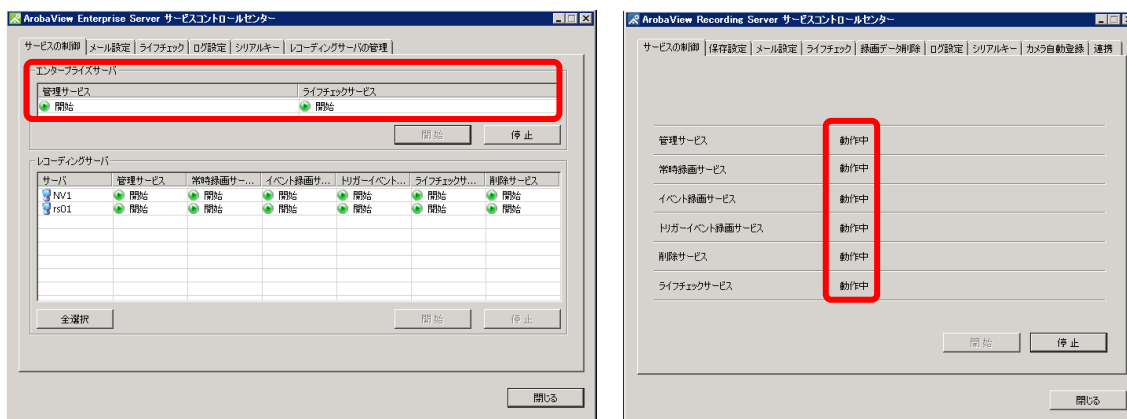
アロバビューではアンチウイルスソフトをインストールした環境での運用を動作対象外としています。アンチウイルスソフトをインストールしている環境でアロバビューを動作させた場合、アンチウイルスソフトのディスク監視機能やネットワーク監視機能などにより、予期せぬ事象が生じる可能性があります。事前に動作確認を行うなど、お客様責任での運用をお願いします。

4 インストール・起動

ここでは、アロバビュークライアントのダウンロードから起動までの手順を解説します。

4.1 事前準備

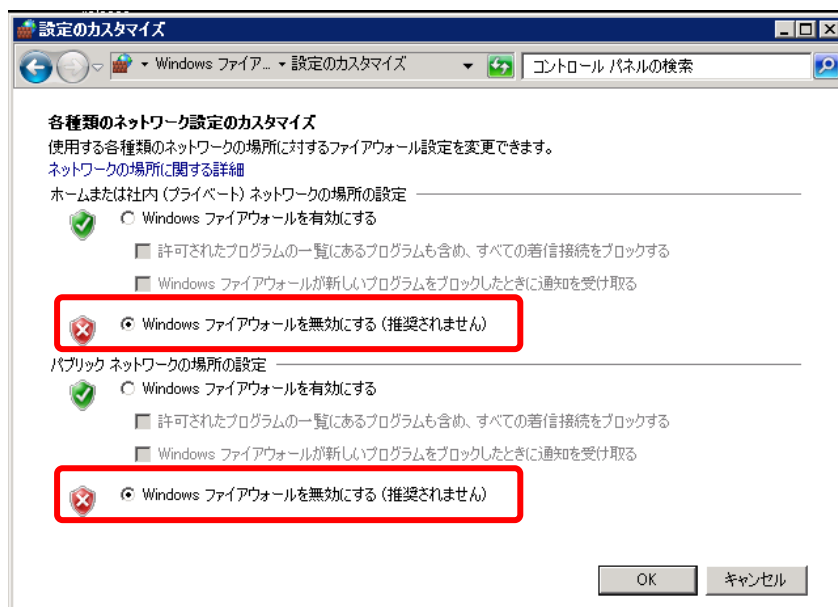
1. アロバビューをインストールしたサーバーで、アロバビューのサービスが開始されていることを確認します。



2. 必要に応じてサーバー側のファイアウォールが「無効」に設定されていることを確認します。

例: コントロールパネル > システムとセキュリティ > Windows ファイアウォール

> Windows ファイアウォールの状態の確認 > Windows ファイアウォールの有効化または無効化



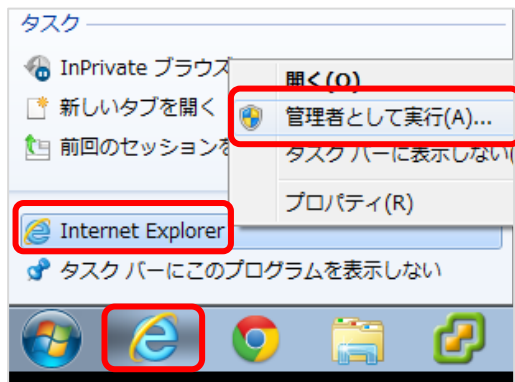
4.2 アロバビュークライアントのインストール

Microsoft Internet Explorer(以下、IE)を利用します。ダウンロードから起動まで自動で行われます。

1. IE を管理者権限で起動します。

例: Windows 7 の場合

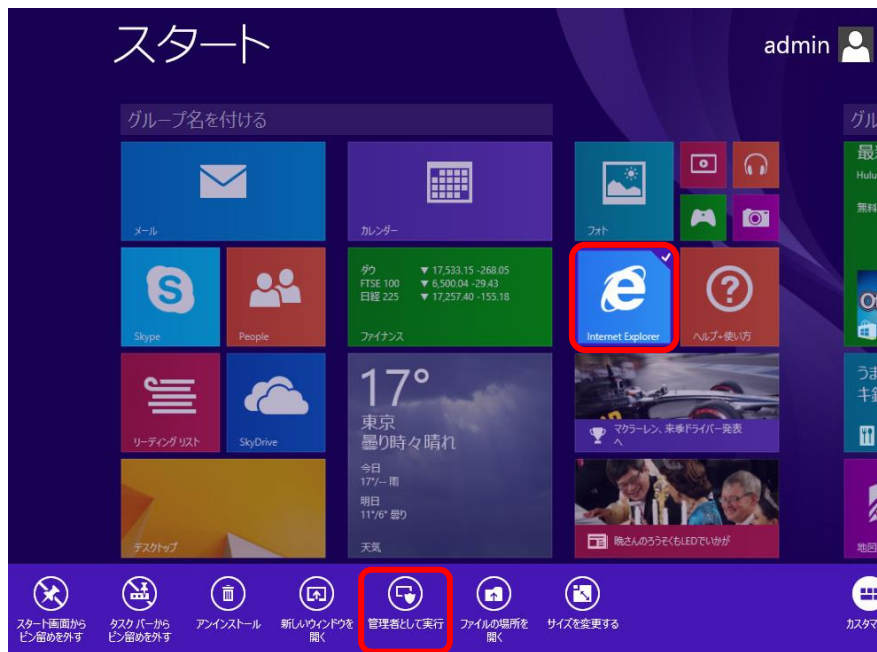
デスクトップの IE アイコンを右クリック>[Internet Explorer]を右クリック>[管理者として実行]をクリック



例: Windows 8.1/ 8.1 Pro の場合

スタート画面の IE アイコンを右クリック>[管理者として実行]をクリック

タスクバーに IE アイコンがある場合は Windows 7 と同じ手順で起動できます。



例: Windows 10 Pro の場合

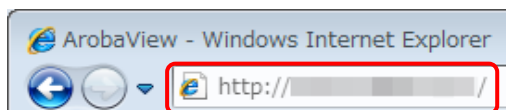
タスクバーの検索ボックスへ「ie」と入力します。



「Internet Explorer デスクトップアプリ」のアイコンが表示されますので、IE アイコンを右クリックし、「管理者として実行」を選択します。



2. アロバビューをインストールしたサーバーの IP アドレスをアドレスバーへ入力し、サーバーへアクセスします。



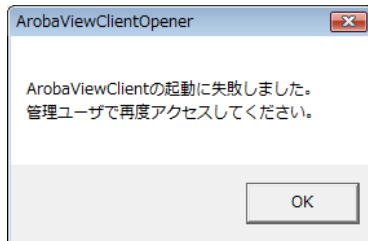
●カメラ管理ソフトウェア(レコーディングサーバー) (以下 RS) 単体で運用する場合の IP アドレス

http://RS のサーバーアドレス/**rs**/

●サーバー統合ソフトウェア(エンタープライズサーバー) (以下 ES) と連携して運用する場合の IP アドレス

http://ES のサーバーアドレス/**es**/

※ユーザーアカウント制御(UAC)の設定が有効のまま IE を実行すると、「ArobaViewClient の起動に失敗しました。管理ユーザで再度アクセスしてください」と表示されます。表示された場合は一旦ブラウザを終了し再度管理者で起動してください。

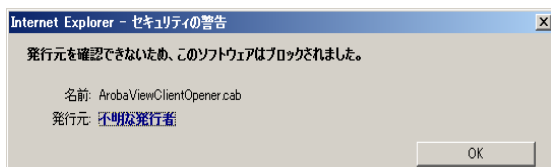


3. 以下のダイアログが表示された場合は[インストールする]を選択します。

アドオンのインストール確認が表示されたら[インストール]をクリックしてください。



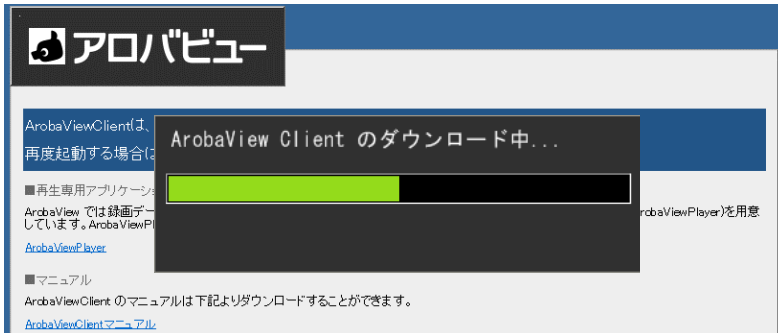
※クローズド環境(インターネットに接続されていない環境)で作業すると、以下ポップアップが表示され、ActiveX コントロールのダウンロードが実行されない場合があります。その場合はIEのセキュリティ設定を変更し、再度サーバーへアクセスしてください。



・設定変更手順

- ①[IE のツールバー]>[ツール]>[インターネットオプション]>[セキュリティ]タブを選択します。
- ②「信頼済みサイト」を選択して、「レベルのカスタマイズ」をクリックします。
- ③「ActiveX コントロールとプラグイン」欄の「未署名の ActiveX コントロールダウンロード」で「ダイアログを表示する」を選んで「OK」をクリックします。
- ③[インターネットオプション]のダイアログを閉じ再度アロバビューをインストールしたサーバーへアクセスします。

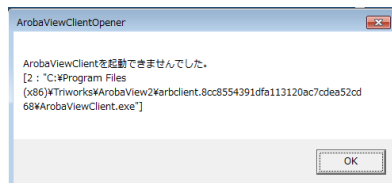
4. アロバビュークライアントのトップページが表示され、自動的にクライアントソフトのダウンロードを開始します。



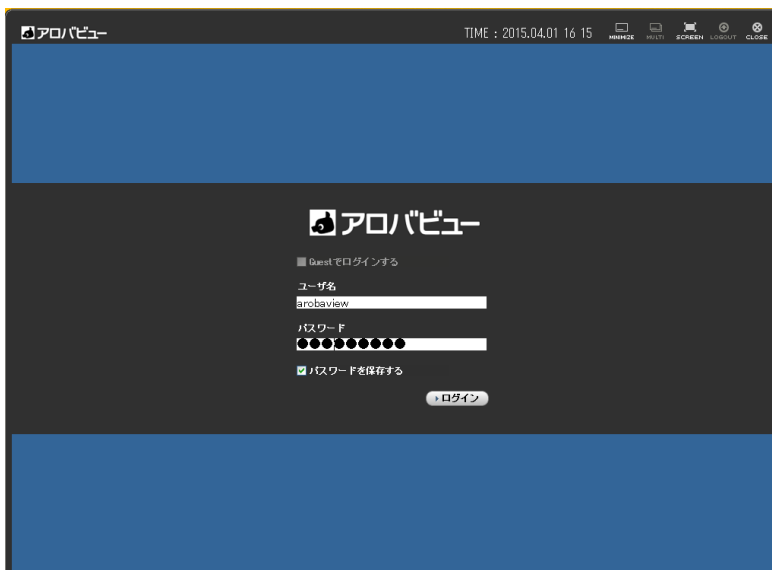
※ブラウザの仕様により、下記のダイアログが表示されアロバビュークライアントが起動しない場合があります。このダイアログが表示された場合は再度ブラウザからサーバーへアクセスしてください。



※下記ダイアログが数回続けて表示される場合はアロバビュークライアントをアンインストール後、再度サーバーへアクセスしてください。アンインストール手順は本手順書「アンインストール」の項をご参照ください。



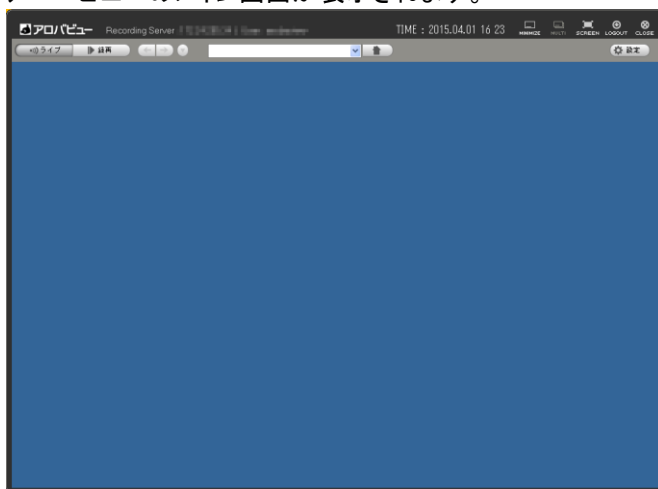
5. アロバビュークライアントが起動し、認証画面が表示されます。
 [ユーザ名]と[パスワード]を入力し、<ログイン>ボタンをクリックします。
 [パスワードを保存する]をチェックすれば、次回のログインから[ユーザ名]と[パスワード]が入力された状態で表示されます。初期値ではユーザ名/パスワードいずれも「arobaview」が設定されています。



ゲスト権限でログインするには[Guest でログインする]にチェックして<ログイン>ボタンをクリックしてください。
※事前に設定が必要です。設定に関しては「9.5.4 GUEST ユーザーを登録するには」を参照ください。



6. アロバビューのメイン画面が表示されます。



以上でアロバビュークライアントの起動は完了です。

4.3 Internet Explorer のインターネットオプションについて（必要な場合のみ）

IE の設定値（以下、インターネットオプション）によって、アロバビューククライアントが正常に利用できない場合がございます。正常に利用できない場合は、本資料を参考に設定値の変更をお試し下さい。

<設定項目について>

1. セキュリティタブの設定項目を以下に記載します。

●信頼済みサイト

信頼済みサイトにサーバの IP アドレスを追加します。

サイトを追加する際には「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする」のチェックを外した状態で追加します。

●このゾーンのセキュリティレベル

セキュリティレベルを「中」以下に設定します。

レベルがカスタマイズされている場合も「中」に設定してください。

●保護モードを有効にする

チェックを外して下さい。

2. 詳細設定タブの項目を以下に設定します。

●HTTP 設定

以下の項目にチェックを入れてください。

・HTTP1.1 を使用する

・プロキシ接続で HTTP1.1 を使用する

●セキュリティ

以下の項目にチェックを入れてください。

・TLS1.0 を使用する

・TLS1.1 を使用する

・TLS1.2 を使用する

5 基本画面

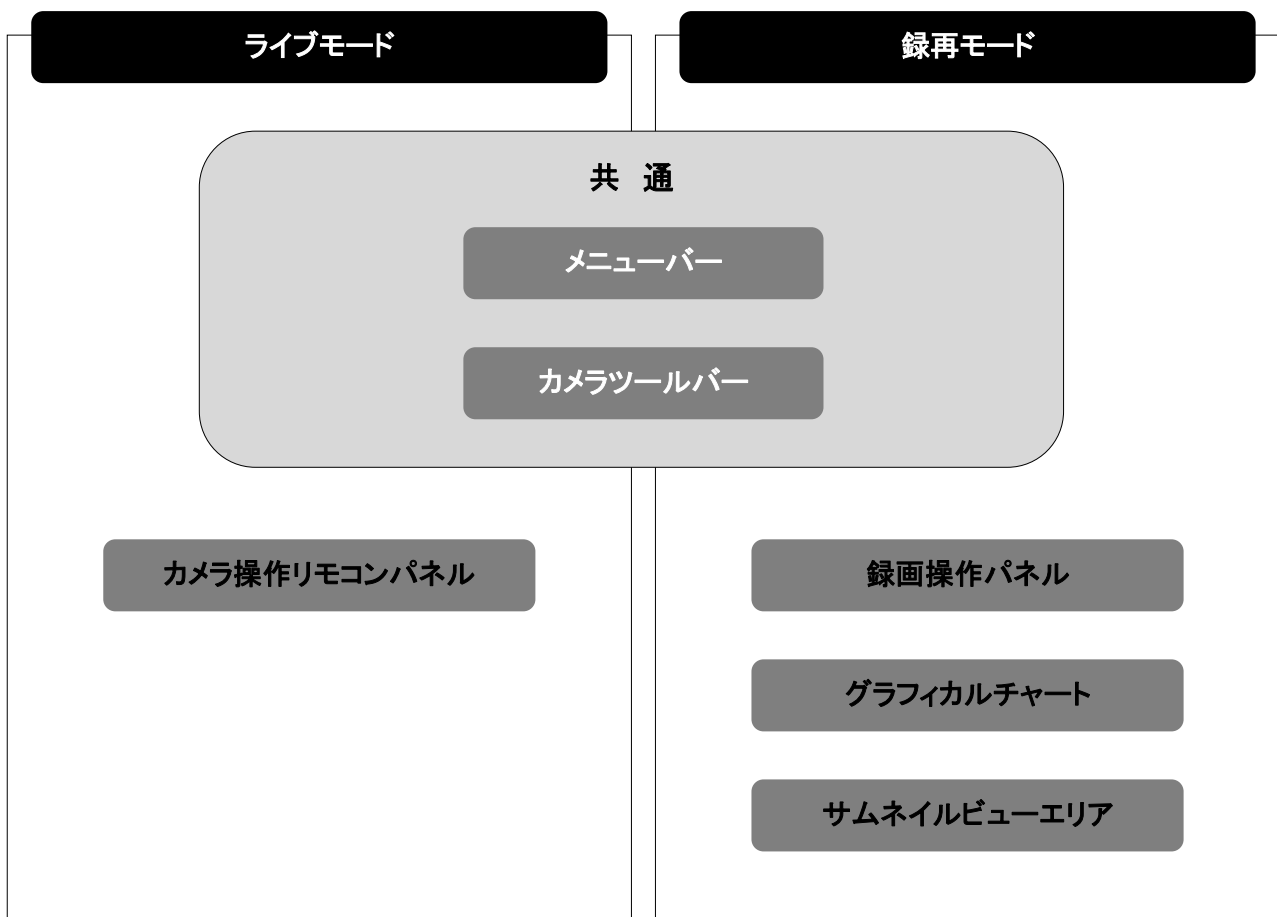
ここでは、アロバビューのメイン画面について解説します。

アロバビューには、[ライブモード]と[録再モード]の2つのモードがあります。

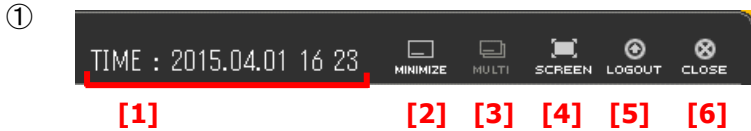
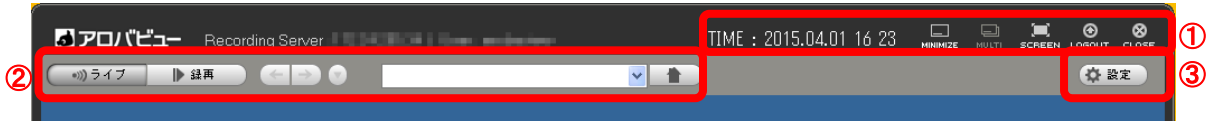
[ライブモード]は、リアルタイムでカメラ画像を表示するモードです。

[録再モード]は、録画・再生を行うモードで、常時録画やイベント録画の再生が行えます。各モードは、それぞれに搭載されたボタン操作で、目的に合った運用を行うことができます。

各モードのボタンは、次のような構成で搭載されています。



5.1 メニューバー[共通]

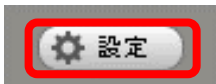


[1]時計表示	アロバビューがインストールされているサーバーの現在時刻を表示します。表示が切れてしまう場合は OS のフォントサイズを調整してください。
[2]MINIMIZE	画面を最小化しタスクバーに格納します。
[3]MULTI	セカンダリモニタを表示します。[MULTI]ボタンはマルチモニタ環境時に有効になります。
[4]SCREEN	画面をフルスクリーンで表示します。
[5]LOGOUT	ログインしているアカウントからログアウトします。
[6]CLOSE	アロバビュークライアントを終了します。



[7]ライブ	画面をライブモードに切り替えます。
[8]録再	画面を録画再生モードに切り替えます。
[9]←履歴戻る	一度表示したビューの履歴から、再度ビューを表示することができます。[←]は、1 つ前のビューに戻ります。
[10]→履歴進む	[→]は、1 つ先のビューに進みます。
[11]▼履歴一覧	[▼]は、履歴一覧プルダウンリストを表示します。
[12]ビューリスト	表示するビュー/カメラを選択します。
[13]ホーム	ホームビューを表示します。事前に[環境設定]で登録が必要です。ホームビューはクライアントマシン別に登録が必要です。

③

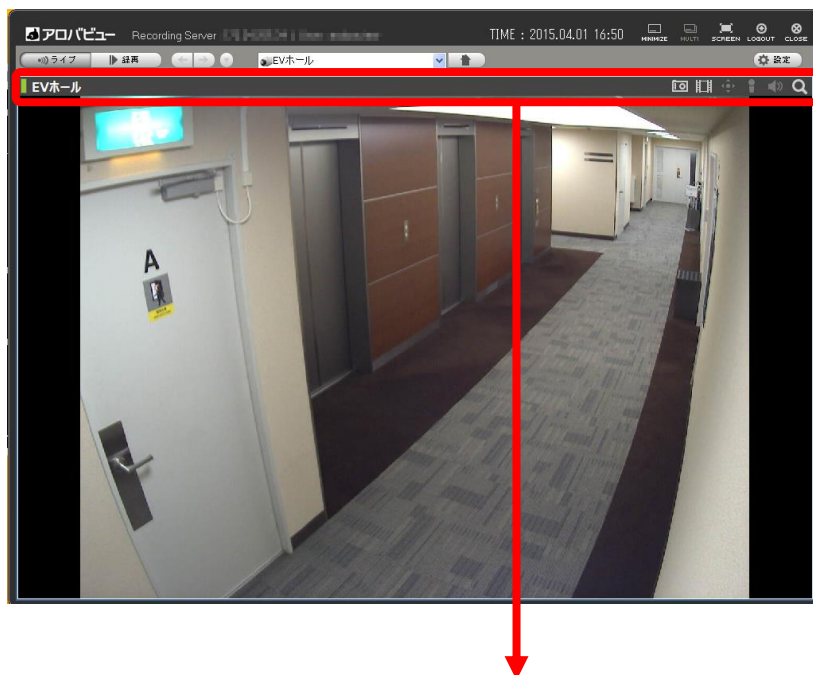


※設定ボタンをクリックすると下記が表示されます。



[14]管理者設定	管理者設定画面を表示します。
[15]ユーザ設定	ユーザ設定画面を表示します。
[16]QRコード	QRコードを表示します。
[17]環境設定	環境設定画面を表示します。

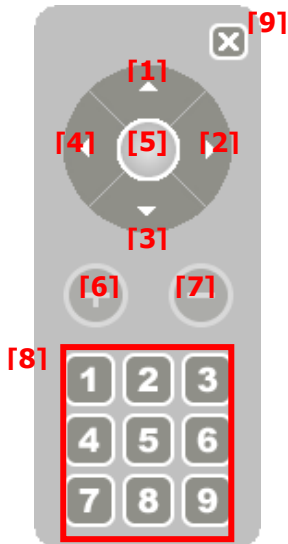
5.2 カメラツールバー[共通]



[1]カメラ名	[管理者設定]→[カメラ]で設定されたカメラの名称が表示されます。
[2]スナップショット	表示されている画面のスナップショットを撮影し、保存します。 事前に、環境設定>保存 で保存先登録が必要です。
[3]スナップムービー	表示されているカメラのスナップムービー撮影の開始、停止を行います。 事前に、環境設定>保存 で保存先登録が必要です。音声は非対応です。
[4]カメラ操作	カメラ操作リモコンパネルを表示します(対応機種のみ)。
[5]マイク	パソコンのマイクを使ってカメラへ音声を出力します(対応機種のみ)。 事前に、管理者設定>ユーザ権限 で音声権限の付与が必要です。
[6]スピーカー	カメラのマイクが拾った音声をパソコンで出力します(対応機種のみ)。 事前に、管理者設定>ユーザ権限 で音声権限の付与が必要です。
[7]デジタルズーム	画面をデジタルズームします。

5.2.1 カメラ操作リモコンパネル[ライブモード]

カメラ操作リモコンパネルは、[カメラツールバー]→[カメラ操作]ボタンで表示されます(対応機種のみ)。

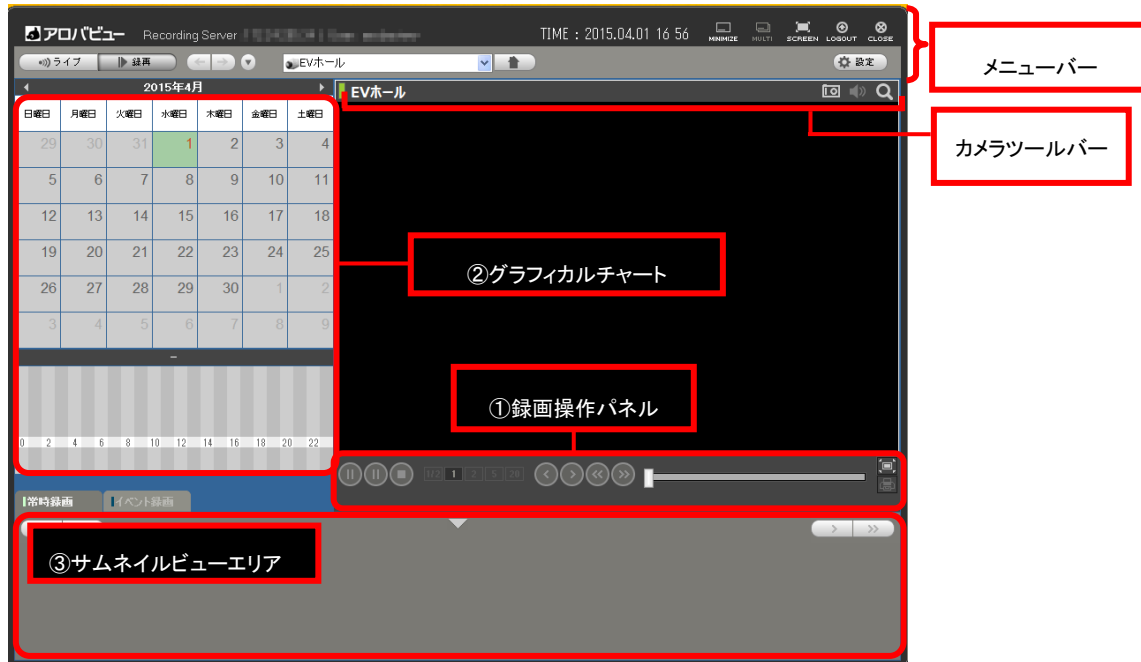


コントロールボタン	
[1]	カメラを上に向けます。
[2]	カメラを右に向けます。
[3]	カメラを下に向けます。
[4]	カメラを左にむけます。
[5]	カメラをホームポジションに戻します。
ズームボタン	
[6]	ズームインします。
[7]	ズームアウトします。
プリセットボタン	
[8]	カメラに記憶されているプリセット位置を表示します。
クローズボタン	
[9]	カメラ操作リモコンパネルを閉じます。

Point

カメラ操作リモコンパネルを表示させることによって、「クリックオンセンタリング機能」「ジョイスティックコントロール」を行うことができます。詳しくは、「10.1.8 カメラを操作するには」をご参照ください。

5.3 メイン操作パネル[録再モード]



5.3.1 ①録画操作パネル

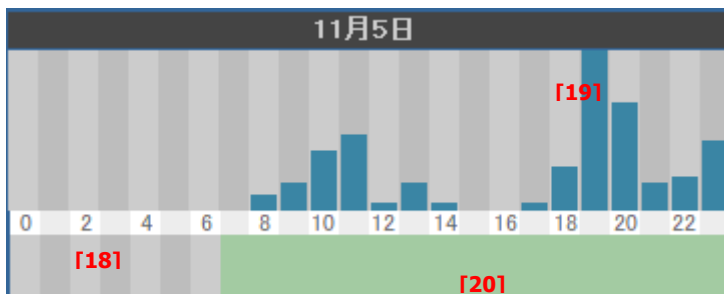


録画操作パネル	
[1]	選択した録画データを逆再生します。再生中は一時停止ボタンに変化します。
[2]	選択した録画データを順再生します。再生中は一時停止ボタンに変化します。
[3]	再生を停止します。
[4]	0.5 倍速(1/2 スロー)で再生します。
[5]	等倍速で再生します。
[6]	2 倍速で再生します。
[7]	5 倍速で再生します。
[8]	20 倍速で再生します。
[9]	常時録画は 5 分前、イベント録画は前のイベントの画像を表示します。
[10]	常時録画は 5 分後、イベント録画は次のイベントの画像を表示します。
[11]	1 時間前の画像を表示します。
[12]	1 時間後の画像を表示します。
[13]スライダー	ドラッグで再生位置を選択します。
[14]フルスクリーン	フルスクリーンモードで再生します。
[15]プリント	表示中の画面を印刷します。

5.3.2 ②グラフィカルチャート



日付	
[15]	録画データがない場合はグレー表示となります。
[16]	常時録画データがある場合は緑色表示となります。
[17]	イベント録画データがある場合は青色表示となります。



時間	
[18]	録画データはありません。
[19]	イベント録画データがあります。
[20]	常時録画データがあります。

5.3.3 ③サムネイルビューエリア



サムネイルビューエリア	
[21]常時録画	グラフィカルチャートで選択した日時の常時録画データをサムネイル表示します。
[22]イベント録画	グラフィカルチャートで選択した日時のイベント録画データをサムネイル表示します。
[23]ページスクロールボタン	現在表示されているサムネイルページの1つ前のページを表示します。
[24]フレームスクロールボタン	現在表示されているサムネイルフレームの1つ前のフレームを表示します。押し続けるとスピーディにさらに前のサムネイルに移動します。
[25]フレームスクロールボタン	現在表示されているサムネイルフレームの1つ後のフレームを表示します。押し続けるとスピーディにさらに後のサムネイルに移動します。
[26]ページスクロールボタン	現在表示されているサムネイルページの1つ先のページを表示します。

6 ログアウト／終了

ここではアロバビュークライアントのログアウト方法と終了方法までの手順を解説します。

6.1 ログアウトするには

アロバビュークライアントのログアウトは以下の手順で行います。

- 

メニューバーの[LOGOUT]アイコンをクリックします。
- 

確認ダイアログボックスが表示されます。＜OK＞ボタンをクリックすればアロバビューからログアウトします。
- 

ログイン画面が表示されます。

6.2 終了するには

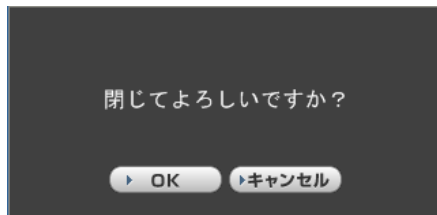
アロバビュークライアントの終了は以下の手順で行います。

1.



メニューバーの[CLOSE]ボタンをクリックします。

2.

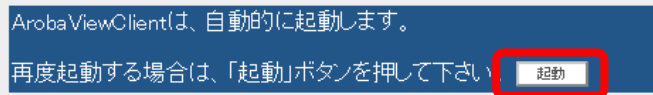


確認ダイアログが表示されます。＜OK＞ボタンをクリックすれば、アロバビュークライアントを終了します。

3. ブラウザを閉じます。

Point

アロバビュークライアント終了後、ブラウザを終了せずに＜起動＞ボタンをクリックすれば、再度アロバビュークライアントが起動します。



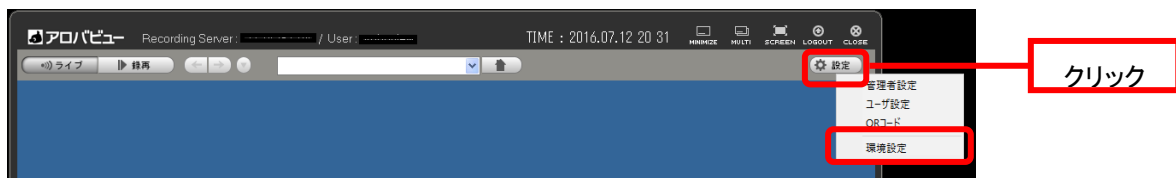
7 環境設定

ここでは、アロバビュークライアントから行う環境設定について解説します。

環境設定では、カメラツールバーの表示やスナップショットの保存先など、アロバビュークライアントの設定などを行うことができます。具体的には6種類のタブが用意されており、[全般][保存][メニュー][カメラツールバー][録画再生][イベント通知][マップ][映像表示]に関する設定を行うことができます。

※環境設定で行う各種設定は、クライアント PC ごとの設定となります。

メニューバーの<設定>ボタンをクリックし[環境設定]を選択するとウィンドウが表示されます。



7.1 [全般]タブ

環境設定

全般 保存 メニュー カメラツールバー 録画再生 イベント通知 マップ カメラ名表示

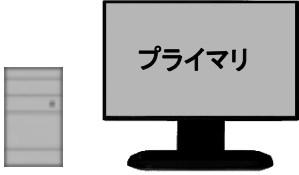

[1] ホームビュー
ホームビューを選択します。
プライマリ クリア
セカンダリ クリア

[2] カメラツールバー表示
 カメラツールバーを常に表示する

[3] メニューバー表示
 標準表示時、メニューバーを常に表示する
 全画面表示時、メニューバーを常に表示する

[4] カメラ画像表示
 画像表示領域より画像サイズが小さいとき、拡大して表示する
 画像の表面を滑らかにする
 マルチビューで1画面を拡大する時、シングルビューの設定値で画像を表示する

[5] OK [6] キャンセル [7] 適用

<p>[1]ホームビュー</p>	<p>ホームビューをプルダウンリストから選択します。[メニューバー]の[ホームビュー]アイコンをクリックすることで、ホームビューに設定されたカメラビューが表示されるようになります。[クリア]ボタンをクリックすることでホーム設定が解除されます。</p> <p>・シングルモニタ環境</p>  <p>・マルチモニタ環境</p> 
<p>[2]カメラツールバー表示</p>	<p>[カメラツールバーを常に表示する]をチェックすると、カメラビューにカメラツールバーが常時表示されます。チェックを入れない状態では、カーソルを合わせたときのみカメラツールバーが表示されます。</p>
<p>[3]メニューバー表示</p>	<p>[標準表示時、メニューバーを常に表示する]をチェックすると、通常画面でメニュー</p>

	<p>バーが常に表示されます。チェックを入れない状態では、カーソルを合わせたときのみメニューバーが表示されます。</p> <p>[全画面表示時、メニューバーを常に表示する]をチェックすると、全画面でメニューバーが常に表示されます。チェックを入れない状態では、カーソルを合わせたときのみメニューバーが表示されます。</p>
[4]カメラ画像表示	<p>[画像表示領域より画面サイズが小さいとき、画面を拡大表示する]をチェックすると、カメラの画像サイズがアロバビュークライアントの画像表示領域より小さい場合、カメラ画像を表示領域に合わせて拡大表示します。チェックを入れない状態では、カメラの画像サイズで表示します。</p> <p>[画面表示を滑らかにする]をチェックすると、モニタリング画像、録画再生画像を滑らかに表示することができます。</p> <p>[マルチビューで 1 画面を拡大する時、シングルビューの設定値で画像を表示する]をチェックすると、カスタムビューの分割画面に割り当てられたビューを 1 画面の拡大表示にした場合、シングルビューで設定された解像度で画像を表示します。</p>
[5]OK	設定内容を保存し、環境設定ダイアログを閉じます。
[6]キャンセル	設定内容を保存せずに、環境設定ダイアログを閉じます。
[7]適用	設定内容を保存します。

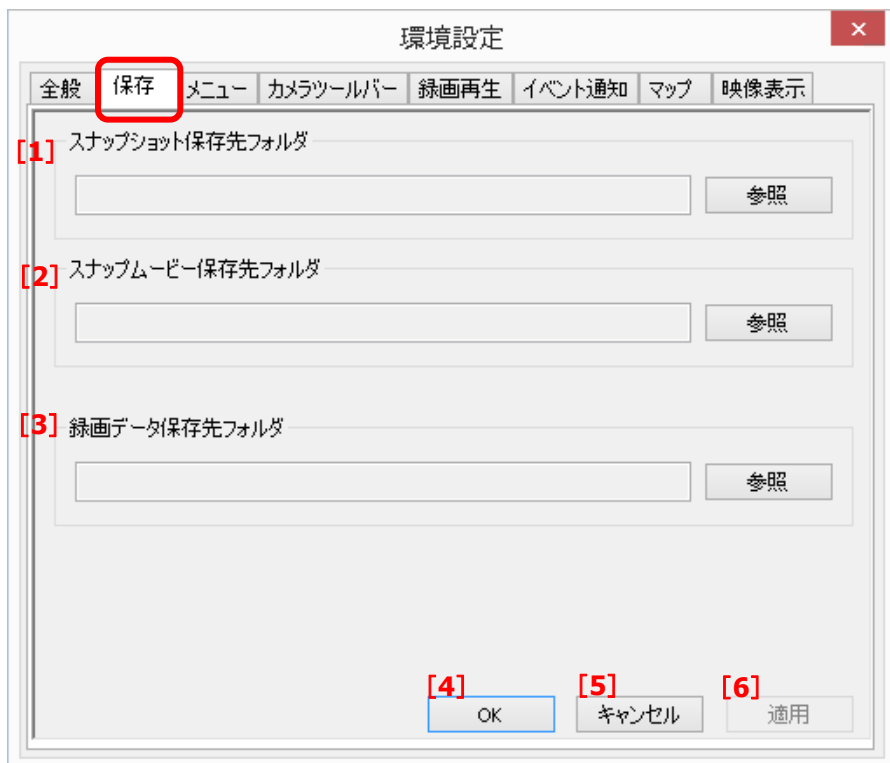


[カメラ画像表示][画面表示を滑らかにする]がONの場合、表示レートが遅くなる場合があります。表示レートへの影響はライブモニタリング及び、再生を行うクライアントマシンのスペックに依存します。

7.2 [保存]タブ

※ご利用する機能については必ず保存先を設定してください。

※スナップショット、スナップムービー、アロバビュークライアントからの録画データの保存を利用されない場合は本ページの設定は不要です。

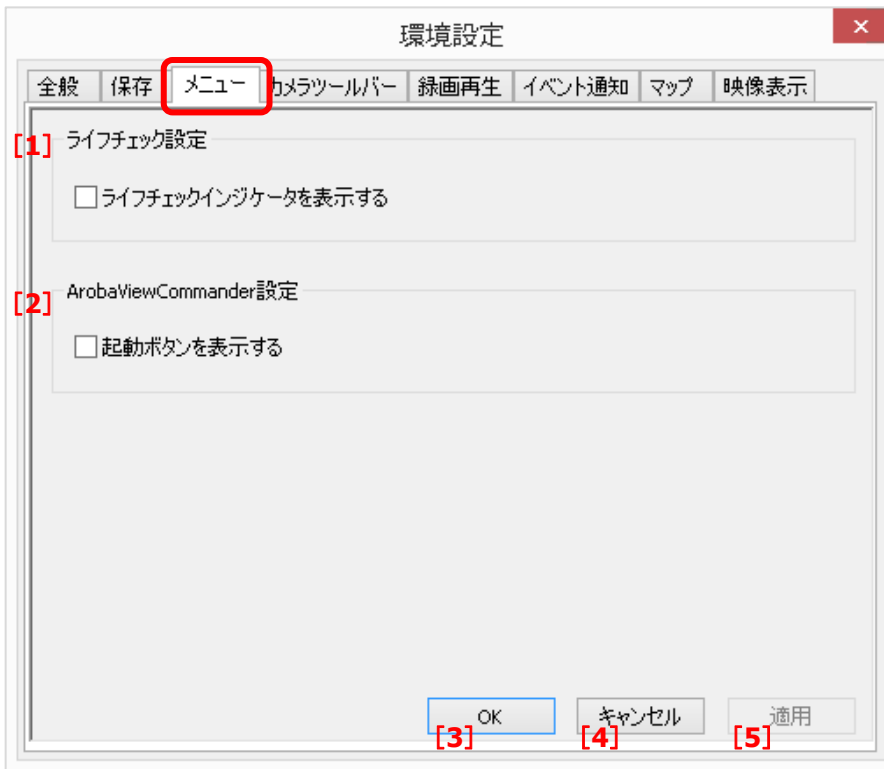


[1]スナップショット保存先フォルダ	スナップショット機能で撮影したファイルの保存先を、<参照>ボタンをクリックして指定します。
[2]スナップムービー保存先フォルダ	スナップムービー機能で撮影したファイルの保存先を、<参照>ボタンをクリックして指定します。
[3]録画データ保存先フォルダ	録画データのダウンロード先フォルダを、<参照>ボタンをクリックして指定します。
[4]OK	設定内容を保存し、環境設定ダイアログを閉じます。
[5]キャンセル	設定内容を保存せずに、環境設定ダイアログを閉じます。
[6]適用	設定内容を保存します。



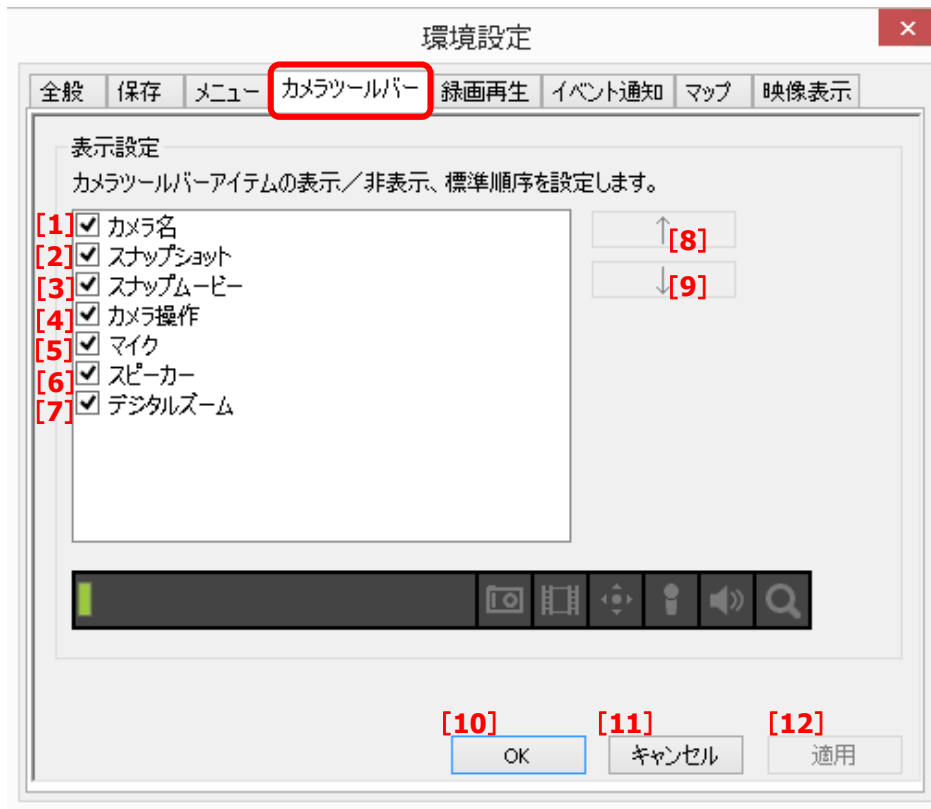
- ・スナップショットとスナップムービーの保存先は個別の保存先を設定してください。同じ保存先を設定した場合 ArobaViewPlayer での再生時に正しく再生されない場合があります。
- ・スナップショットは、JPEG 形式で保存されます。
スナップムービー及び録画データは、アロバビュー独自形式となっており、再生には、再生用ソフトが必要となります。再生用ソフトについては、別冊「ArobaViewPlayer 操作ガイド」をご覧ください。

7.3 [メニュー] タブ



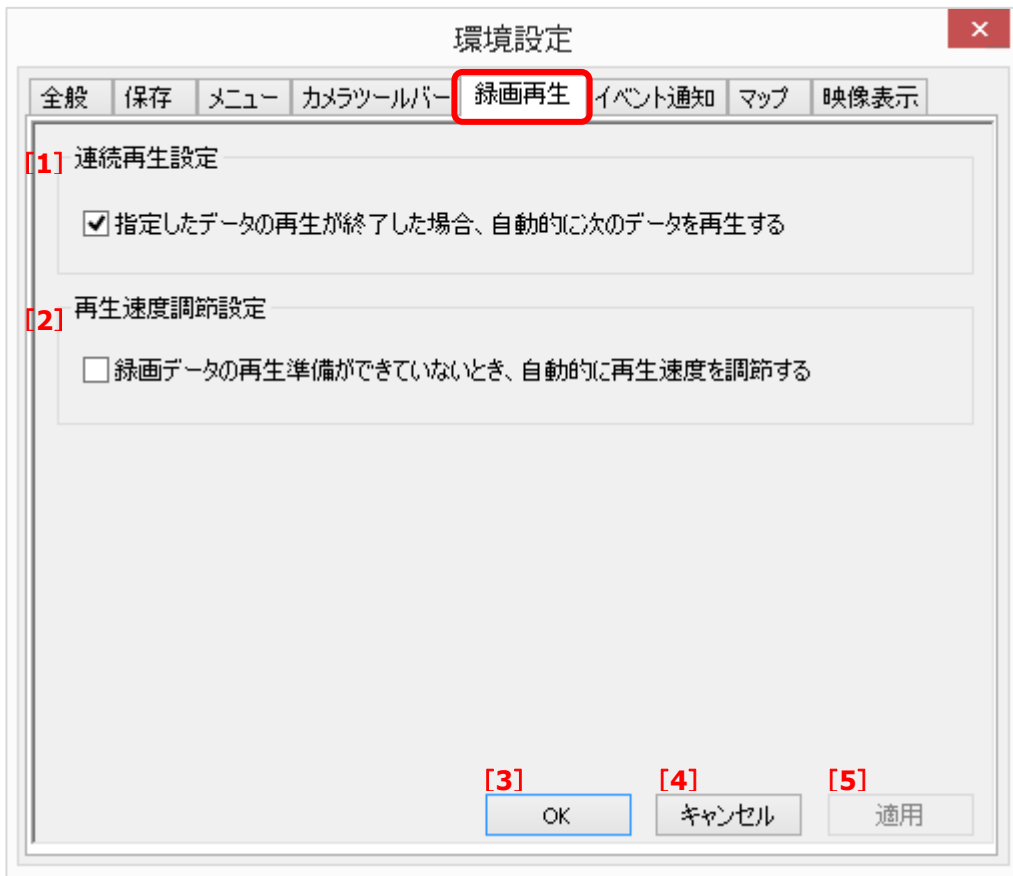
[1]ライフチェック設定	[ライフチェックインジケータを表示する]にチェックを入れると、メニューバーにライフチェックインジケータを表示します。
[2]ArobaViewCommander 設定	[起動ボタンを表示する]にチェックを付けると、メニューバーにArobaViewCommander 起動ボタンを表示します。
[3]OK	設定内容を保存し、環境設定ダイアログを閉じます。
[4]キャンセル	設定内容を保存せずに、環境設定ダイアログを閉じます。
[5]適用	設定内容を保存します。

7.4 [カメラツールバー]タブ



[1]カメラ名	チェックするとカメラツールバーにカメラ名を表示します。
[2]スナップショット	チェックするとカメラツールバーに[スナップショット]アイコンを表示します。
[3]スナップムービー	チェックするとカメラツールバーに[スナップムービー]アイコンを表示します。
[4]カメラ操作	チェックするとカメラツールバーに[カメラ操作]アイコンを表示します。
[5]マイク	チェックするとカメラツールバーに[マイク]アイコンを表示します。
[6]スピーカー	チェックするとカメラツールバーに[スピーカー]アイコンを表示します。
[7]デジタルズーム	チェックするとカメラツールバーに[デジタルズーム]アイコンを表示します。
[8]↑	アイコンを1つ上に移動します。カメラツールバーでは、1つ左に移動します。
[9]↓	アイコンを1つ下に移動します。カメラツールバーでは、1つ右に移動します。
[10]OK	設定内容を保存し、環境設定ダイアログを閉じます。
[11]キャンセル	設定内容を保存せずに、環境設定ダイアログを閉じます。
[12]適用	設定内容を保存します。

7.5 [録画再生]タブ

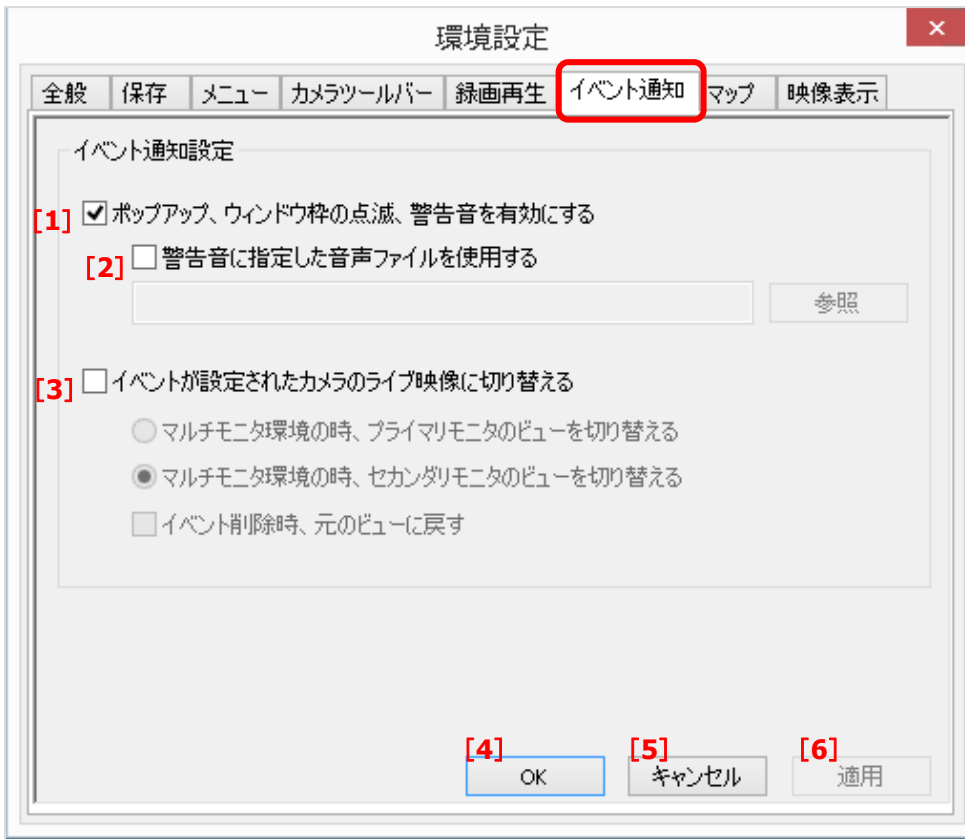


[1]連続再生設定	[指定したデータの再生が終了した場合、自動的に次のデータを再生する]をチェックすると、録再モードで録画データを連続して再生します。
[2]再生速度調節設定	[録画データの再生準備ができていないとき、自動的に再生速度を調節する]をチェックすると、環境に応じた再生速度に自動的に調節します。
[3]OK	設定内容を保存し、環境設定ダイアログを閉じます。
[4]キャンセル	設定内容を保存せずに、環境設定ダイアログを閉じます。
[5]適用	設定内容を保存します。



[再生速度調節設定] が ON の場合、録画再生時、選択した再生速度よりも、実際の再生速度が遅くなる場合があります。再生速度への影響は、再生を行うクライアント PC のスペックに依存します。

7.6 [イベント通知]タブ



[1]	[ポップアップ、ウィンドウ枠の点滅、警告音を有効にする]をチェックすると、[管理者設定]→[カメラ]で設定されたイベント通知を、クライアント毎に有効にすることができます。
[2]	[警告音に指定した音声ファイルを使用する]をチェックすると、イベント警告音をクライアント毎に設定変更することができます。＜参照＞ボタンをクリックして音声ファイルを指定します。 [ポップアップ、ウィンドウ枠の点滅、警告音を有効にする]がOFFの場合は、無効になります。
[3]	[イベントが通知されたカメラのライブ映像に切り替える]をチェックすると、イベントが通知されたカメラのビューに自動的に切り替わります。 配下のラジオボタンを選択することにより、マルチモニタ環境時、プライマリ/セカンダリいずれのビューを切り替えるかを設定できます。 「イベント削除時、元のビューに戻す」にチェックを付けるとイベント削除時に元のビューに戻ることができます(イベント発生中にユーザーがビューを切り替えた場合は戻りません)。
[4]OK	設定内容を保存し、環境設定ダイアログを閉じます。
[5]キャンセル	設定内容を保存せずに、環境設定ダイアログを閉じます。
[6]適用	設定内容を保存します。

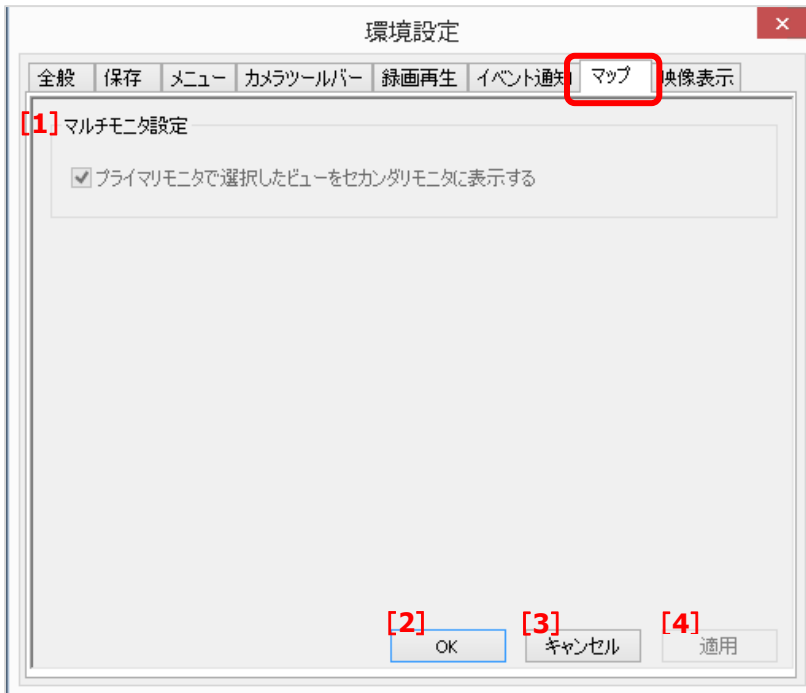


警告音についてのご注意

対応音声は、WAV 形式のみになります。

イベント通知設定は、[管理者設定][カメラ設定][警告音]が設定されたカメラのイベントに対して有効です。[管理者設定][カメラ設定][警告音]の設定が行われていない場合、警告音は出力されません。
警告音の音量設定は、クライアントマシンの音量設定にて行います。

7.7 [マップ]タブ

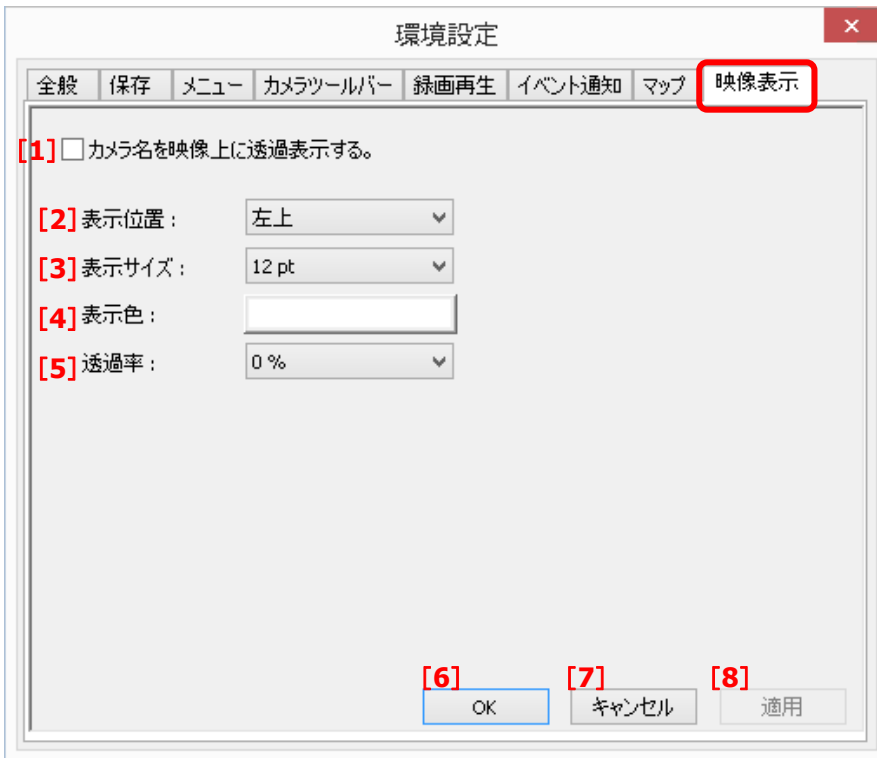




[1]マルチモニタ設定	マルチモニタ環境時有効になります。[マルチモニタ設定]をチェックすると、プライマリモニタにマップを表示し、セカンダリモニタにカメラ画像を表示します。チェックを外すとプライマリモニタ上でカメラ画像が表示されます。
[2]OK	設定内容を保存し、環境設定ダイアログを閉じます。
[3]キャンセル	設定内容を保存せずに、環境設定ダイアログを閉じます。
[4]適用	設定内容を保存します。




「マルチモニタ設定」は、マルチモニタ環境では、デフォルトでONになっています。

7.8 [映像表示]タブ



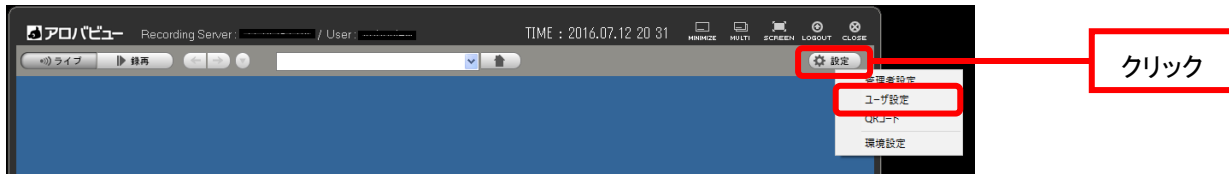
<p>[1]カメラ名透過表示</p>	<p>チェックを入れるとカメラビュー内に、カメラ名を表示します。(デフォルト設定:OFF)</p> 
<p>[2]表示位置</p>	<p>表示するテキストの位置をプルダウンから選択します。</p> 
<p>[3]表示サイズ</p>	<p>表示する文字のサイズをプルダウンから選択します。 設定サイズ:9~48pt (初期設定値:10)</p>
<p>[4]表示色</p>	<p>表示する文字の色を設定します。</p>

	
[5]透過率	表示された文字に背景をどのくらい透過させるかプルダウンメニューから設定します。 設定透過率:0~80% (初期設定値 0%)
[6]OK	設定内容を保存し、環境設定ダイアログを閉じます。
[7]キャンセル	設定内容を保存せずに、環境設定ダイアログを閉じます。
[8]適用	設定内容を保存します。

8 ユーザー設定

ここでは、アロバビュークライアントから行うユーザー設定について解説します。

ユーザー名やパスワードなどのユーザー情報を設定・変更します。カメラメニューバーの<設定>ボタンをクリックし、[ユーザー設定]を選択するとウィンドウが表示されます。



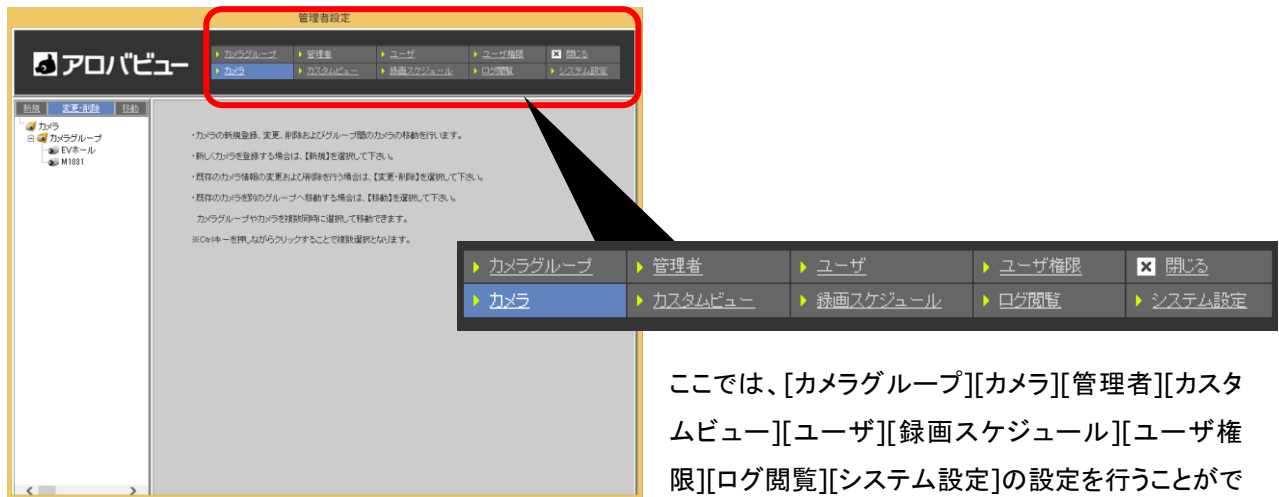
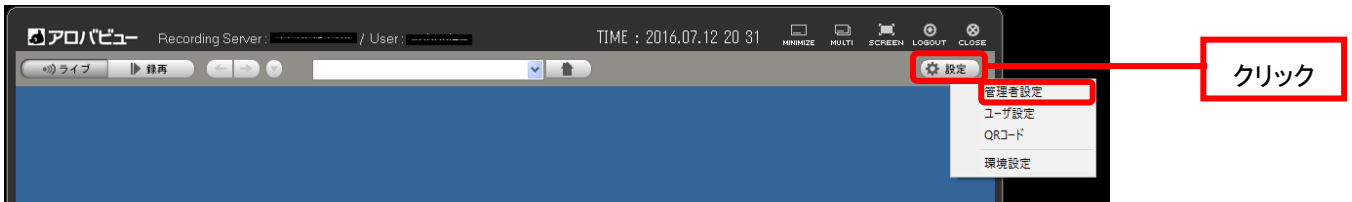
8.1 ユーザー情報

[1]ユーザー名	現在のユーザー名を変更します。
[2]新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。
[3]新しいパスワード確認用	確認のため、新しいパスワードを再度入力します。
[4]メールアドレス	メールアドレスを入力・変更します。アロバビューからの各種メール通知はこのメールアドレス宛に送信されます。
[5]更新	変更した内容を登録します。
[6]閉じる	[ユーザー設定]ウィンドウを閉じます。

9 管理者設定

ここではアロバビュークライアントから行う管理者設定について解説します。

カメラやビューの設定、権限の指定などの管理者設定を行います。カメラメニューバーの<設定>ボタンをクリックし[管理者設定]を選択するとウィンドウが表示されます。



ここでは、[カメラグループ][カメラ][管理者][カスタムビュー][ユーザ][録画スケジュール][ユーザ権限][ログ閲覧][システム設定]の設定を行うことができます。



管理者設定を行えるのは、システム管理者またはカメラグループ管理者の権限を持ったユーザーのみです

9.1 カメラグループ

カメラグループの新規登録、変更、削除を行います。



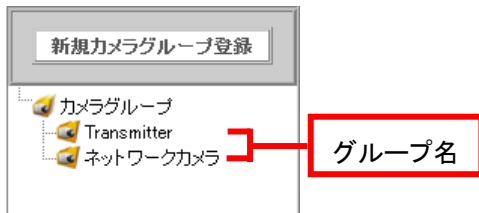
カメラグループ削除の際の注意点

カメラグループを削除した場合、当該グループに属する各カメラ情報及び、録画した映像、グループに紐づけられたユーザーもすべて削除されます。配下のグループに属する各カメラ情報及び、録画した映像、配下のグループに紐づけられたユーザーもすべて削除されます。

9.1.1 カメラグループとは

カメラグループは、ひとつ以上のカメラを含むグループで、カメラは必ずいずれかのカメラグループに属することになります。カメラを登録する前に少なくともひとつのカメラグループが登録されていなければなりません。

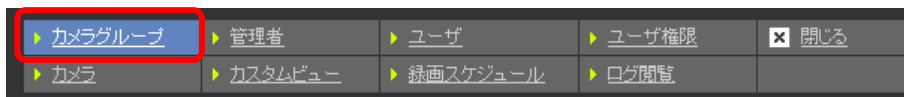
例えば、支店ごとにカメラグループを作成し、支店内のカメラを登録しておけば、カメラの管理が容易になります。



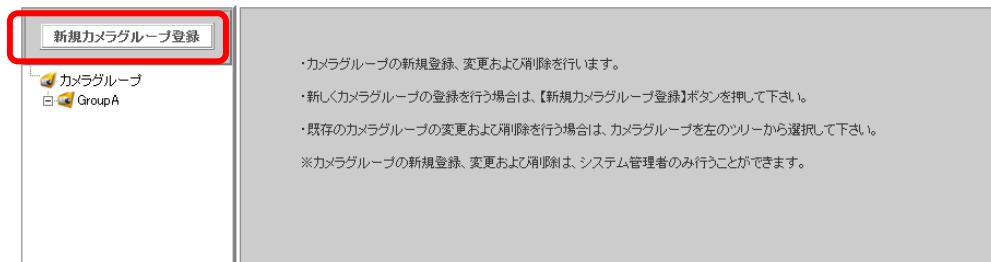
9.1.2 カメラグループを登録するには

※アロバビュー カメラ管理ソフトウェア(レコーディングサーバー)単体環境では初期状態で「カメラグループ」という名称のカメラグループが作成されています。

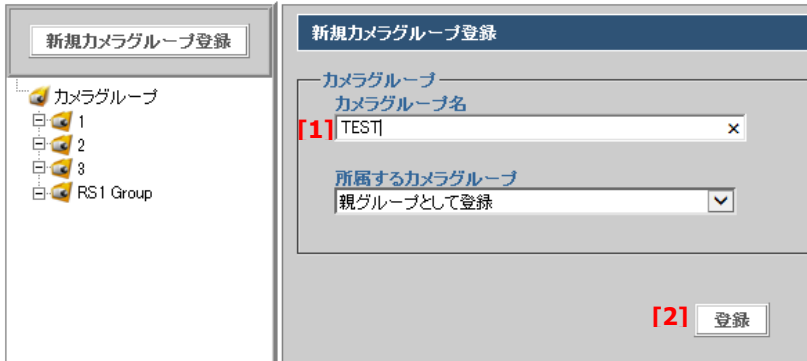
1. [管理者設定]ウィンドウの[カメラグループ]をクリックします。



2. [カメラグループ]画面が表示されたら、<新規カメラグループ登録>ボタンをクリックします。

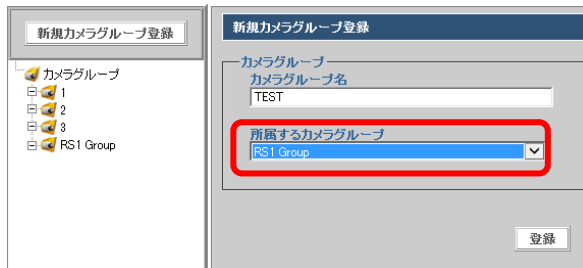


3. [1][カメラグループ名]に新しいカメラグループ名を入力し、[2]<登録>ボタンをクリックします。

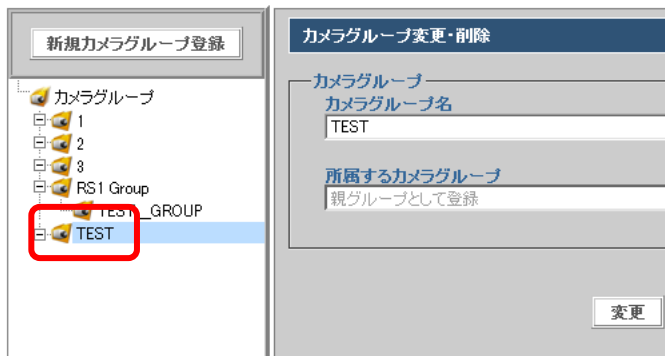


※[親カメラグループ]を指定することでカメラグループを多段化することができます。

登録後に[親グループ]を変更することはできません。



4. ツリー画面に新しいカメラグループが登録されます。



※[親カメラグループ]を指定した場合



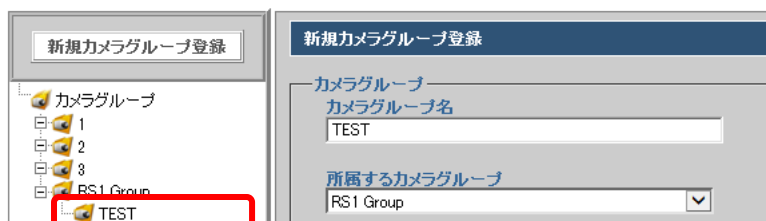


名称の表示順について

名称の表示順は、①記号(文字コード昇順)→②数字→③アルファベット→④かな文字→⑤漢字(文字コード昇順)となり、登録の順番とは異なりますので、ご注意ください。

9.1.3 カメラグループの名前を変更するには

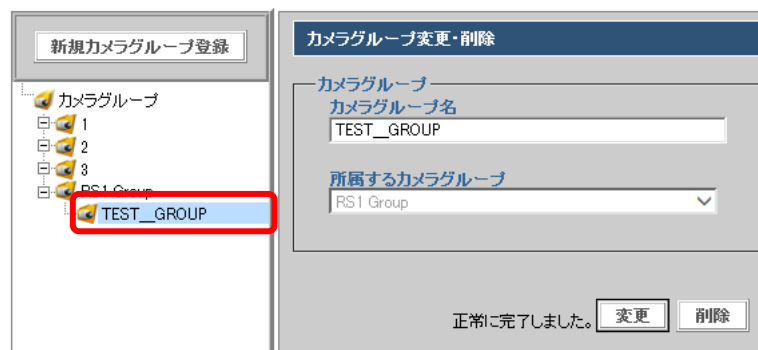
1. [管理者設定]ウィンドウの[カメラグループ]をクリックします。
2. カメラグループのツリー画面から、変更したいカメラグループを選択します。



3. [1]カメラグループの名前を変更し、[2] <変更ボタン>をクリックします。
[親グループ]を変更することはできません。



4. カメラグループの名前が変更されました。



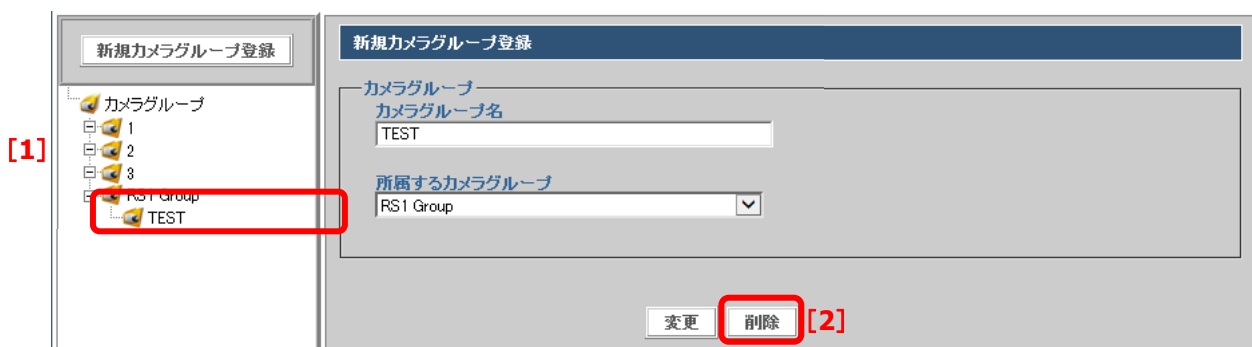
9.1.4 カメラグループを削除するには



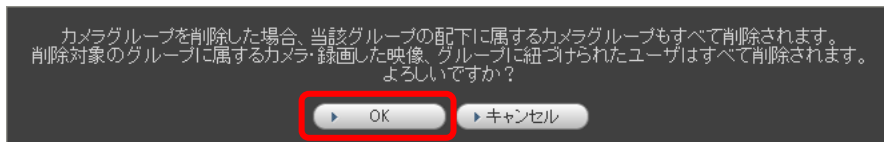
カメラグループ削除の際の注意点

カメラグループを削除した場合、当該グループに属する各カメラ情報及び、録画した映像、グループに紐づけられたユーザーもすべて削除されます。配下のグループに属する各カメラ情報及び、録画した映像、配下のグループに紐づけられたユーザーもすべて削除されます。作業の際には十分ご注意ください。

1. [管理者設定]ウィンドウの[カメラグループ]をクリックします。
2. カメラグループのツリー画面から、[1]削除したいカメラグループを選択し、[2]<削除>ボタンをクリックします。



3. 確認ダイアログボックスが表示されるので<OK>を選択します。



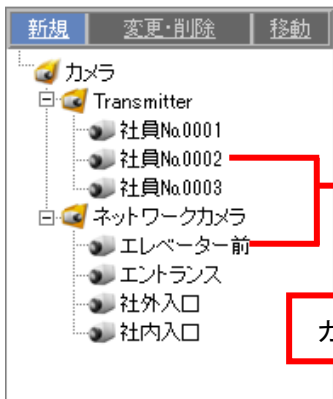
ここで **OK** をクリックすると当該グループに属する各カメラ情報及び、録画した映像、グループに紐づけられたユーザーもすべて削除されます。配下のグループに属する各カメラ情報及び、録画した映像、配下のグループに紐づけられたユーザーもすべて削除されます。途中でキャンセルなどもできません。作業の際には十分ご注意ください。

4. カメラグループが削除されます。

9.2 カメラ

カメラの新規登録・変更・削除を行います。

カメラは必ずいずれかのカメラグループに属することになります。カメラを登録する前に少なくともひとつのカメラグループが登録されていなければなりません。



Point

カメラは、[カメラ]ボタンから設定する「名前」で管理されます。したがって、物理的には1台のカメラでも「名前」を変えることで(見た目には)複数台のカメラとして登録することができます。

運用方法によっては、1台のカメラを複数のカメラグループに登録して利用することも可能ですが、パフォーマンスが落ちる可能性がありますのでご注意ください。



カメラ削除の際の注意点

カメラを削除した場合、当該カメラで録画した映像もすべて削除されます。作業の際には十分ご注意ください。



名称の表示順について

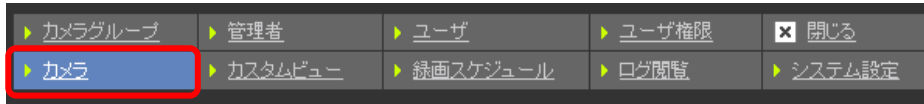
名称の表示順は、①記号(文字コード昇順)→②数字→③アルファベット→④かな文字→⑤漢字(文字コード昇順)となり、登録の順番とは異なりますので、ご注意ください。

9.2.1 カメラを登録するには

カメラ設定詳細は「カメラ設定ガイド」をご参照ください。

アロバビューサポート (<https://secure.arobaview.com/support/>) にログインいただくことで入手可能です。

1. [管理者設定]ウィンドウの[カメラ]をクリックします。

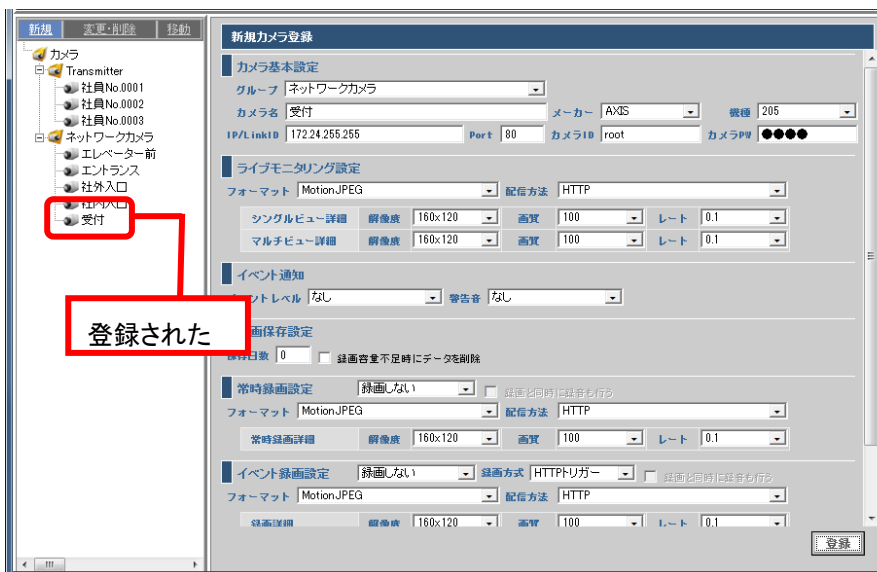


2. [カメラ]画面が表示されたらツリー画面から、[1]カメラグループを選択し、[2]<新規>をクリックします。
[3]各項目に入力し、<登録>ボタンをクリックします。

[カメラ自動登録機能]が有効になっている場合はカメラが自動的に登録され管理者設定画面に登録済みのカメラが表示されます。カメラ自動登録機能については「カメラ自動登録機能 設定マニュアル」をご参照ください。



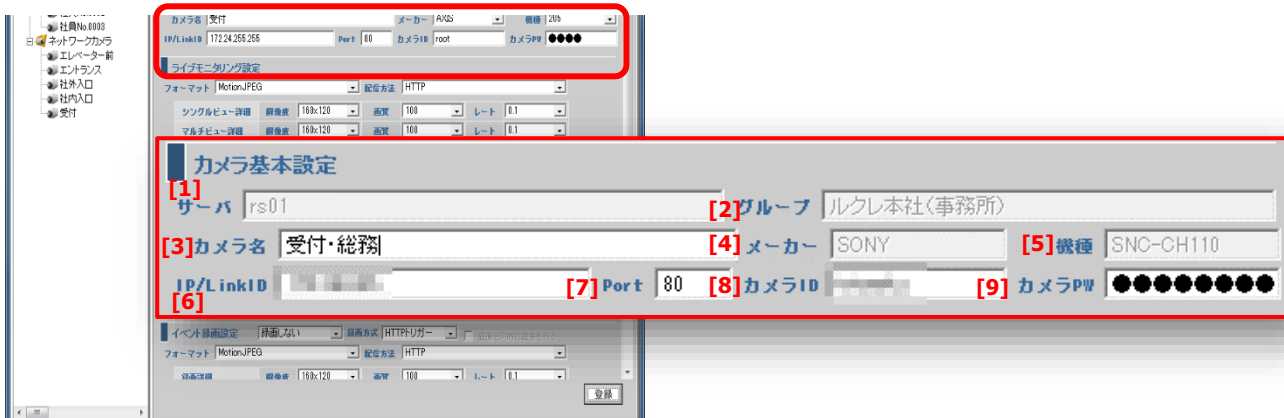
- 3.



CAUTION カメラ機能に注意

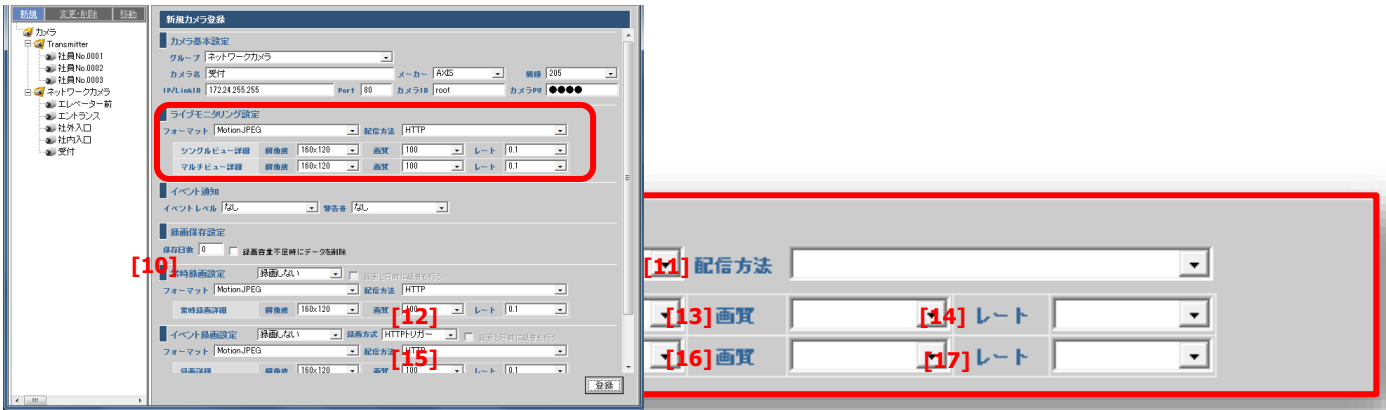
モニタリング設定や録画設定などの項目は、カメラの機能に依存します。また、カメラによっては解像度やレートなどを選択できない場合もあります。

● 各設定項目について(カメラ基本設定)



カメラ基本設定	
[1]サーバ	カメラを登録するカメラ管理ソフトウェア(レコーディングサーバー)を選択します。(必須) ※サーバー統合ソフトウェア(エンタープライズサーバー)連携時のみ表示されます。 ※カメラ管理ソフトウェア(レコーディングサーバー)単体運用時は表示されません。
[2]グループ	カメラを登録するグループを選択します。(必須)
[3]カメラ名	カメラを識別するための名称を入力します。(必須) CAUTION 名称の表示順について 名称の表示順は、①記号(文字コード昇順)→②数字→③アルファベット→④かな文字→⑤漢字(文字コード昇順)となり、登録の順番とは異なりますので、ご注意ください。
[4]メーカー	接続されているカメラのメーカーをプルダウンメニューから選択します。(必須)
[5]機種	接続されているカメラの機種をプルダウンメニューから選択します。(必須)
[6]IP/LinkID	カメラの IP アドレスを入力します。(必須) CAUTION IP/LinkID について メーカー「LECRE」、機種「ArobaView Camera」を選択した場合、IP/LinkID には任意の文字列を入力します。 アロバビュー カメラ プレミアム(Android アプリケーション)に関しては「アロバビュープレミアム版 映像中継ソフトウェア(ゲートウェイサーバー) Android アプリケーション 設定&操作マニュアル」を参照ください。
[7]Port	カメラのポート番号を入力します。(必須)
[8]カメラ ID	カメラ本体に接続するための ID を入力します。
[9]カメラ PW	カメラ本体に接続するためのパスワードを入力します。

● 各設定項目について(ライブモニタリング設定)



ライブモニタリング設定	
[10]フォーマット	<p>ライブモニタリングの画像圧縮方式をプルダウンメニューから選択します。</p> <p>CAUTION カメラ機種に注意</p> <p>MPEG4 および、H.264 を選択した場合、機種によっては、カメラの設定はすべてカメラ側で行う必要があります。詳細はカメラのマニュアルをご参照ください。</p>
[11]配信方法	<p>ライブモニタリングの画像配信方法をプルダウンメニューから選択します。</p> <p>CAUTION マルチキャスト</p> <p>RTP multicast を選択した場合、対応したネットワーク機器が必要になります。</p>
■シングルビュー詳細	
[12]解像度	1画面表示時の画像サイズをプルダウンメニューから選択します。
[13]画質	1画面表示時の画質をプルダウンメニューから選択します。
[14]レート	1画面表示時のフレームレートをプルダウンメニューから選択します。
■マルチビュー詳細	
<p>CAUTION</p> <p>マルチ画面表示の各設定値が高すぎると、クライアントがフリーズする場合があります。環境により、適正な値を設定してください。</p>	
[15]解像度	マルチ画面表示時の画像サイズをプルダウンメニューから選択します。
[16]画質	マルチ画面表示時の画質をプルダウンメニューから選択します。
[17]レート	マルチ画面表示時のフレームレートをプルダウンメニューから選択します。

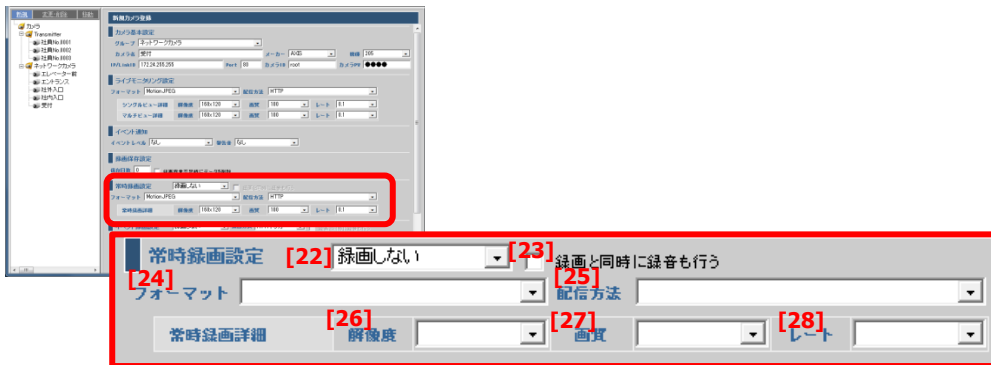
● 各設定項目について(イベント通知・録画保存設定)



イベント通知		
[18] イベントレベル	イベント通知のレベルをプルダウンメニューから選択します。	
	なし	イベント通知を行いません。
	低	レベル低のイベント通知を行います。
	中	レベル中のイベント通知を行います。
	高	レベル高のイベント通知を行います。
[19] 警告音	あり	イベント発生時、警告音を鳴らします。
	なし	イベント発生時、警告音を鳴らしません。

録画保存設定	
[20] 保存日数	録画データを保存する日数を入力します。保存期間は、録画するカメラ台数/フレームレートに依存します。 設定可能期間:9999日・推奨保存期間:180日
[21] 録画容量不足時にデータを削除	<p>チェックすると録画データの保存領域が不足した際に、古いデータから削除して録画を継続します。録画容量が不足した場合は、設定した保存日数に達していなくても、古いデータから削除して録画を行います。チェックしない場合、保存領域不足時に録画が停止します。</p> <p>初期設定:チェックあり</p> <p>※注意 チェック有り・無しのカメラが混在した状態でディスクフルが発生すると、チェック有りのカメラの録画データだけが削除され続けるため、最終的にチェック有りのカメラの録画データがサーバーに残らない状態になります。事前に録画サーバーに必要な保存容量を確認してください。</p>

● 各設定項目について(常時録画設定)



常時録画設定	
[22]録画しない／する	常時録画の開始・停止をプルダウンメニューから選択します。
[23]録画と同時に録音も行う	チェックを入れると、録画と同時に録音も行います(対応機種のみ)。
[24]フォーマット	常時録画の画像圧縮方式をプルダウンメニューから選択します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>CAUTION カメラ機種に注意</p> <p>MPEG4 および H.264 を選択した場合、機種によっては、カメラの設定はすべてカメラ側で行う必要があります。詳細はカメラのマニュアルをご参照ください。</p> </div>
[25]配信方法	常時録画の画像配信方法をプルダウンメニューから選択します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>CAUTION マルチキャスト</p> <p>RTP multicast を選択した場合、対応したネットワーク機器が必要になります。</p> </div>
[26]解像度	常時録画の画像サイズをプルダウンメニューから選択します。
[27]画質	常時録画の画質をプルダウンメニューから選択します。
[28]レート	常時録画のフレームレートをプルダウンメニューから選択します。



録画を開始するには、[22]「録画する」の選択と合わせて[管理者設定]－[録画スケジュール]の設定が必要です。

● 各設定項目について(HTTPトリガーイベント録画設定)

イベント録画を行うためにはカメラ側でも設定が必要です。カメラ側の設定手順はカメラメーカー別『カメラ設定ガイド』をご覧ください。資料はパートナー様向けにアロバビューサポートで公開しております。(要ログインアカウント)

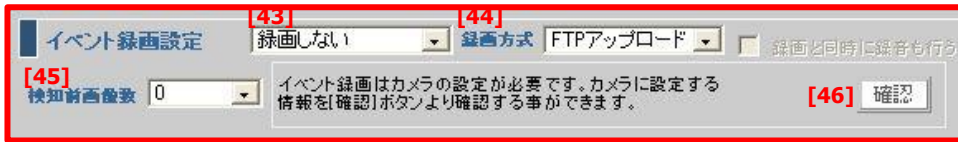
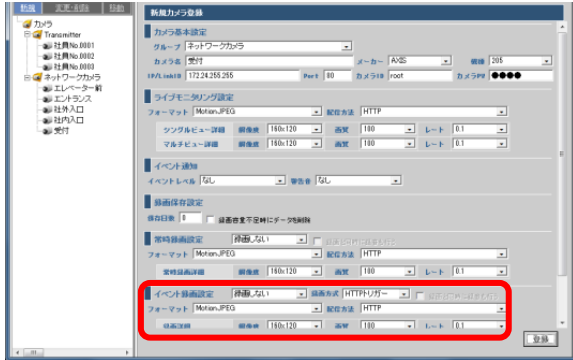


HTTPトリガーイベント録画設定	
[29]録画しない／する	イベント録画の開始・停止をプルダウンメニューから選択します。
[30]録画方式	HTTPトリガーを選択すると設定画面が表示されます。
[31]録画と同時に録音も行う	チェックを入れると、録画と同時に録音も行います(対応機種のみ)。
[32]フォーマット	画像圧縮方式をプルダウンメニューから選択します。 CAUTION カメラ機種に注意 MPEG4 および、H.264 を選択した場合、機種によっては、カメラの設定はすべてカメラ側で行う必要があります。詳細はカメラのマニュアルをご参照ください。
[33]配信方法	画像配信方法をプルダウンメニューから選択します。 CAUTION マルチキャスト RTP multicast を選択した場合、対応したネットワーク機器が必要になります。
[34]解像度	画像サイズをプルダウンメニューから選択します。
[35]画質	画質をプルダウンメニューから選択します。
[36]レート	フレームレートをプルダウンメニューから選択します。
[37]分(イベント前録画時間)	[37]分: イベント発生前の録画時間を設定します。最大値:60／最小値:0 [38]秒: イベント発生前の録画時間を設定します。最大値:59／最小値:0 [39]時間: イベント発生後の録画時間を設定します。最大値:24／最小値:0

[38]秒(イベント前録画時間)	[40]分: イベント発生前の録画時間を設定します。最大値:59/最小値:0 [41]秒: イベント発生前の録画時間を設定します。最大値:59/最小値:0												
[39]時間(イベント後録画時間)	イベント前録画時間 設定可能範囲:0 秒~60 分 0 秒 イベント後録画時間 設定可能範囲:0 秒~24 時間 0 分 0 秒												
[40]分(イベント後録画時間)	直接入力のほか、ボタン「▲ ▼」クリックで値を増減させることができます。												
[41]秒(イベント後録画時間)													
[42]カメラ情報確認	<p><確認> ボタンを押すとカメラに設定する情報を表示します。</p> <div data-bbox="587 828 1241 1041" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; background-color: #003366; color: white; padding: 2px;">HTTPイベント録画を行う場合は、 下記の設定をカメラに設定してください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 2px;">① イベント通知 URL</td> <td style="padding: 2px;">http://172.24.255.105/rs/api/httpEventRecorder.php?action=start&cameraid=1</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">② ユーザID</td> <td style="padding: 2px;">ArobaViewUser</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">③ パスワード</td> <td style="padding: 2px;">veP2Jr2Z</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="571 1052 1332 1176" style="margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">CAUTION</p> <p style="text-align: center; background-color: black; color: white; padding: 5px;">HTTPトリガーイベント録画は、カメラ側の設定が必要です。</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 2px;">①イベント通知 URL</td> <td style="padding: 2px;">カメラ設定時に入力する HTTP コマンドを表示します。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">②HTTP ユーザ ID</td> <td style="padding: 2px;">ユーザ ID を表示します。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">③HTTP パスワード</td> <td style="padding: 2px;">パスワードを表示します。</td> </tr> </table>	① イベント通知 URL	http://172.24.255.105/rs/api/httpEventRecorder.php?action=start&cameraid=1	② ユーザID	ArobaViewUser	③ パスワード	veP2Jr2Z	①イベント通知 URL	カメラ設定時に入力する HTTP コマンドを表示します。	②HTTP ユーザ ID	ユーザ ID を表示します。	③HTTP パスワード	パスワードを表示します。
① イベント通知 URL	http://172.24.255.105/rs/api/httpEventRecorder.php?action=start&cameraid=1												
② ユーザID	ArobaViewUser												
③ パスワード	veP2Jr2Z												
①イベント通知 URL	カメラ設定時に入力する HTTP コマンドを表示します。												
②HTTP ユーザ ID	ユーザ ID を表示します。												
③HTTP パスワード	パスワードを表示します。												

● 各設定項目について(FTP アップロードイベント録画設定)

イベント録画を行うためにはカメラ側でも設定が必要です。カメラ側の設定手順はカメラメーカー別『カメラ設定ガイド』をご覧ください。資料はパートナー様向けにアロバビューサポートで公開しております。(要ログインアカウント)



FTP アップロードイベント録画設定																					
[43]録画しない／する	イベント録画の開始・停止をプルダウンメニューから選択します。																				
[44]録画方式	FTP アップロードを選択すると FTP アップロードイベント録画の設定画面が表示されます。																				
[45]検知前画像数	保存する検知前画像の枚数をプルダウンメニューから選択します。																				
[46]カメラ情報確認	<p><確認> ボタンを押すとイベント録画設定で、カメラに設定する情報を表示します。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">イベント録画を行う場合は、下記の情報をカメラに設定して下さい。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>① FTPサーバ</td> <td>172.24.120.120</td> </tr> <tr> <td>② ポート</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>③ FTPユーザID</td> <td>ArobaViewUser</td> </tr> <tr> <td>④ FTPパスワード</td> <td>Mu</td> </tr> <tr> <td>⑤ ディレクトリ</td> <td>52</td> </tr> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;"><input type="button" value="閉じる"/></p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>FTP アップロードイベント録画は、カメラ側の設定が必要です。</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td>① FTP サーバ</td> <td>FTP サーバのアドレスを表示します。</td> </tr> <tr> <td>② ポート</td> <td>ポート番号を表示します。</td> </tr> <tr> <td>③ FTP ユーザ ID</td> <td>FTP サーバのユーザ ID を表示します。</td> </tr> <tr> <td>④ FTP パスワード</td> <td>FTP サーバのパスワードを表示します。</td> </tr> <tr> <td>⑤ ディレクトリ</td> <td>ディレクトリを表示します。</td> </tr> </table>	① FTPサーバ	172.24.120.120	② ポート	21	③ FTPユーザID	ArobaViewUser	④ FTPパスワード	Mu	⑤ ディレクトリ	52	① FTP サーバ	FTP サーバのアドレスを表示します。	② ポート	ポート番号を表示します。	③ FTP ユーザ ID	FTP サーバのユーザ ID を表示します。	④ FTP パスワード	FTP サーバのパスワードを表示します。	⑤ ディレクトリ	ディレクトリを表示します。
① FTPサーバ	172.24.120.120																				
② ポート	21																				
③ FTPユーザID	ArobaViewUser																				
④ FTPパスワード	Mu																				
⑤ ディレクトリ	52																				
① FTP サーバ	FTP サーバのアドレスを表示します。																				
② ポート	ポート番号を表示します。																				
③ FTP ユーザ ID	FTP サーバのユーザ ID を表示します。																				
④ FTP パスワード	FTP サーバのパスワードを表示します。																				
⑤ ディレクトリ	ディレクトリを表示します。																				

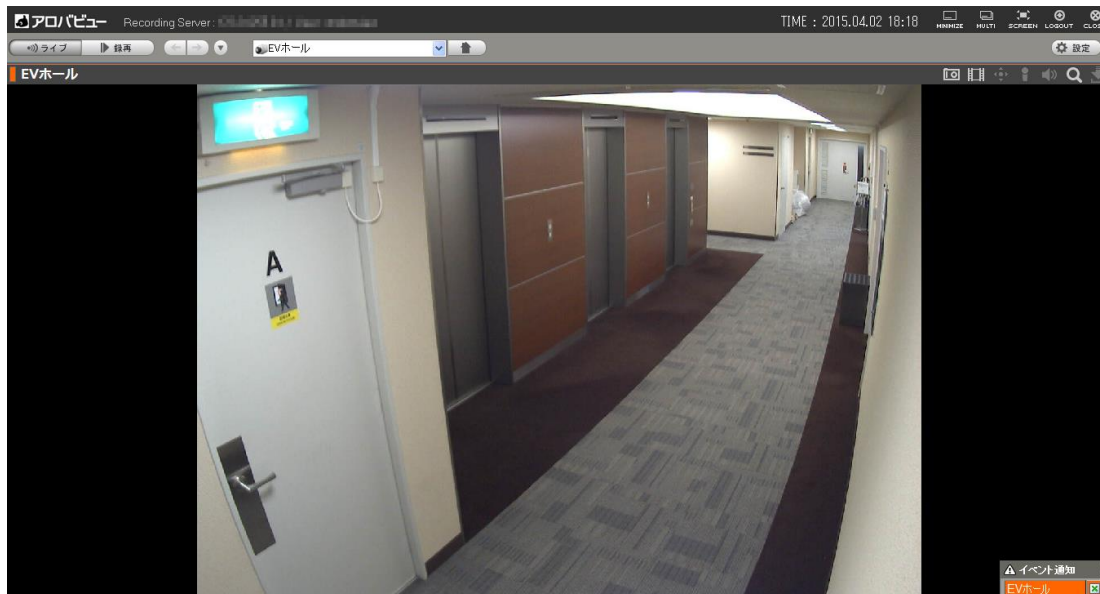
- イベント通知について

イベント通知は、イベント発生時にライブモードのモニタリング画面に通知する機能です。イベント通知は、「ビュー画面枠の点滅」と「リストポップアップ」とふたつの方法で行われます。枠の色や点滅時間、ポップアップの有無により、通知レベルは3つに分けられます。

		レベル高	レベル中	レベル低
ビュー画面枠 の点滅	点滅色	赤	オレンジ	オレンジ
	点滅終了	画面をクリックするまで	10 秒経過後	10 秒経過後
リストポップアップ		あり	あり	なし

レベル高の設定では、ビュー画面枠が赤く点滅し画面をクリックするまで点滅し続けます。レベル中／低では、ビュー画面枠はオレンジ色にイベント発生から 10 秒間だけ点滅します。

リストポップアップは、デスクトップ画面下に表示されます。登録されているカメラ名がリスト表示され、イベント発生したカメラ名が赤、またはオレンジで点滅します。点滅しているカメラ名をクリックすると、ライブ画面がクリックしたカメラに切り替わります。

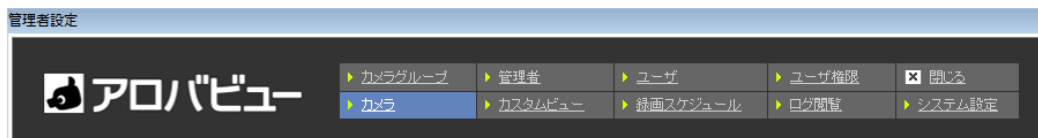


Point イベント発生時カメラ自動切替機能

イベント発生時カメラ自動切替機能を ON にすると、イベントが通知されたカメラのビューに自動的に切り替わります。[環境設定][イベント通知]タブから、クライアント PC ごとに ON/OFF を設定できます。詳細は、「7.6[イベント通知]タブ」をご参照ください。

9.2.2 カメラの設定を変更するには

1. [管理者設定]ウィンドウの[カメラ]をクリックします。



2. ここでは、例としてカメラ名を変更します。

[カメラ]画面が表示されたら、[1]<変更・削除>が選択されていることを確認し、[2]ツリー画面から設定を変更したいカメラ名を選択します。[3]選択したカメラの[カメラ名]と、設定情報が表示されます。必要な変更を加え、[4]<変更>ボタンをクリックします。

※[管理設定]ウィンドウの[カメラ]をクリックすると、<変更・削除>がデフォルトで選択されています。



3. 修正した内容が登録されます。



9.2.3 カメラを削除するには



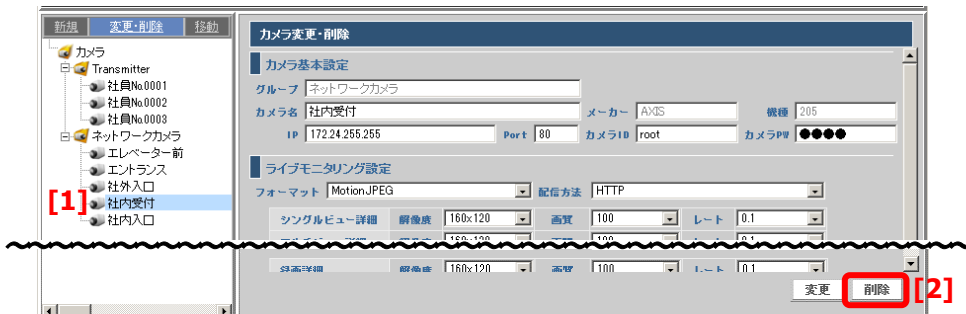
カメラ削除の際の注意点

カメラを削除した場合、当該カメラで録画した映像もすべて削除されます。作業の際には十分ご注意ください。

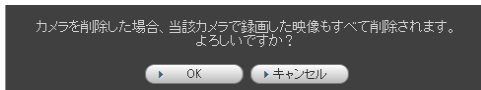
1. [管理者設定]ウィンドウの[カメラ]をクリックします。



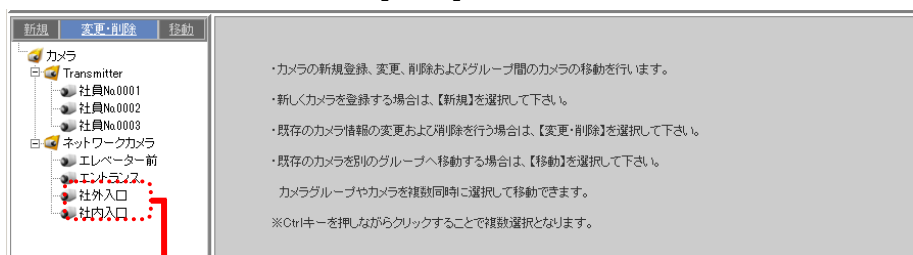
2. [カメラ]画面が表示されたら、[1]ツリー画面のカメラ名を選択します。[2] <削除> ボタンをクリックします。



3. 「カメラを削除しますか？」と確認ダイアログボックスが表示されます。<OK> ボタンをクリックします。



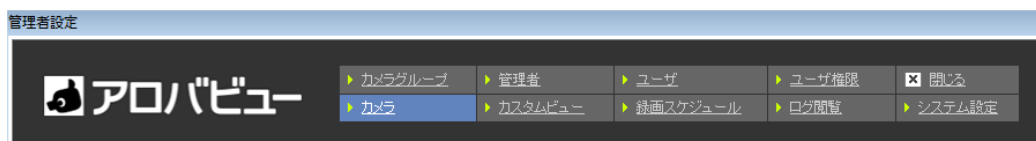
4. ツリー画面からカメラが削除され、[カメラ]のトップページに戻ります。



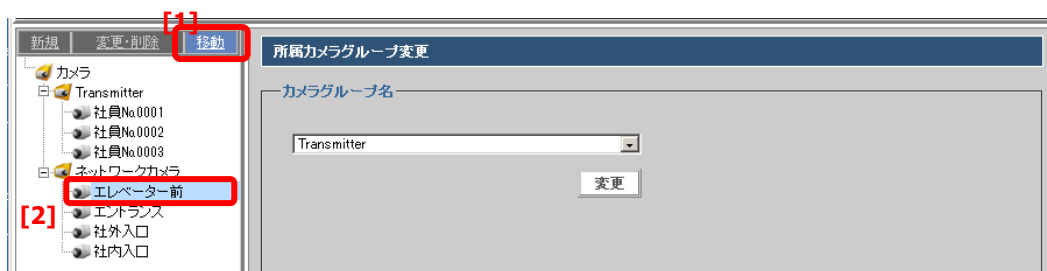
削除された

9.2.4 カメラグループを移動するには

1. [管理者設定]ウィンドウの[カメラ]をクリックします。



2. [1]移動ボタンをクリックし、[2]ツリー画面から移動したいカメラを選択します。



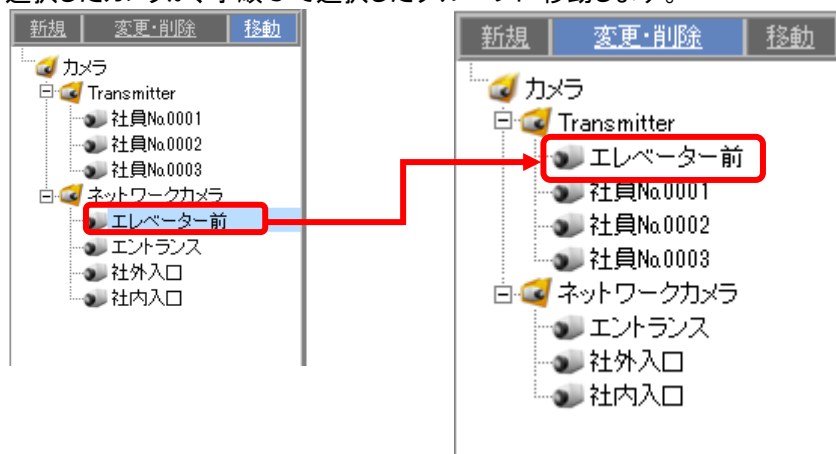
Point

Ctrl キーを押しながらクリックすることで複数選択が可能です。

3. [3]プルダウンメニューから移動先のカメラグループを選択し、[4]<変更>ボタンをクリックします。



4. 選択したカメラが、手順 3 で選択したグループに移動します。



9.3 カスタムビュー

ユーザーが設定するカスタムビューの登録・変更・削除を行います。

9.3.1 カスタムビューとは

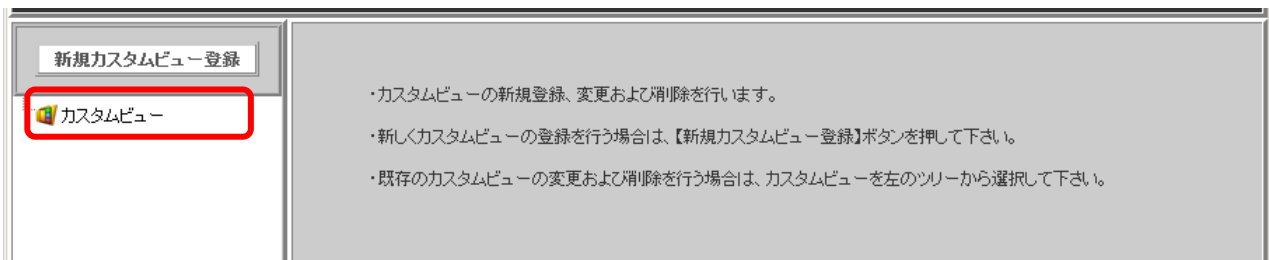
カスタムビューとは、複数のカメラを組み合わせることで1画面に表示する設定で、管理者権限を持つユーザーが、テンプレートを元にカメラを組み合わせることで作成します。作成したカスタムビューは、カメラメニューバーのプルダウンリストに表示されます。

9.3.2 カスタムビューを登録するには

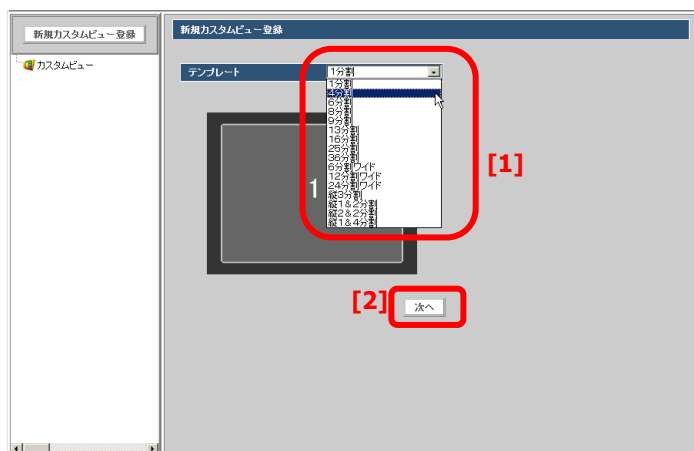
1. [管理者設定]ウィンドウの[カスタムビュー]をクリックします。



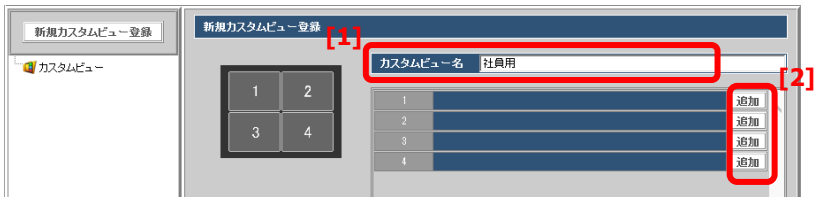
2. [カスタムビュー]画面が表示されたら<新規カスタムビュー登録>ボタンをクリックします。



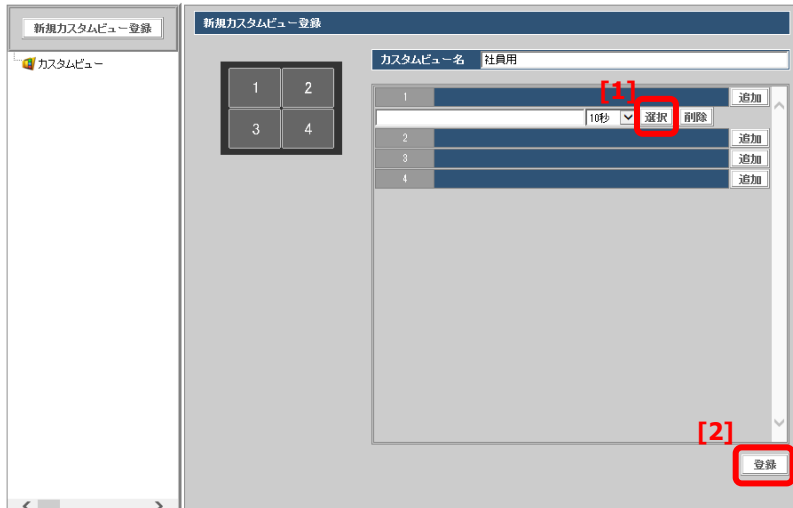
3. [1][テンプレート]リストボックスから分割画面数を選択し、[2]<次へ>ボタンをクリックします。



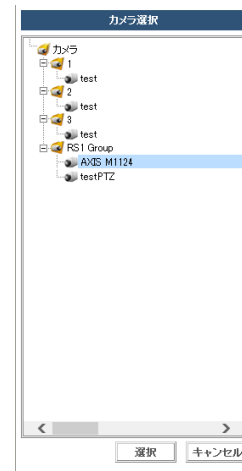
4. [1][カスタムビュー名]に名前を入力し、[2]<追加>ボタンをクリックします。



5. [1]<追加>ボタンをクリックしカメラを選択し、[2]<登録>ボタンをクリックします。



参考: カメラ選択ダイアログ



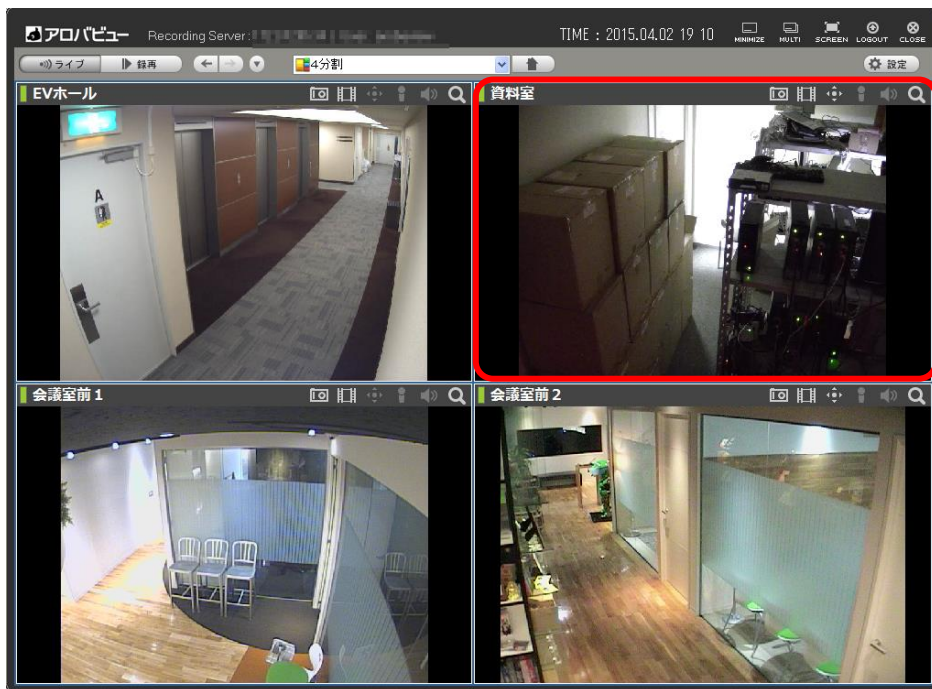
6. ツリー画面に新しいカスタムビューが追加されます。



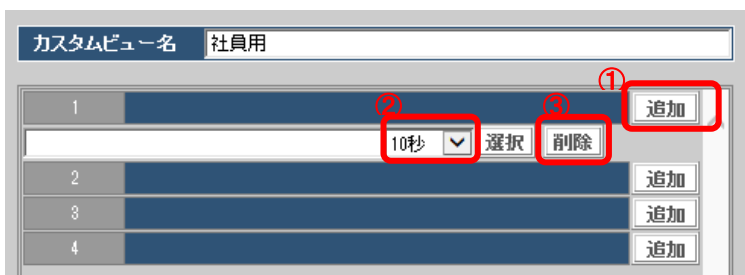
ローテーション表示について

カスタムビューで分割表示される1つのビューに、複数のカメラを割り当てることで、ローテーション表示することができます。

たとえば、カスタムビューの中の、1つのビューに対し、「カメラ 1」「カメラ 2」の2つのカメラを割り当てると、「カメラ 1」→「カメラ 2」と、指定した間隔で順番に表示します。



ローテーション表示の設定は、カスタムビューの登録画面で行います。



①追加	クリックすると複数のカメラを登録できます。
②[秒]リストボックス	ローテーション表示する間隔を指定します。
③削除	追加したカメラを削除できます。

CAUTION

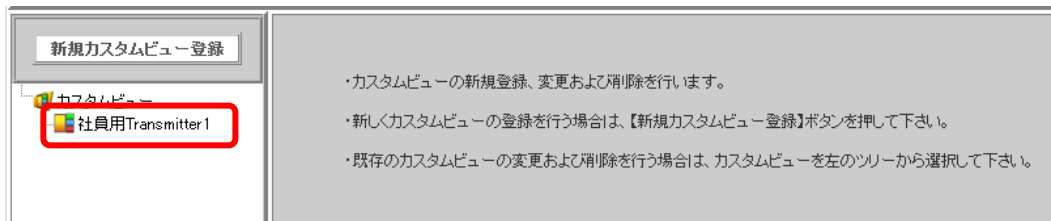
1つのカスタムビューにつき、登録できるカメラ数は、合計 160 台までになります。

9.3.3 カスタムビューの内容を変更するには

1. [管理者設定]ウィンドウの[カスタムビュー]をクリックします。



2. [カスタムビュー]のツリー画面から、変更したいカスタムビューを選択します。



3. カスタムビュー名やカメラの追加などの変更を行った後、<変更>ボタンをクリックすると、変更内容が登録されます。

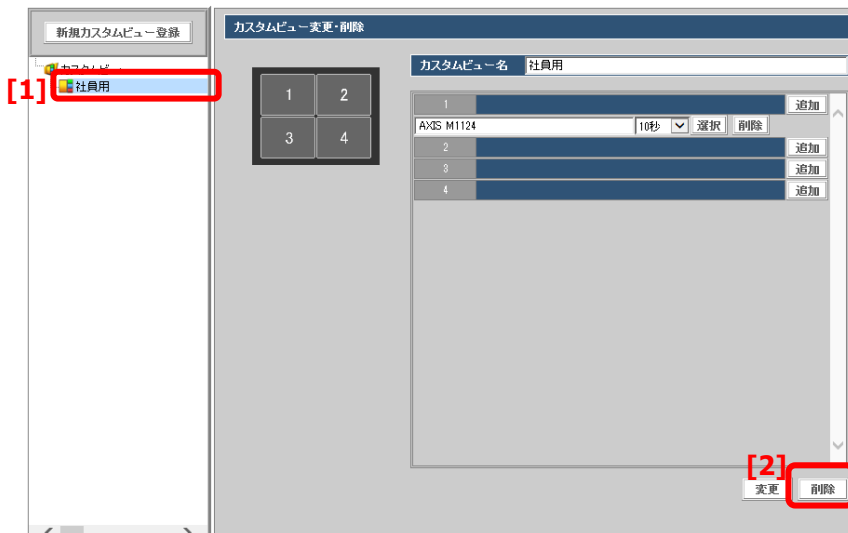


9.3.4 カスタムビューを削除するには

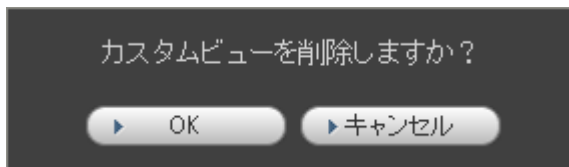
1. [管理者設定]ウィンドウの[カスタムビュー]をクリックします。



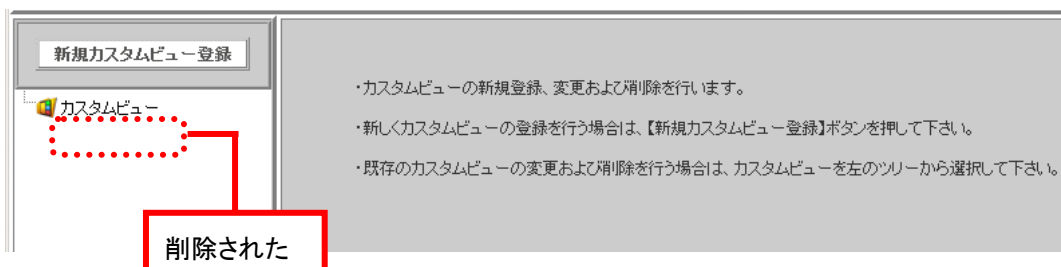
2. [カスタムビュー]のツリー画面から、[1]削除したいカスタムビューを選択し、[2]<削除>ボタンをクリックします。



3. 「カスタムビューを削除しますか?」と確認ダイアログボックスが表示されるので、<OK>ボタンをクリックします。



4. ツリー画面からカスタムビューが削除されます。



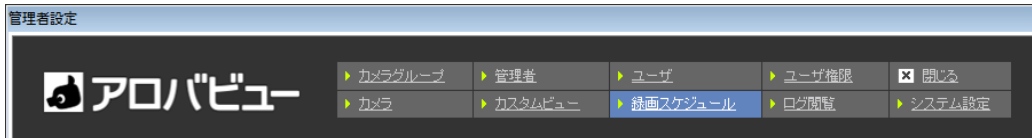
9.4 録画スケジュール

カメラごとの録画スケジュールを設定します。

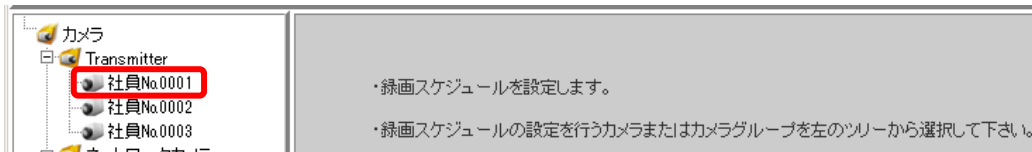
9.4.1 録画スケジュールを設定するには

※初期設定ではすべてのスケジュールが **ON** に設定されています。手順に従って運用に適した録画スケジュールを設定してください。

1. [管理者設定]ウィンドウの[録画スケジュール]をクリックします。



2. ツリー画面上で録画スケジュールを設定するカメラ/カメラグループを選択します。



Point 選択について

カメラグループを選択すると、グループ全体を一括設定できます。また、複数のカメラを選択したい場合は、[Ctrl]キーを押しながら選択します。

3. [録画スケジュール]で録画したい曜日、時間を指定します。



- ・目盛りのクリックで、スケジュールのオン/オフを切り替えます。
- ・①[現在の時間]にカーソル位置の時刻が表示されます。
- ・グラフ上でドラッグすると、時間範囲を指定できます。
- ・②[選択範囲]にドラッグ中の時刻が表示されます。
- ・グラフは、1目盛りあたり、30分です。
- ・上段は、常時録画を、下段はイベント録画を示しています。
- ・③<全選択>ボタンをクリックすると、すべての曜日・時間が選択された状態になります。
- ・④<全解除>ボタンをクリックすると、設定がリセットされすべての曜日・時間が未選択状態になります。

4. 設定が終わったら<変更>をクリックします。

The screenshot displays the Aroba View Client settings window. On the left, there is a tree view of camera locations: ネットワークカメラ, エレベーター前, エントランス, 社外入口, and 社内入口. The main area shows a 24-hour schedule grid for each day of the week (日, 月, 火, 水, 木, 金, 土). The grid has columns for hours 0-24 and rows for '常時' (Normal) and 'イベント' (Event). The '常時' rows are filled with blue, indicating they are selected. The 'イベント' rows are empty. At the bottom right, there are three buttons: '全選択' (Select All), '全解除' (Deselect All), and '変更' (Change). The '変更' button is highlighted with a red box.

9.5 ユーザー

ユーザーの登録・変更・削除と GUEST ユーザーの設定を行います。

- ・ユーザー名は 5～64 文字の半角英数文字で指定してください。
- ・メールアドレスは、イベント通知メール機能を利用する際に使用されます。必要がなければ空欄でもかまいません。
- ・ユーザーアカウントは最大 100 ユーザーまでとなります。
- ・[カメラグループ]のプルダウンで[カメラグループなし]を選択すると、管理者設定 > ユーザ権限 で全カメラが表示されます。登録直後はすべてのカメラのモニタリング権限が付与されます。
- ・[カメラグループ]のプルダウンで任意のカメラグループを選択すると、管理者設定 > ユーザ権限 でそのカメラグループに属するカメラのみ表示されます。登録直後はそのカメラのみモニタリング権限が付与されます。

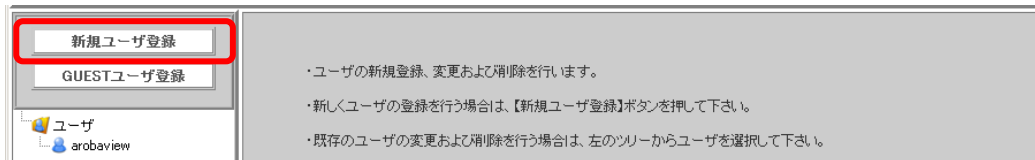
9.5.1 ユーザーを登録するには

1. 【管理者設定】ウィンドウの[ユーザ]をクリックします。

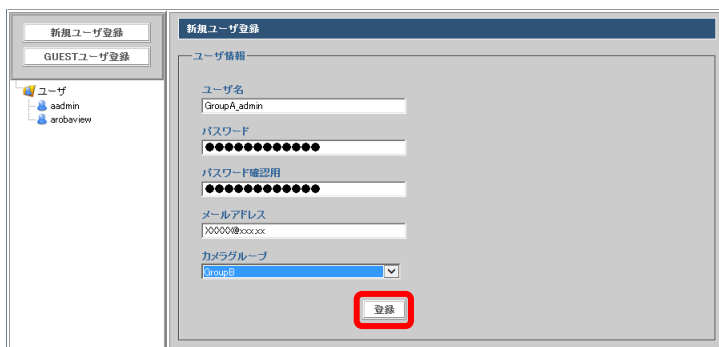


2. [ユーザ]画面が表示されたら <新規ユーザ登録> ボタンをクリックします。

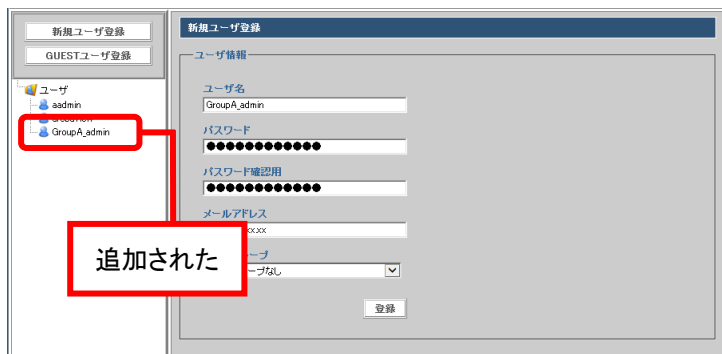
※アロバビューインストール直後は、「arobaview」というユーザーのみが登録されています。



3. 必要事項を入力し、<登録> ボタンをクリックします。

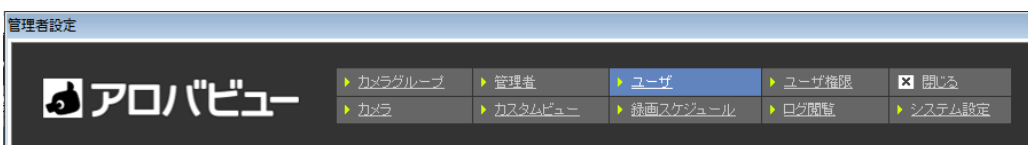


4. ツリー画面に新しいユーザーが追加されます。

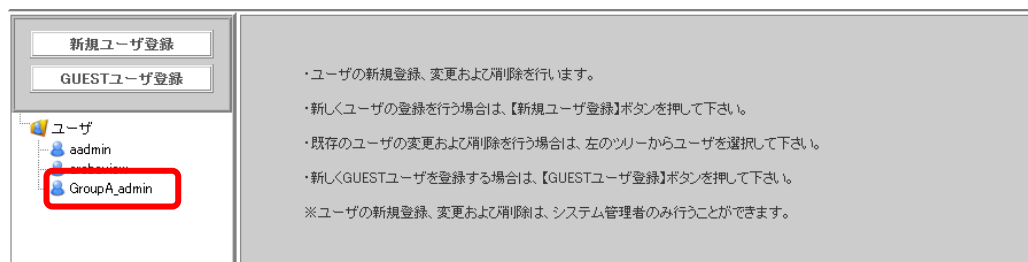


9.5.2 ユーザー情報を変更するには

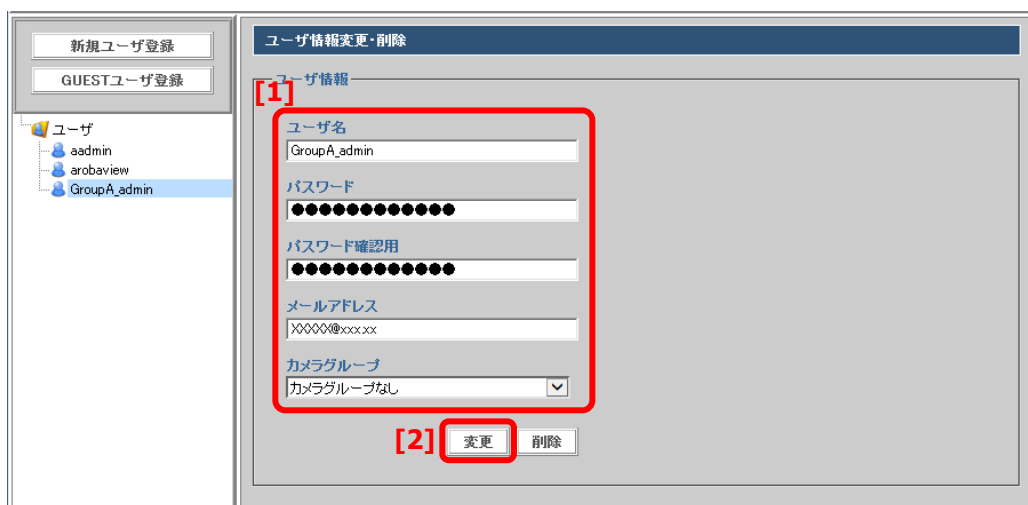
1. [管理者設定]ウィンドウの[ユーザ]をクリックします。



2. [ユーザ]画面のツリーから変更したいユーザー名をクリックします。

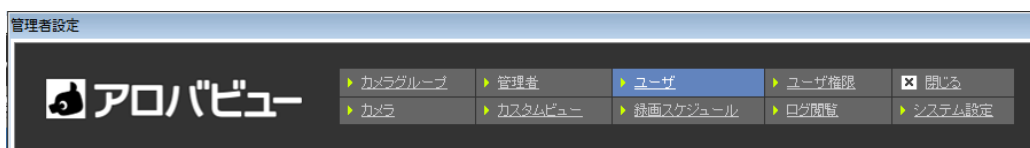


3. [1]変更する項目を修正し、[2]<変更>ボタンをクリックします。

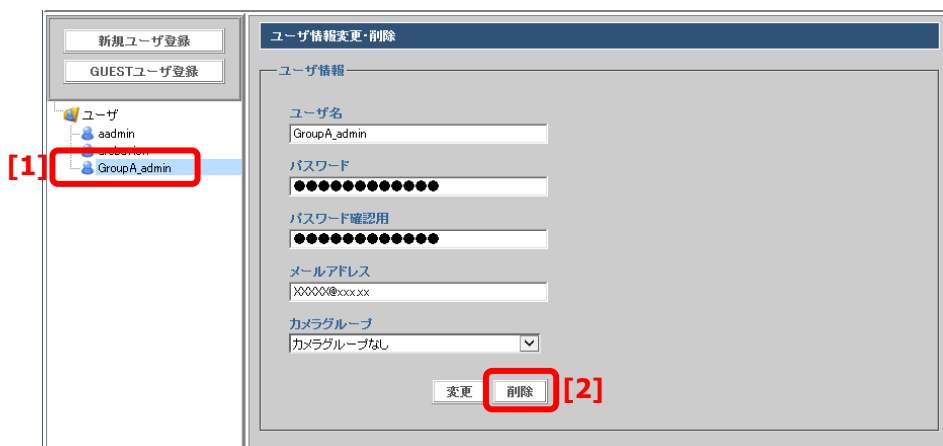


9.5.3 ユーザーを削除するには

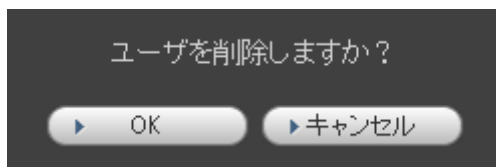
1. [管理者設定]ウィンドウの[ユーザ]をクリックします。



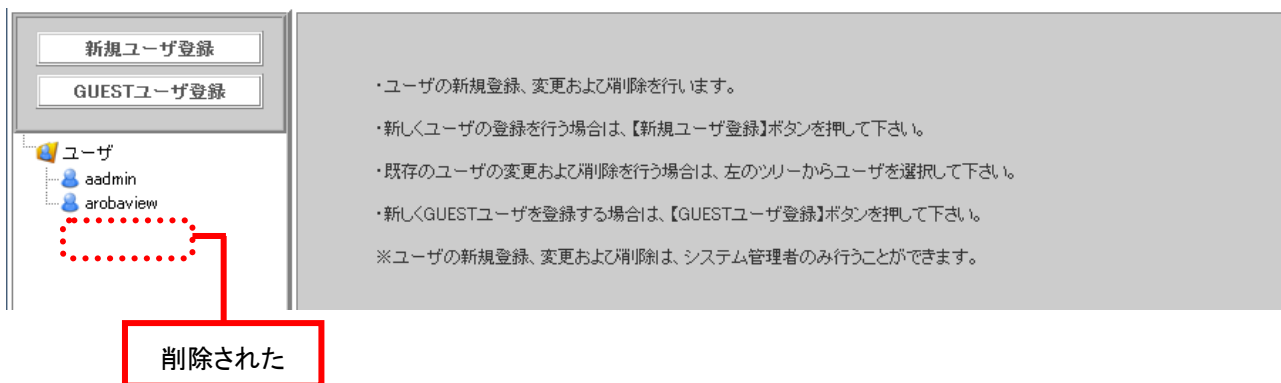
2. [ユーザ]画面のツリーから、[1]削除したいユーザー名を選択し、[2]<削除>ボタンをクリックします。



3. 「ユーザを削除しますか？」と確認ダイアログボックスが表示されるので<OK>ボタンをクリックします。



4. ツリー画面からユーザーが削除されます。

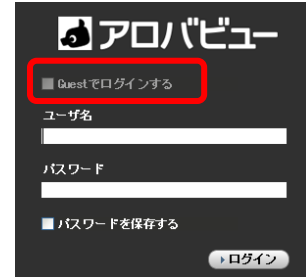


9.5.4 GUEST ユーザを登録するには

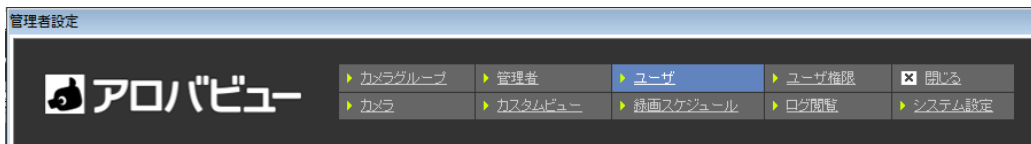
GUEST ユーザとは、GUEST ログイン機能でログインする際に割り当てるユーザーです。

Point GUEST ログイン機能について

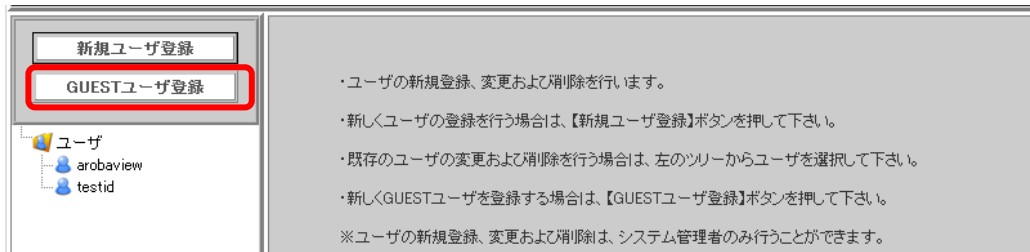
- ・GUEST ログイン機能とは、アロバビュークライアントログイン時に【Guest でログインする】を選択することで、ID とパスワードを入力せずにログインする機能です。
- ・管理者権限を持つユーザーを GUEST ユーザに割り当てても、GUEST ログインをした場合は管理者権限を持つことはできません。
- ・GUEST ユーザは、割り当てられたユーザーと同じモニタリング権限を持つこととなります。



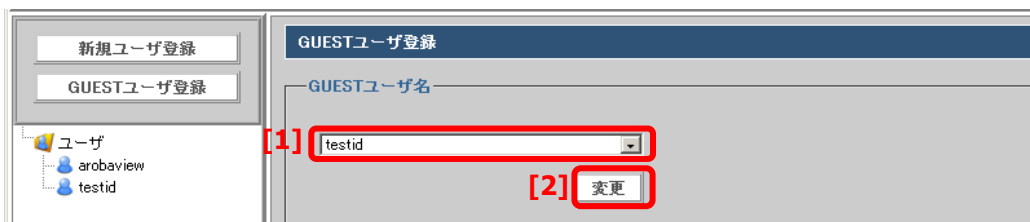
1. [管理者設定]ウィンドウの[ユーザ]をクリックします。



2. [ユーザ]画面が表示されたら <GUEST ユーザ登録> ボタンをクリックします



3. [GUEST ユーザ登録]画面で、[1] GUEST に割り当てるユーザーをプルダウンメニューから選択し、[2] <変更> ボタンをクリックします。



Point

「GUEST ユーザを登録しない」を選択すると、ログイン画面の[Guest でログインする]が無効になります。

9.6 管理者

システム管理者及びカメラグループ管理者の設定を行います。

9.6.1 システム管理者とカメラグループ管理者

システム管理者は、アロバビューすべての設定を行う権限を持つユーザーです。一方、カメラグループ管理者は、指定したカメラグループ内の設定を行う権限を持つユーザーで、一部の権限に制限があります。

設定項目	システム管理者	カメラグループ管理者
カメラグループ	○	×
カメラ	○	△
管理者	○	△
カスタムビュー	○	△
ユーザ	○	×
録画スケジュール	○	△
ユーザ権限	○	△
ログ閲覧	○	○
システム設定	○	×

Point

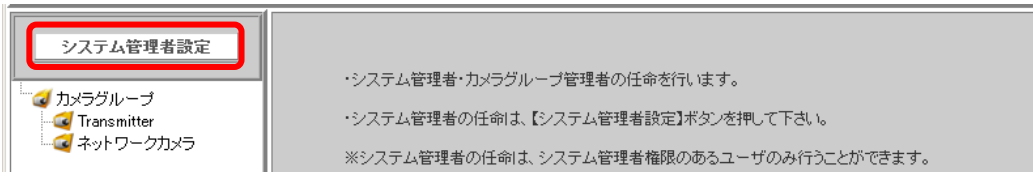
△: 管理グループのみ設定が可能です。

9.6.2 システム管理者を設定するには

1. [管理者設定]ウィンドウの[管理者]をクリックします。



2. [管理者]画面の<システム管理者設定>ボタンをクリックします。



3. システム管理者権限を与えるユーザーにチェックを入れます

ログインユーザー自身の設定を変更することはできません。



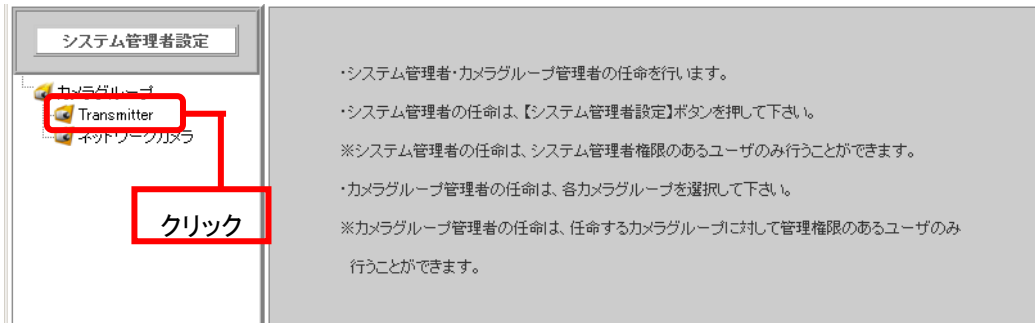
[1]ユーザー一覧	管理者権限を与えるユーザーのチェックボックスにチェックを入れます。
[2]全選択	すべてのユーザーがチェックされます。
[3]全解除	すべてのユーザーのチェックを外します。
[4]変更	設定内容を保存します。

9.6.3 カメラグループ管理者を設定するには

1. [管理者設定]ウィンドウの[管理者]をクリックします。



2. [管理者]画面のツリーからカメラグループをクリックします。



3. カメラグループ管理者権限を与えるユーザーにチェックを入れ、設定完了後<変更>ボタンをクリックします。

ログインユーザー自身の設定を変更することはできません。

システム管理者をカメラグループ管理者に指定することはできません。



[1]ユーザー一覧	管理者権限を与えるユーザーのチェックボックスにチェックを入れます。
[2]全選択	すべてのユーザーがチェックされます。
[3]全解除	すべてのユーザーのチェックを外します。
[4]変更	設定内容を保存します。

9.7 ユーザ権限

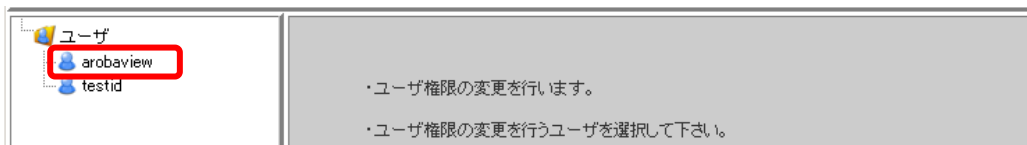
ユーザーごとに閲覧・操作可能なカメラを設定します。

- ・管理者設定 > ユーザ > カメラグループ のプルダウンで選択したカメラグループ及び、その配下のカメラグループに属するカメラが表示されます。
- ・管理者設定 > ユーザ > カメラグループ のプルダウンで[カメラグループなし]を選択していた場合、全カメラが表示されます。

1. [管理者設定]ウィンドウの[ユーザ権限]をクリックします。



2. [ユーザ権限]画面のツリーから設定するユーザーをクリックします。



3. 権限を与える項目をクリックしてチェックをいれます。権限を与えない場合には、チェックを外します。

・[全て]のチェックボタンをクリックすると、全選択できます。再度クリックすると全解除します。

カメラグループ名のチェックボタンをクリックすると、配下のカメラを全選択します。再度クリックすると、配下のカメラを全解除します。



・[設定対象カメラ]の「>」をクリックすると各カメラグループへ登録されているカメラが表示されます。

設定対象カメラ	モニタリングカメラ権限
全て	<input checked="" type="checkbox"/>
1 >	<input checked="" type="checkbox"/>
2 >	<input checked="" type="checkbox"/>
3 >	<input checked="" type="checkbox"/>
RS1 Group v	<input checked="" type="checkbox"/>
AXIS M1124	<input checked="" type="checkbox"/>
testPTZ	<input checked="" type="checkbox"/>

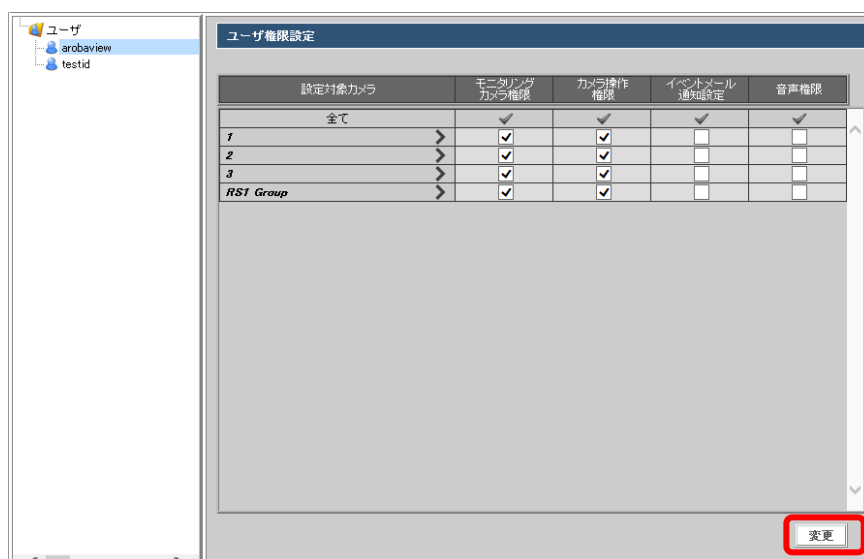
各設定の内容は次のとおりです。

[1] モニタリングカメラ権限	<p>ユーザーが閲覧できるカメラを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユーザー情報でカメラグループが選択されていない(=カメラグループなし)場合 登録直後は全ユーザーにチェックが入ります。 ・ユーザー情報で任意のカメラグループが選択されている場合 任意のカメラグループに属するカメラすべてが選択されます。
[2] カメラ操作権限	<p>[カメラツールバー][カメラ操作リモコン]パネルの操作権限を与えるカメラを指定します。※新規カメラ登録直後はシステム管理者 及び カメラグループ管理者のカメラ操作権限が ON に設定されます。※[モニタリングカメラ権限]で権限を与えられているカメラに限ります。</p>
[3] イベントメール通知設定	<p>イベント発生を通知するメールを受信することができるカメラを指定します。受信するメールアドレスは、[管理者設定][ユーザ情報]で管理者が設定します。</p> <p>※[モニタリングカメラ権限]で権限を与えられているカメラに限ります。</p> <p>[管理者設定][カメラ]設定画面の「イベント録画設定」に「録画しない」を設定している場合、メールは送信されません。</p>
[4] 音声権限	<p>ライブモニタリング時の音声通信および、音声付録画再生をすることができるカメラを指定します。</p> <p>※[モニタリングカメラ権限]で権限を与えられているカメラに限ります。</p>



- ・カメラ新規登録直後はシステム管理者 及び カメラグループ管理者に[モニタリングカメラ権限][カメラ操作権限]が付与され、その他の権限は OFF になります。
- ・新規ユーザーは、登録直後は、すべてのカメラの[モニタリングカメラ権限]を持ちます。
- ・配下にカメラが1つも所属していないカメラグループは表示されません。

4. 設定が完了したら<変更>ボタンをクリックします。



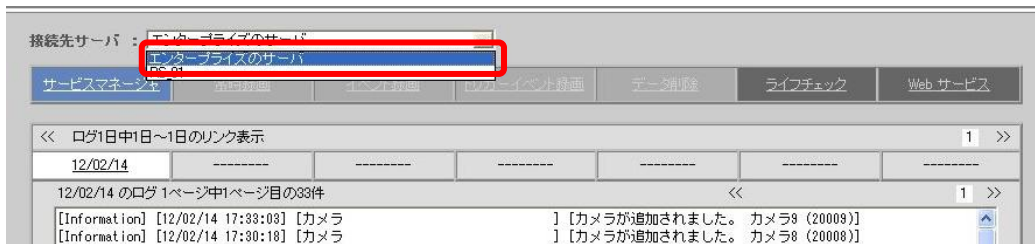
9.8 ログ閲覧

各種サービスのログファイルを閲覧します。

1. 【管理者設定】ウィンドウの[ログ閲覧]をクリックします。



2. サーバーを選択します(サーバー統合ソフトウェア(エンタープライズサーバー)の時のみ表示されます。)



3. サーバー統合ソフトウェア(エンタープライズサーバー)を選択した場合、サーバー統合ソフトウェア(エンタープライズサーバー)のログが表示されます。カメラ管理ソフトウェア(レコーディングサーバー)を選択した場合、選択したカメラ管理ソフトウェア(レコーディングサーバー)のログが表示されます。



タブメニュー	
[1] サービスマネージャ	アロバビューサービスの起動/停止等のログ情報を閲覧します。
[2] 常時録画サービス	常時録画の開始/停止状況、及び異常や遅延等のログ情報を閲覧します。 ※カメラ管理ソフトウェア(レコーディングサーバー)選択時のみ
[3] イベント録画サービス	FTP アップロードイベント録画の開始/停止状況、及び異常や遅延等のログ情報を閲覧します。 ※カメラ管理ソフトウェア(レコーディングサーバー)選択時のみ
[4] トリガーイベント録画サービス	HTTP トリガーイベント録画の開始/停止状況、及び異常や遅延等のログ情報を閲覧します。 ※カメラ管理ソフトウェア(レコーディングサーバー)選択時のみ
[5] データ削除サービス	録画データ削除の成功/失敗等のログ情報を閲覧します。 ※カメラ管理ソフトウェア(レコーディングサーバー)時のみ
[6] ライフチェックサービス	ライフチェックの開始/停止、カメラの接続状況、ディスクの使用状況等のログ情報を閲覧します。
[7] Webサービス	アロバビュークライアントからのログイン、ログアウトのログ情報を閲覧します。

[ログ閲覧]画面では、サービスコントロールセンターで設定したログ収集期間分のログを閲覧できます。

各日付をクリックすると、その日のログが表示されます。

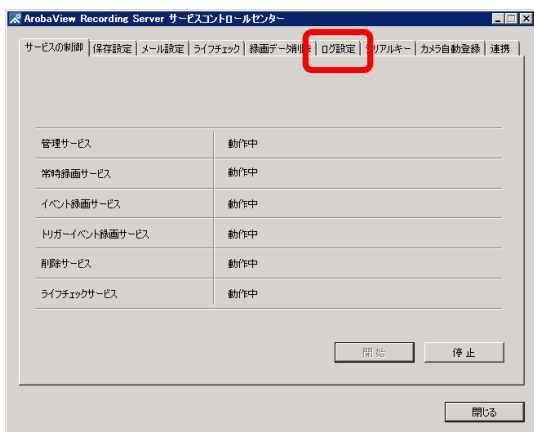
[<<]をクリックすると前1週間分、[>>]をクリックすると後1週間分の日付が表示されます。

サービスコントロールセンターの起動から設定まで

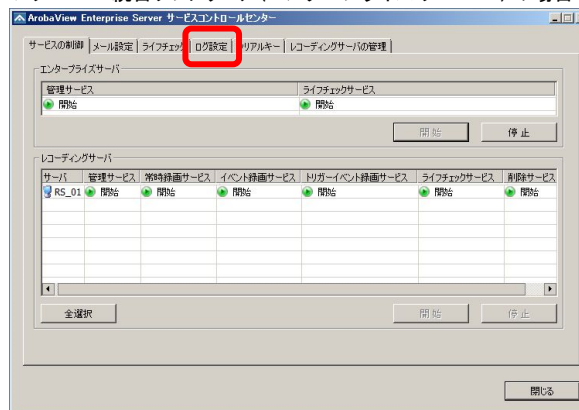
ログ閲覧の内容は、サービスコントロールセンターで設定した項目が反映されます。サービスコントロールセンターは、アロバビューをインストールしたサーバーから起動します。

- ① サービスコントロールセンターを起動するには、サーバーマシンの[スタート]メニューから、[すべてのプログラム]→[ArobaView for Windows Recording Server]を、(サーバー統合ソフトウェア(エンタープライズサーバー)をご利用の場合は、[ArobaView for Windows Enterprise Server]→[サービスコントロールセンター])を選択します。
- ② サービスコントロールセンターが起動したら、[ログ設定]タブをクリックします。

▼カメラ管理ソフトウェア(レコーディングサーバー)の場合

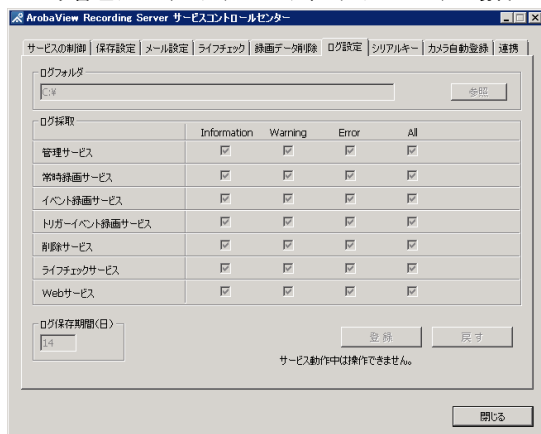


▼サーバー統合ソフトウェア(エンタープライズサーバー)の場合

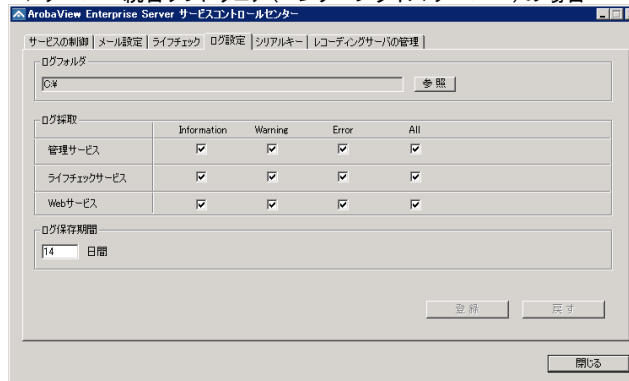


- ③ [ログ設定]画面が表示されます。ここで設定した内容が、[ログ閲覧]画面に反映されます。設定の詳細は、「導入&設定マニュアル」をご確認ください。

▼カメラ管理ソフトウェア(レコーディングサーバー)の場合



▼サーバー統合ソフトウェア(エンタープライズサーバー)の場合



9.9 システム設定

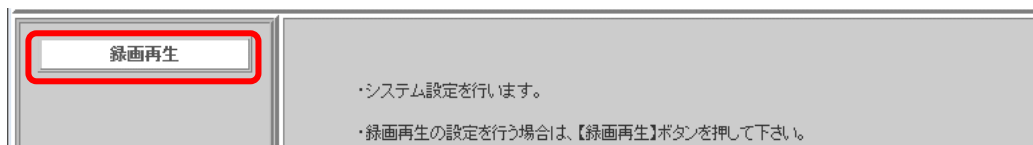
システムの設定を行います。

9.9.1 録画再生の設定を行うには

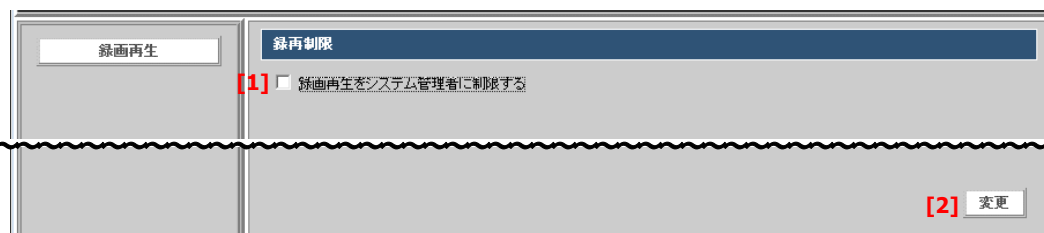
1. [管理者設定]ウィンドウの[システム設定]をクリックします。



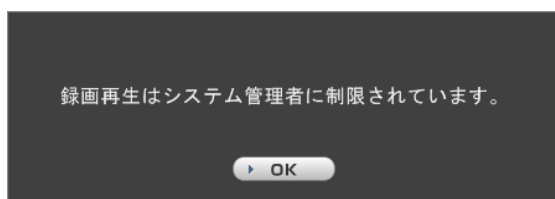
2. <録画再生>ボタンをクリックします。



3. [1]「録画再生をシステム管理者に制限する」にチェックを入れ、[2]<変更>ボタンをクリックすると、録画再生の設定が変更されます。



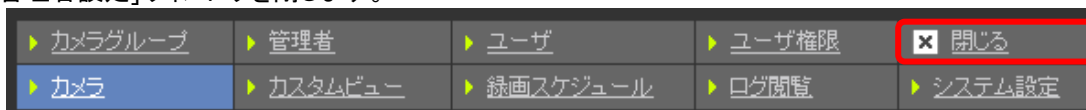
「録画制限」を ON にした場合、システム管理者権限を持たないユーザーが、<録再>ボタンをクリックするとエラーメッセージが表示され、録画再生を行うことができません。



4. 変更を適用するため、アロバビュークライアントに再ログインします。
再ログインするまで設定変更は適用されません。

9.10 閉じる

[管理者設定]ウィンドウを閉じます。

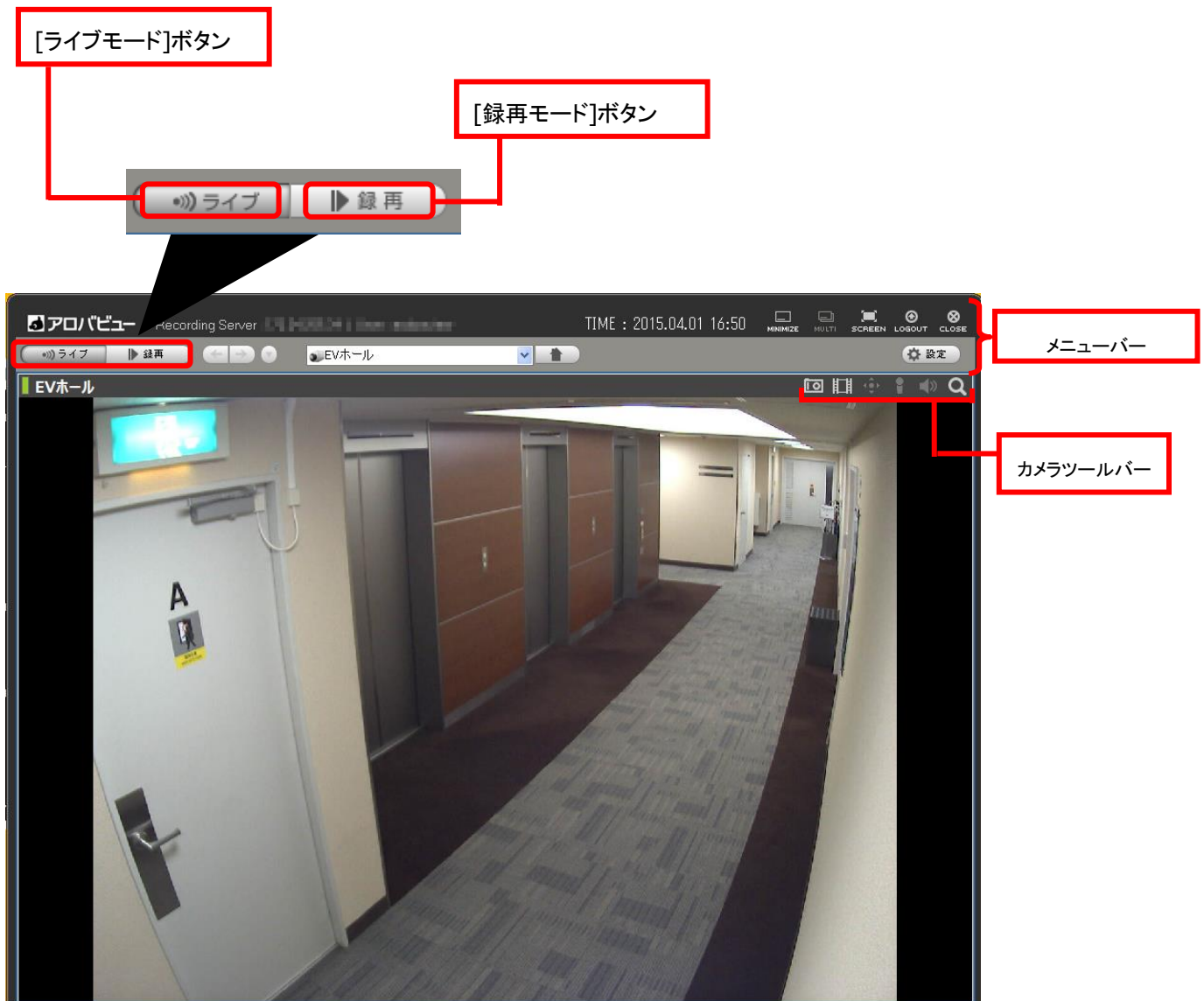


10 操作

ここではモニタリングの操作方法について解説します。カメラの設定が完了していない場合には、先にカメラの設定を行ってください。

モニタリングには、[ライブモード]と[録再モード]の2つのモードがあります。ライブモードはカメラの画像をリアルタイムで表示するモードで、録再モードは録画した画像データを再生するモードです。2つのモードは、メニューバーのボタンで切り替えることができます。

また、表示したカメラ画像は、カメラツールバーから操作できます。



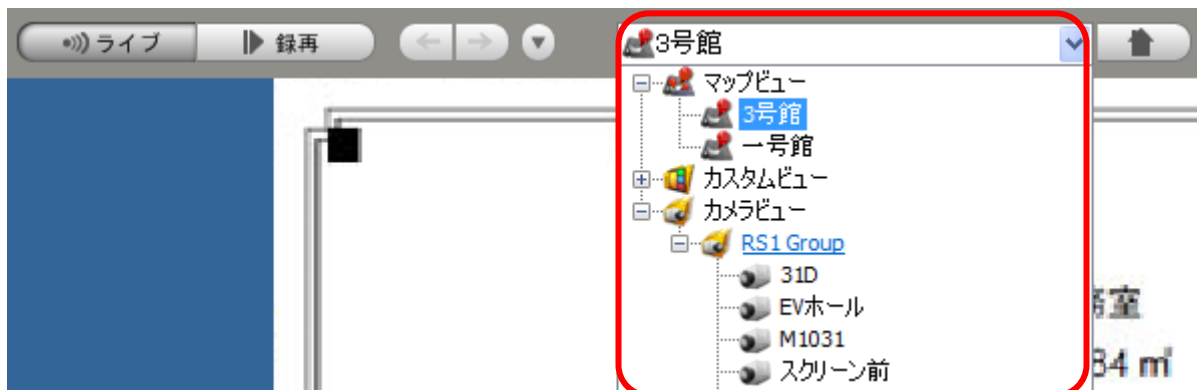
10.1 ライブモード

メニューバーの[ライブ]ボタンをクリックすると、表示画面がライブモードに切り替わります。ライブモードではビューリストで選択したカメラビュー／カスタムビュー／マップビューのリアルタイムの映像を表示します。

10.1.1 ビューを表示するには

カメラ／カスタムビュー／マップビューを登録すると[ビューリスト]プルダウンメニューに追加されます。

[ビューリスト]プルダウンメニューから、表示するビューを選択します。

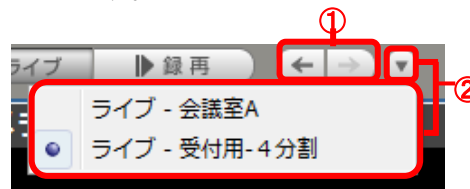


- ・ビューリストにはアロバビューに登録されているカメラビュー／カスタムビュー／マップビューのうち、ログインしているユーザにモニタリング権限があるもののみが表示されます。
- ・カメラビュー／カスタムビューの登録については[管理者設定]の[カメラ]および[カスタムビュー]、モニタリング権限の設定については、[管理者設定]の[ユーザ権限]をそれぞれご覧ください。
- ・マップについては、「マップビュー 設定 & 操作マニュアル」をご参照ください。

Point

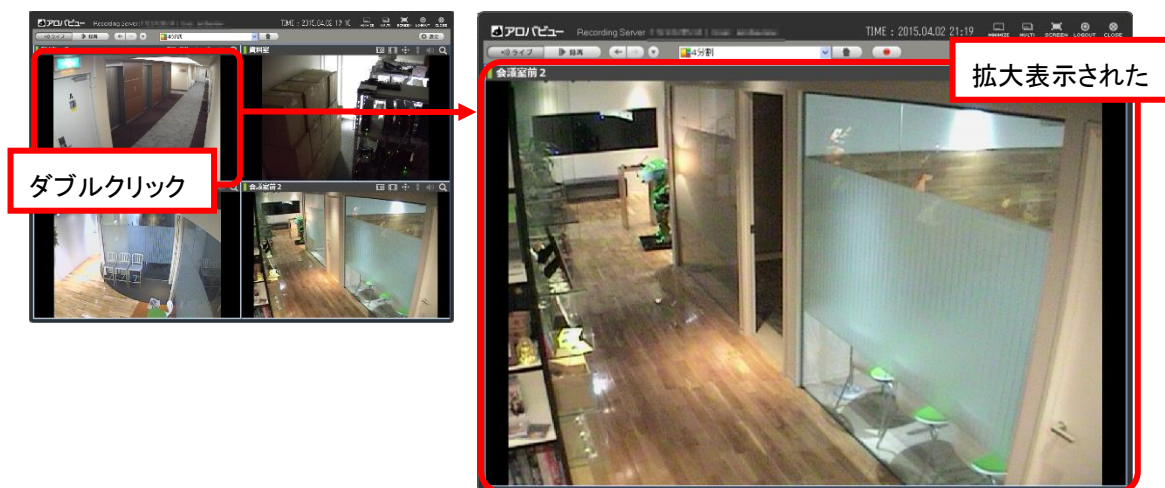
一度表示したビューの履歴から、再度ビューを表示することができます。

① ←履歴戻る／ →履歴進む	[←]は、1 つ前のビューに戻ります。 [→]は、1 つ先のビューに進みます。
② 履歴一覧	履歴一覧プルダウンリストを表示します。



10.1.2 カスタムビューの操作

- ・カスタムビューを選択した場合、分割画面に割り当てられたビューをダブルクリックすると拡大表示します。
- ・再度ダブルクリックすると元のサイズに戻ります。
- ・カスタムビューの分割画面を拡大表示する場合、シングルビューの解像度にて画像を表示することが可能です。シングルビューの解像度で拡大表示を行うには[環境設定]ウィンドウの[全般]タブで設定する必要があります。設定方法については、「7.1[全般]タブ」をご参照ください。



Point

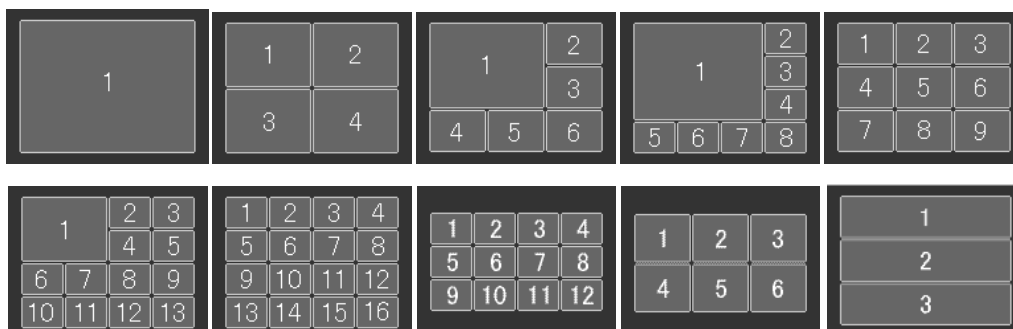
カスタムビューは、キーボード操作によりカメラの切り替えを行うことができます。

- 下記の番号に対応した数字キー(テンキーを含む)を押下した場合に、該当する映像を拡大表示します。10～16については、A～G キーが該当します。

ビュー番号 1～9 : CTRL+ALT+「1～9」

ビュー番号 10～16 : CTRL+ALT+「A～G」

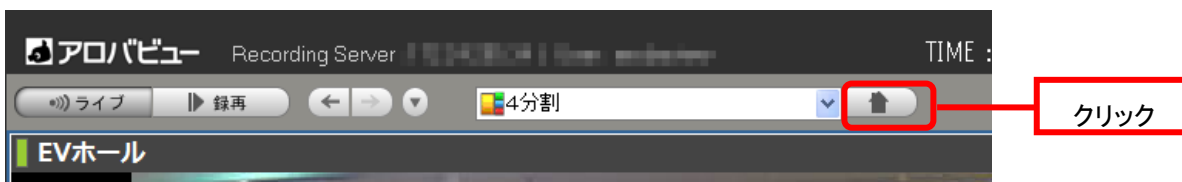
- 拡大表示時に、CTRL+ALT+「0 キー」または「スペースキー」を押下すると、元の表示に戻ります。



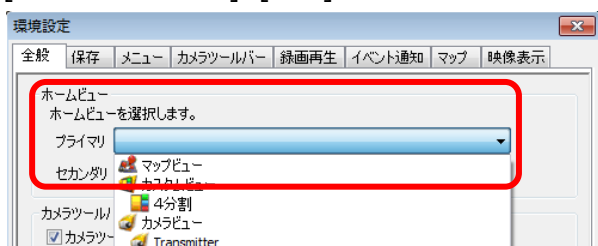
24 分割ワイド、25 分割、36 分割、縦 3 分割、縦 1&2 分割、縦 2&2 分割、縦 1&4 分割はキーボード操作に対応していません。

10.1.3 ホームビューを表示するには

- ・メニューバーの[ホーム]ボタンをクリックすると、ホームビューに設定されたビューが表示されます。
- ・事前に[環境設定ウィンドウ]>[全般]でホームビューの設定が必要です。

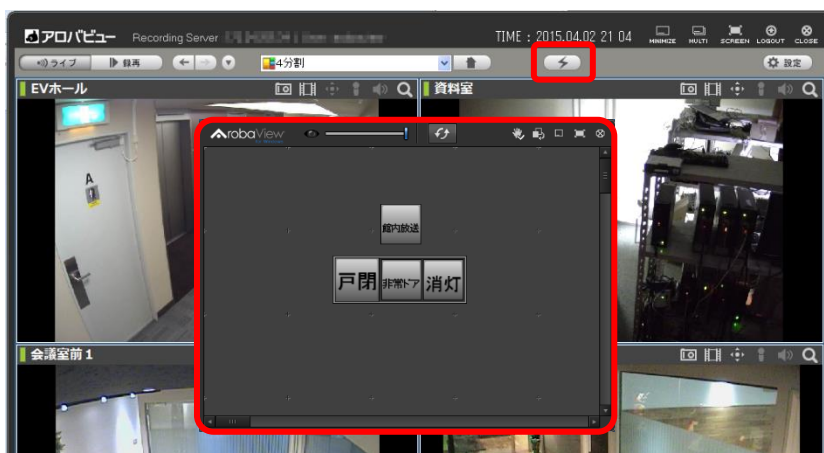


- ・[環境設定ウィンドウ]>[全般]

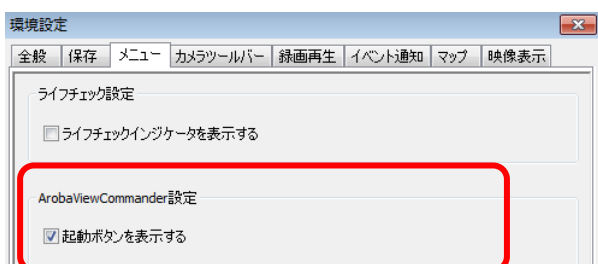


10.1.4 ArobaView Commander を使用するには

- ・ArobaView Commander ボタンを使用することで、ArobaView Commander を起動することができます。
- ・ボタンを表示させるには事前に[環境設定]ウィンドウ>[メニュー]で設定が必要です。
- ・操作方法「ArobaViewCommander 設定 & 操作マニュアル」をご参照ください。

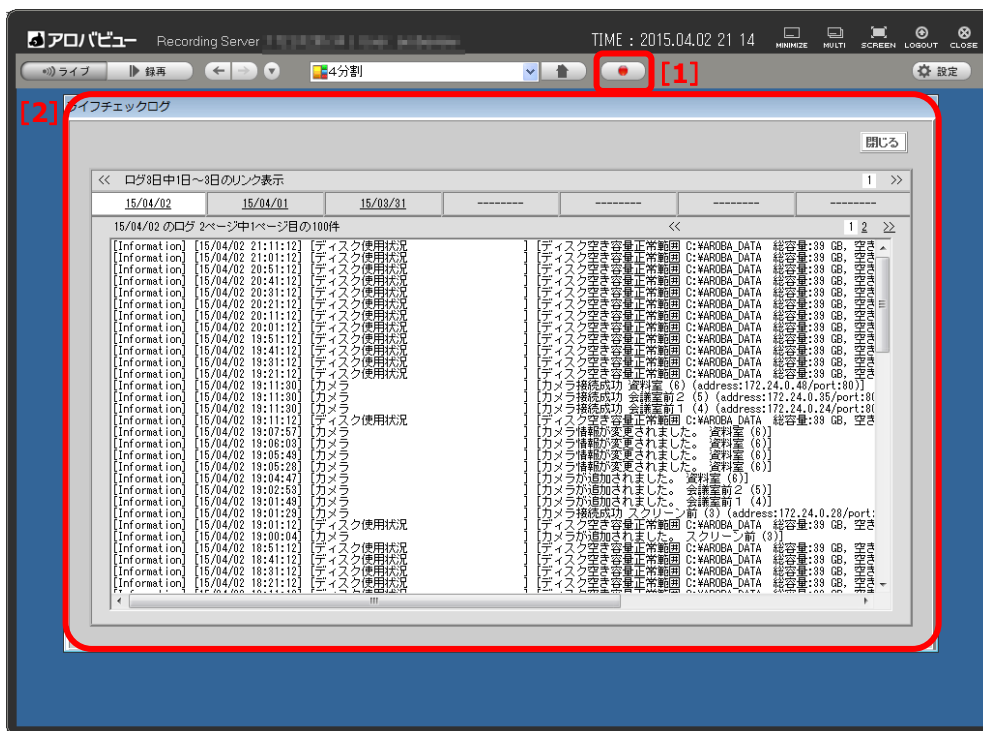





- ・[環境設定ウィンドウ]>[メニュー]








10.1.5 ライフチェックコンソール機能を使用するには

- ・ライフチェックボタンを使用することで、クライアント PC からライフチェックログの閲覧や、ライフチェックの結果をアロバビュークライアントに通知することができます。
- ・ライフチェックボタンは、初期設定では非表示になっています。表示するには、[環境設定]ウィンドウ>[メニュー]で事前に設定が必要です。
- ・ライフチェック機能は、カメラへの接続確認・サーバーへの接続確認・ストレージ消費量の監視を行っています。




<p>[1]ライフチェックインジケータ</p>	<p>ライフチェックの状態を色によって表わすインジケータです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  正常状態 </div> <div style="text-align: center;">  警告状態 </div> <div style="text-align: center;">  異常状態 </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ボタンをクリックすると、[2]ライフチェックログが開きます。 ・状態遷移時に点滅します。ライフチェックボタンをクリックし、ライフチェックログを閲覧(確認)すると、点灯に変わります。 ・点灯状態は、次の状態遷移が発生するまで続きます。
<p>[2]ライフチェックログ</p>	<p>[管理者設定]の[ログ閲覧]—[ライフチェックサービス]の内容をそのまま表示します。</p> <p>※ログ閲覧を行えるのは、システム管理者またはカメラグループ管理者の権限を持ったユーザーのみです。</p>

● ライフチェックインジケータの表示について

表示	状態	ログ確認状況
点滅 	異常あり	未確認の異常・警告がある
点灯 	異常あり	未確認の異常・警告がない
点滅 	警告あり (異常なし)	未確認の警告がある
点灯 	警告あり (異常なし)	未確認の警告がない
点灯 	すべて正常	—

Point

・アロバビューククライアントを起動または再起動した直後は、ライフチェック状態が読み込まれるまで、インジケータの表示は Disable 状態()になります。

・サーバー接続エラー(=ライフチェックサービスとの接続エラー)により、ライフチェック情報が取得できない場合、インジケータの表示は、[赤:点滅]します。このとき、ボタンをクリックすると、「サーバーとの接続に失敗しました。」とエラーメッセージを表示します。

サーバーとの接続に失敗しました。

▶ OK

10.1.6 スナップショットを撮影するには

- ・カメラツールバーの[スナップショット]アイコンをクリックすると、表示しているカメラ画像のスナップショットを、設定したフォルダに JPEG 形式画像として保存します。
- ・[環境設定ウィンドウ>[保存]で、事前にスナップショット保存先フォルダの設定が必要です。



10.1.7 スナップムービーを録画するには

カメラツールバーの[スナップムービー]アイコンをクリックすると、表示しているカメラ画像の録画が開始されます。再度、[スナップムービー]アイコンをクリックすると、録画を停止します。



- ・[環境設定ウィンドウの[保存]タブメニューで、スナップムービーの保存先フォルダが指定されていないと、スナップムービー機能は使用できません。また、スナップムービーの録画時間は、最长で1分となっています。1分を過ぎると[スナップムービー]アイコンを再度クリックしなくても、自動的に録画を停止します。
- ・スナップムービーは音声非対応です。録音することはできません。

10.1.8 カメラを操作するには

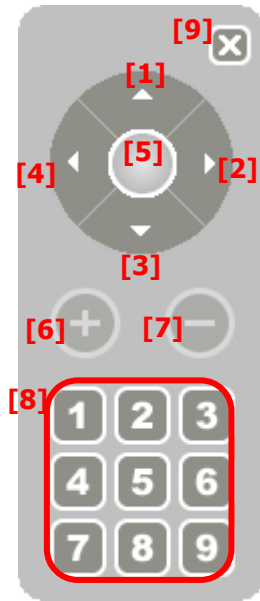
カメラツールバーの[カメラ操作]アイコンをクリックすると、[カメラ操作リモコン]パネルが表示されます。



- ・カメラ操作機能に対応したカメラのみ、[カメラ操作]アイコンが有効になります。
- ・カメラ操作機能に対応したカメラでも、ログインユーザが、カメラ操作権限のないユーザだった場合、[カメラ操作]アイコンは無効になります。カメラ操作権限は、[管理者設定]の[ユーザ権限]で設定します。

※カメラにプリセット機能がついていても、アロバビューが機能サポートしていない場合があります。詳細は、製品 Web ページ (<http://www.arobaview.com/>) よりご確認ください。

▼カメラ操作リモコンパネル



コントロールボタン	
[1]	カメラを上に向けます。
[2]	カメラを右に向けます。
[3]	カメラを下に向けます。
[4]	カメラを左に向けます。
[5]	カメラをホームポジションに戻します。
ズームボタン(対応機種のみ)	
[6]	ズームインします。
[7]	ズームアウトします。
プリセットボタン(対応機種のみ)	
[8]	カメラに記憶されているプリセット位置を表示します。
[9]	カメラ操作リモコンパネルを閉じます。


CAUTION プリセット機能について

・プリセットとは、それぞれの番号にあらかじめ決められた位置を設定しておく機能です。プリセット機能が搭載されたカメラのみ利用できます。プリセットの設定は、カメラ側で行ってください。また、設定されていない番号は、ボタンをクリックしても動作しません。

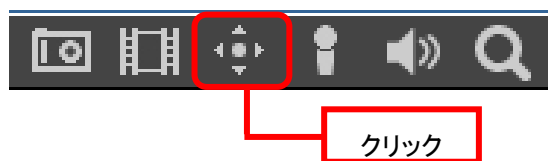
10.1.9 ジョイスティックコントロール機能を使用するには

ジョイスティックコントロール機能は、ジョイスティックコントローラを使用して、カメラのパン・チルト・ズームを行うことができます。

※ジョイスティックコントロール機能は、カメラ側の機能、アロバビューの対応状況に依存します。

※ジョイスティックコントロール機能を使用するには、アロバビューがサポートするジョイスティックコントローラが必要です。詳細は、製品 WEB ページをご参照ください。

- 1 ジョイスティックコントローラをクライアント PC に接続します。
- 2 カメラツールバーの[カメラ操作]アイコンをクリックすると、[カメラ操作リモコン]パネルが表示されます。



・カメラ操作機能に対応したカメラのみ、[カメラ操作]アイコンが有効になります。
・カメラ操作機能に対応したカメラでも、ログインユーザが、カメラ操作権限のないユーザーだった場合、[カメラ操作]アイコンは無効になります。カメラ操作権限は、[管理者設定]→[ユーザ権限]で設定します。

- 3 ジョイスティックコントローラを操作することにより、カメラのパン・チルト・ズーム操作を行うことができます。

※ジョイスティックコントローラの動作は、ジョイスティックコントローラの仕様に依存します。設定方法等については、ジョイスティックコントローラのマニュアルをご参照ください。

10.1.10 クリックオンセンタリング機能を使用するには

クリックオンセンタリング機能は、ライブ画面上のクリックした地点を、ライブ画面の中央に移動させる機能です。

※クリックオンセンタリング機能は、カメラ側の機能、アロバビューの対応状況に依存します。

1. カメラツールバーの[カメラ操作]アイコンをクリックすると、[カメラ操作リモコン]パネルが表示されます。



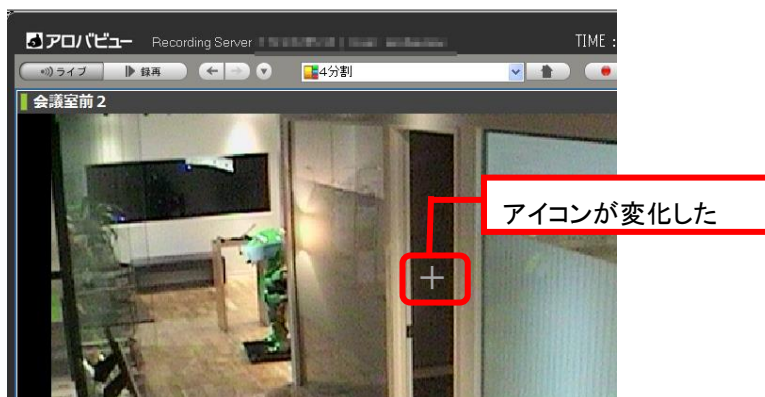
- ・カメラ操作機能に対応したカメラのみ、[カメラ操作]アイコンが有効になります。
- ・カメラ操作機能に対応したカメラでも、ログインユーザが、カメラ操作権限のないユーザだった場合、[カメラ操作]アイコンは無効になります。カメラ操作権限は、[管理者設定]の[ユーザ権限]で設定します。

2. クリックオンセンタリングを実行したいビュー上に、マウスを移動すると、カーソルのアイコンが、「+」に変化します。

中央に移動させたい地点を左クリックします

※クリックオンセンタリング可能なビュー上でのみ変化します。

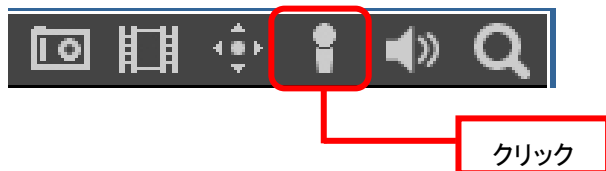
※「+」カーソルはビューの映像に応じて明度が自動的に調整されますが、映像によってはカーソルを識別し辛くなる場合があります。



3. クリックした地点が、画面中央に移動します。

10.1.11 PC 側から音を出すには（発声）

メニューバーの[マイク]アイコンをクリックすると、モニタリングしているパソコンのマイクを使って、カメラのスピーカーから音声を発声できます。再度[マイク]アイコンをクリックすると音声の発声を中止します。



- カスタムビューでの発声について

カスタムビューで複数のカメラを表示している場合、カメラAのスピーカーから音声を発声中に、カメラBの[マイク]アイコンをクリックすると、カメラAのスピーカーからの発声を停止し、カメラBのスピーカーからの発声を開始します。



- ・カメラに音声出力機能を搭載したカメラのみ、[マイク]アイコンが有効になります。また、カメラ側にはスピーカー、クライアント PC 側にはマイクなど、音を出力するための環境が必要です。
- ・音声出力機能に対応したカメラでも、ログインユーザーが音声権限のないユーザーだった場合、[マイク]アイコンは無効になります。音声権限は、[管理者設定]の[ユーザ権限]で設定します。
- ・ご使用の環境によっては、断音やノイズが発生や、映像と音声の間に遅延が生じる場合があります。

※カメラに音声出力機能がついていても、アロバビューが機能サポートしていない場合があります。詳細は、製品 Web ページ（<http://www.arobaview.com/>）よりご確認ください。

10.1.12 PC 側で音声を聞くには（集音）

メニューバーの[スピーカー]アイコンをクリックすると、カメラに搭載または、接続されたマイクが拾った音を、モニタリングしているパソコンのスピーカーで出力します。再度[スピーカー]アイコンをクリックすると、音の出力を中止します。



- カスタムビューでの集音について

カスタムビューで複数のカメラを表示している場合、カメラAでマイク音を集音中に、カメラBの[スピーカー]アイコンをクリックすると、カメラAのマイク音の集音を停止し、カメラBのマイク音の集音を開始します。



- ・カメラに音声入力機能を搭載したカメラのみ、[スピーカー]アイコンが有効になります。また、カメラ側にはマイク、クライアント PC 側にはスピーカーなど、音を発声するための環境が必要です。
- ・音声出力機能に対応したカメラでも、ログインユーザが音声権限のないユーザーだった場合、[スピーカー]アイコンは無効になります。音声権限は、[管理者設定]の[ユーザ権限]で設定します。
- ・ご使用の環境によっては、断音やノイズが発生や、映像と音声の間に遅延が生じる場合があります。

※カメラに音声入力機能がついていても、アロバビューが機能サポートしていない場合があります。詳細は、製品 Web ページ (<http://www.arobaview.com/>) よりご確認ください。

10.1.13 デジタルズームを使うには

カメラツールバーの[デジタルズーム]アイコンをクリックすると、マウスカーソルが虫眼鏡アイコンに変化します。その状態でクリックすると、虫眼鏡アイコンがある場所を中心に、カメラ画像を最大 10 倍まで拡大して表示(デジタルズーム)します。

虫眼鏡アイコンの状態では、右クリックすると画像をズームアウトします。

Point

デジタルズーム機能は、ズーム機能が搭載されていないカメラでも利用できます。

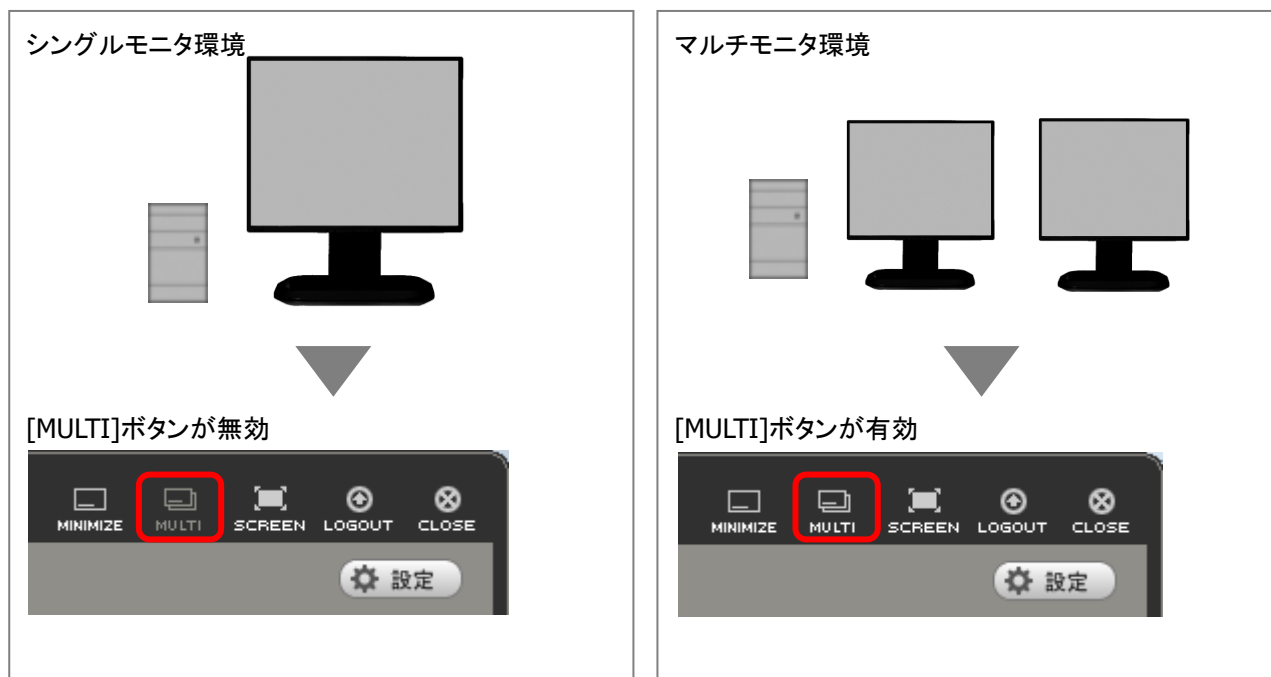


▼ズームしたい場所でクリックします。

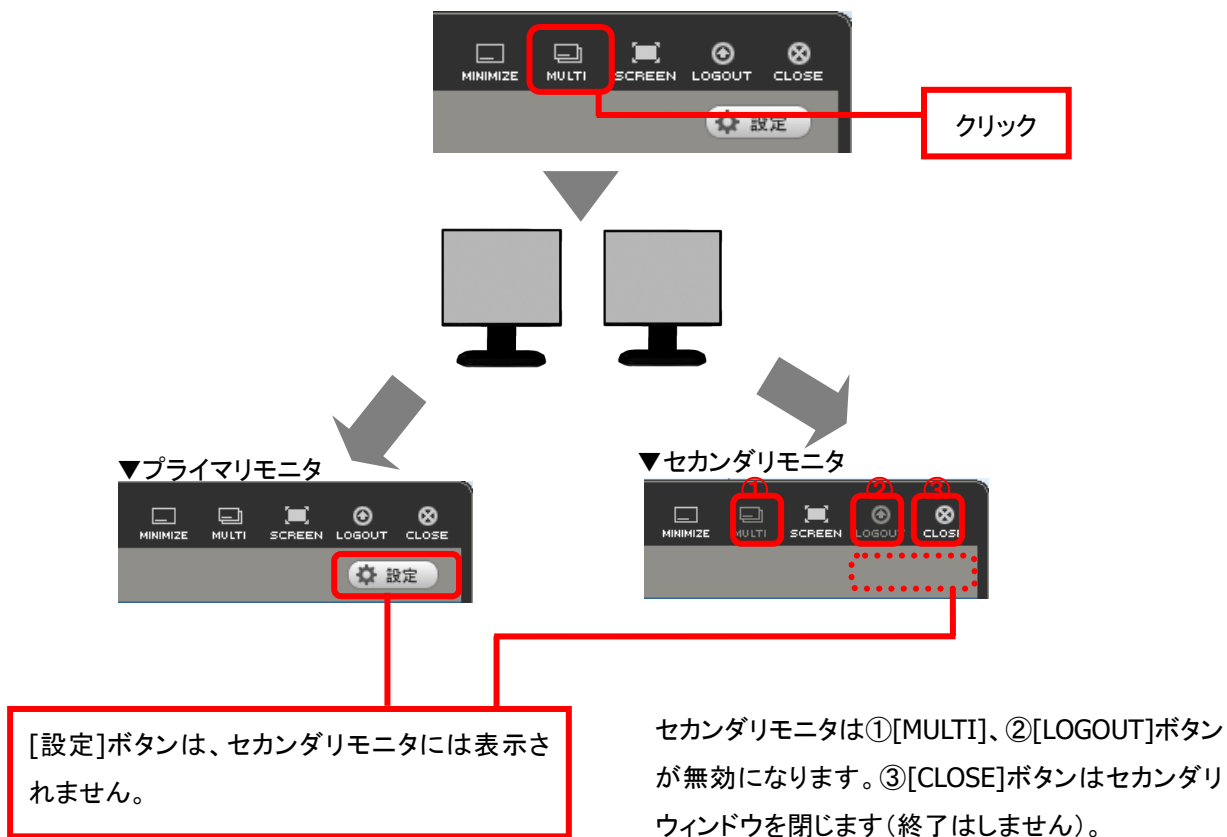


10.1.14 マルチモニタで使用するには

マルチモニタで使用するには、ご使用のクライアントがマルチモニタ環境である必要があります。



1. プライマリモニタで、[MULTI]ボタンを押すと、セカンダリモニタにアロバビューウィンドウが表示されます。



Point

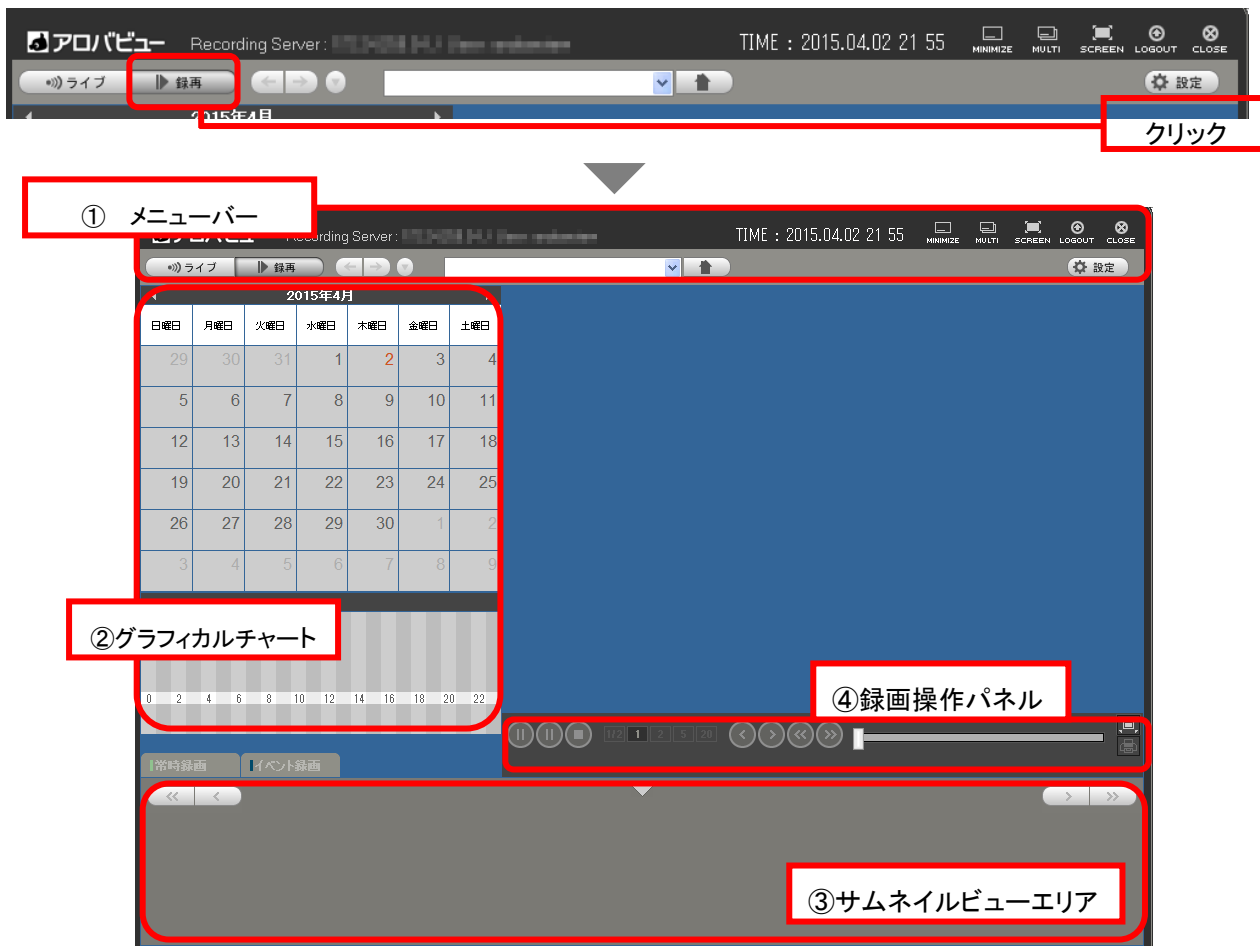
マルチモニタ使用時は、プライマリウィンドウ、セカンダリウィンドウで別々のカメラビューおよび、カスタムビューを表示することができます。

[環境設定]の[マップ]タブの中の、「プライマリモニタで選択したビューをセカンダリモニタに表示する」にチェックが入っている場合、プライマリモニタにマップを表示し、セカンダリモニタにカメラビューが表示されます。マップについては、「マップビュー 設定 & 操作マニュアル」をご参照ください。

10.2 録再モード

メニューバーの[録再]ボタンをクリックすると、表示画面が録再モードに切り替わります。録再モードでは、常時録画およびイベント録画されたデータを指定して再生できます。

10.2.1 録画データを再生するには



- ① メニューバーから、再生したいカメラビュー／カスタムビューを選択します。
(※「カメラ／カスタムビューを選択するには」参照)
- ② グラフィカルチャートから、再生する日時の録画データを指定します。
(※「グラフィカルチャートから録画データを探すには」参照)
- ③ 常時録画またはイベント録画のいずれかを選択し、サムネイルビューエリアから、再生するシーンを選択します。
(※「サムネイルから録画データを探すには」参照)
- ④ 録画操作パネルで録画データを操作します
(※「さまざまな再生方法」参照)

- **常時録画とイベント録画**

アロバビューは、カメラの画像を動画としてサーバーに記録(録画)できます。録画には「常時録画」と「イベント録画」の2つのモードがあります。

常時録画は、録画スケジュールが設定されているすべて時間内のすべてのカメラ画像を保存するモードです。例えば、24 時間録画スケジュールを設定すれば、一日中いつでも録画を行います。常時録画モードでは、カスタムビューで設定された複数のカメラを同時に再生するシンクロ再生も可能です。

イベント録画は、設定された録画スケジュールの間にイベントが発生した場合にのみ録画を行うモードです。24 時間録画スケジュールが設定されていても、イベントが発生しなければ、何も録画しません。

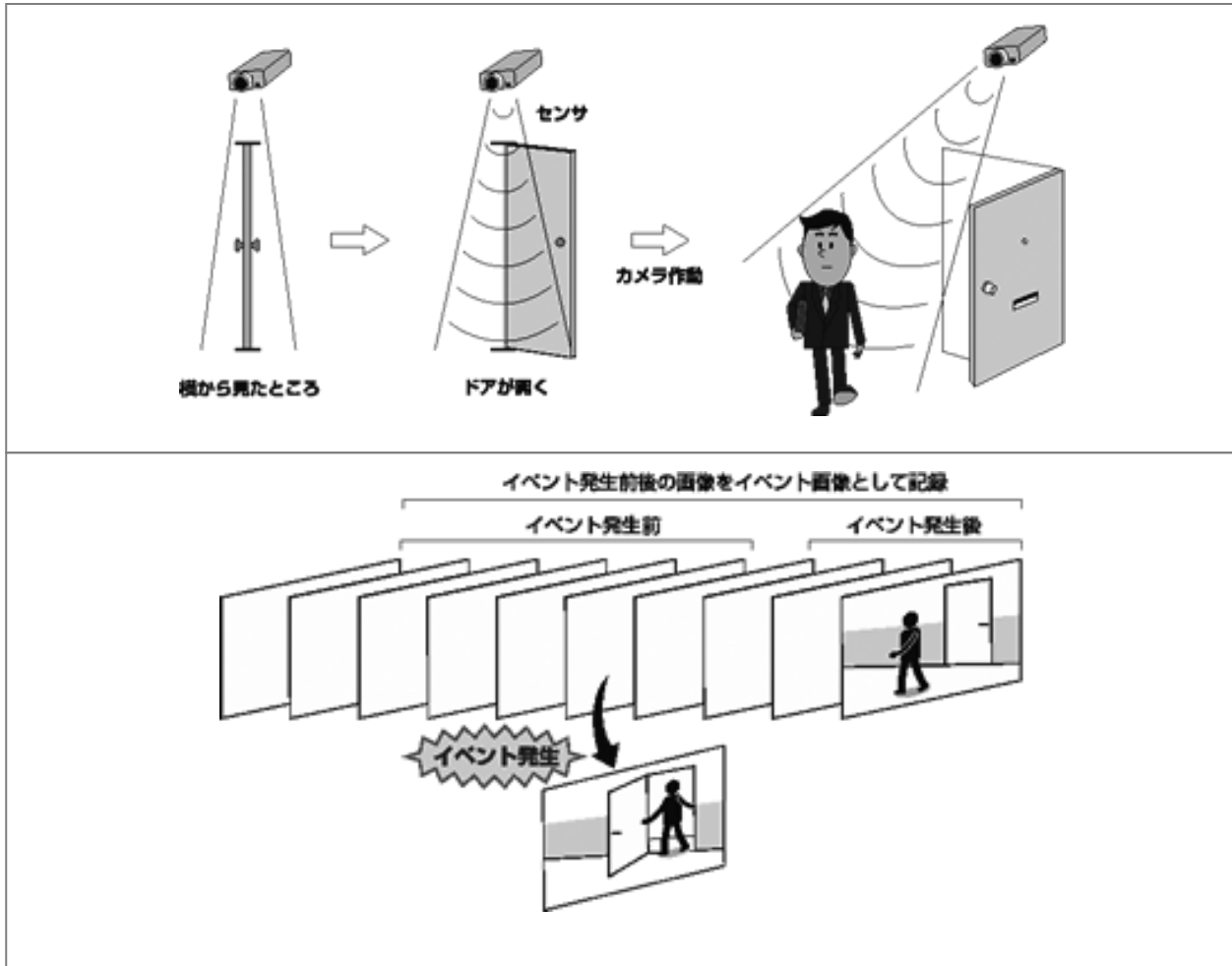


常時録画、イベント録画を行うには、[管理者設定]の[カメラ]で常時録画／イベント録画を有効にし、[録画スケジュール]で録画する曜日と時間帯を指定する必要があります。

● イベントとは

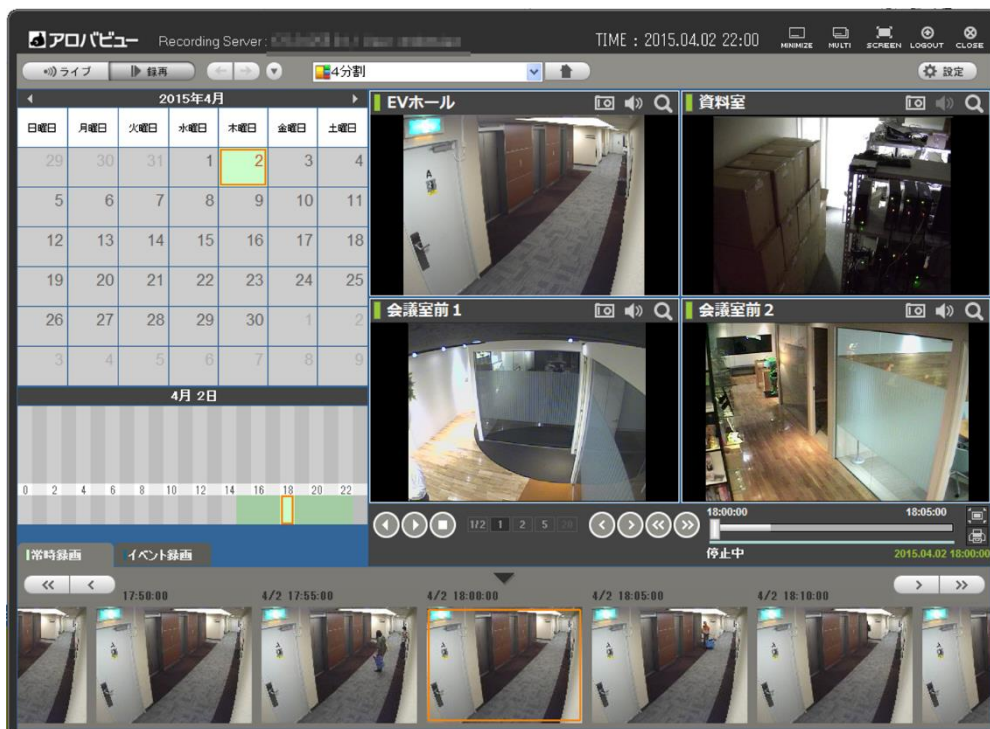
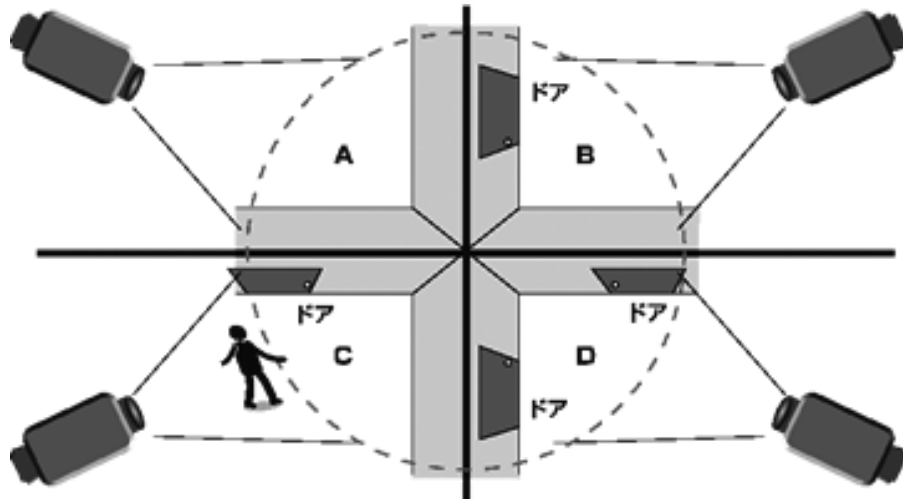
イベントとは、動体検知機能を搭載したカメラや、カメラに接続されたセンサに入力がある場合、例えば、赤外線センサの範囲内で何かが動いた場合などを指します。カメラをドアセンサ等に繋げておけば、ドアの開閉がある度に、カメラの画像を記録し、イベントとして表示します。

【イベントの例】



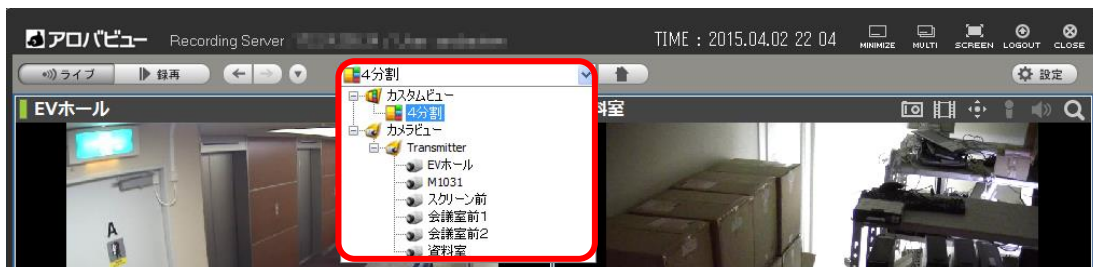
● シンクロ再生とは

アロバビューには、カスタムビューで設定されたカメラと同じ構成で、録画データを再生する機能が搭載されています。すべてのカメラ画像が同時再生されることから、これをシンクロ再生と呼びます(常時録画のみ)。

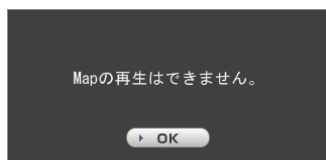


10.2.2 再生したいビューを選択するには

メニューバーの[ビューリスト]プルダウンメニューから、再生したいカメラビュー／カスタムビューを選択すると、選択したビューが表示されます。



・マップビューを選択して再生することはできません。



・ローテーションを設定したカスタムビューを選択して再生することはできません。



- ・ビューリストにはアロバビューに登録されているカメラビュー／カスタムビュー／マップビューのうち、ログインしているユーザーにモニタリング権限があるもののみが表示されます。
- ・カメラビュー／カスタムビューの登録については[管理者設定]の[カメラ]および[カスタムビュー]、モニタリング権限の設定については、[管理者設定]の[ユーザ権限]をそれぞれご覧ください。
- ・マップについては、「マップビュー 設定 & 操作マニュアル」をご参照ください。

10.2.3 グラフィカルチャートから録画データを探すには

グラフィカルチャートには、選択したカメラビュー／カスタムビューに対応した録画データがグラフとして表示されます。

[1] ◀ [2]

2010年1月						
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1	2	3	4	5	6

[3] 8

[4]

カレンダーの操作	
[1]	前の月を表示
[2]	次の月を表示

表示について	
[3]	常時録画データがあります。
[4]	イベント録画データがありません。

カレンダーの録画データがある日付をクリックすると、カレンダーの下にあるタイムチャートに、24 時間ごとの録画データがグラフで示されます。

クリック

タイムチャートは、時間表示部分を挟んで、[5] 上がイベント録画の件数、[6] 下が常時録画時間を表しています。

[5] イベント録画件数

[6] 常時録画時間

Point

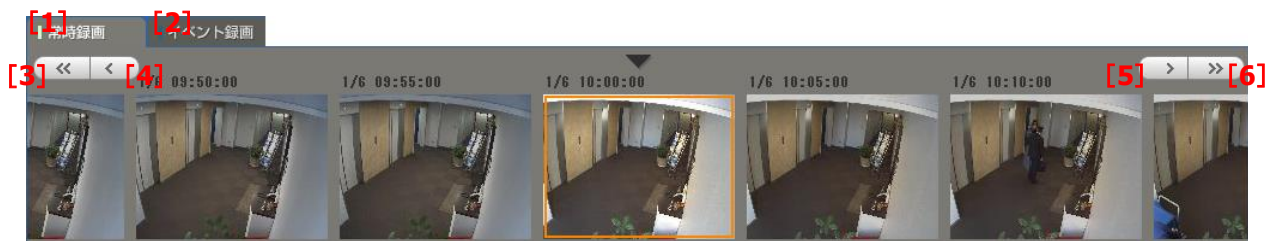
イベント録画のグラフ高はイベントの発生数に比例しており、カーソルを合わせると、イベント発生数が表示されます。

タイムチャートのグラフをクリックすると、サムネイルビューエリアに録画データがサムネイル表示されます。

10.2.4 サムネイルから録画データを探すには

サムネイルビューエリアには、グラフィカルチャートで指定した日時の録画データがサムネイル表示されます。サムネイルビューエリアのボタンを操作することによって、サムネイル画像の中から目的の画像をすばやく見つけ出すことができます。

サムネイル画像は、常時録画では 5 分毎、イベント録画ではイベント毎に生成されます。



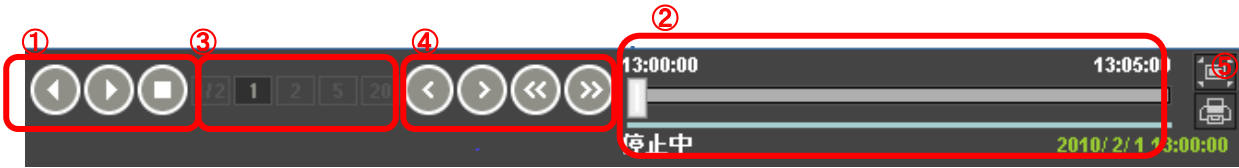
サムネイルビューエリア	
[1]常時録画	グラフィカルチャートで選択した日時の常時録画データをサムネイル表示します。
[2]イベント録画	グラフィカルチャートで選択した日時のイベント録画データをサムネイル表示します。イベント発生時前後 1 つ目の I フレームをサムネイルとして使用します。
[3]ページスクロールボタン	現在表示されているサムネイルページの 1 つ前のページを表示します。
[4]フレームスクロールボタン	現在表示されているサムネイルフレームの 1 つ前のフレームを表示します。押し続けるとスピーディにさらに前のサムネイルに移動します。
[5]フレームスクロールボタン	現在表示されているサムネイルフレームの 1 つ後のフレームを表示します。押し続けるとスピーディにさらに後のサムネイルに移動します。
[6]ページスクロールボタン	現在表示されているサムネイルページの 1 つ先のページを表示します。



[常時録画]タブまたは、[イベント録画]タブをクリックすると常時録画とイベント録画を切り替えられます。ただし、録画データが存在しない場合には、もう一方のタブは選択できません。

10.2.5 さまざまな再生方法

サムネイルビューエリアから画像を選択した状態で、録画操作パネルでさまざまな再生／操作ができます。



① 再生ボタンを使用して再生するには

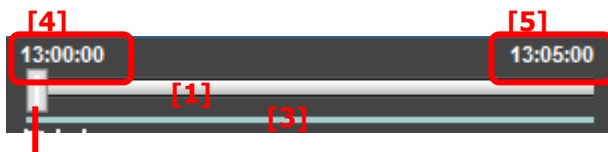
サムネイルビューエリアから画像を選択した状態で、録画操作パネルの再生ボタンをクリックすると、録画データの再生が開始されます。また、逆再生ボタンをクリックすると、録画データの逆再生が開始されます。



録画操作パネル	
[1]逆再生ボタン	選択した録画データを逆再生します。再生中は一時停止ボタンに変化します。
[2]再生ボタン	選択した録画データを順再生します。再生中は一時停止ボタンに変化します。
[3]停止ボタン	再生を停止します。次に再生ボタンをクリックすると、選択している録画データの先頭から再生が開始されます。
[4]一時停止ボタン	再生中は、[1]逆再生ボタン[2]再生ボタンが一時停止ボタンに変化します。一時停止ボタンをクリックすると、再生が一時中断し、次に再生ボタンをクリックすると、その場所から再生が再開されます。

② 再生スライダーを使用して再生するには

再生スライダーは、アロバビューサーバーからクライアント PC へのバッファリング状況を示しています。再生スライダー上の再生スライダーは、再生状況を表しており、再生時間に合わせて移動します。また、再生スライダーをマウスのドラッグ操作で移動させることにより、任意の位置から再生／逆再生することができます。

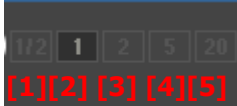


[2]

録画操作パネル	
[1]再生スライダー	再生可能部分が白く表示されます。
[2]再生スライダー	再生スライダー上を移動し、任意の時間を再生できます。
[3]録画データバー	録画データが存在する時間にバーが表示されます。
[4]再生データ開始時間	選択している録画データの開始時間が表示されます。
[5]再生データ終了時間	選択している録画データの終了時間が表示されます。

③ スピードを指定して再生するには

数字ボタンをクリックすることで、再生／逆再生スピードを、0.5 倍速／等倍速／2 倍速／5 倍速／20 倍速に指定することができます。



録画操作パネル	
[1] 1/2	0.5 倍速 (1/2 スロー) で再生／逆再生します。
[2] 1	等倍速で再生／逆再生します。
[3] 2	2 倍速で再生／逆再生します。
[4] 5	5 倍速で再生／逆再生します。
[5] 20	20 倍速で再生／逆再生します。

④ サムネイルビューエリアで選択した録画データを変更して再生するには

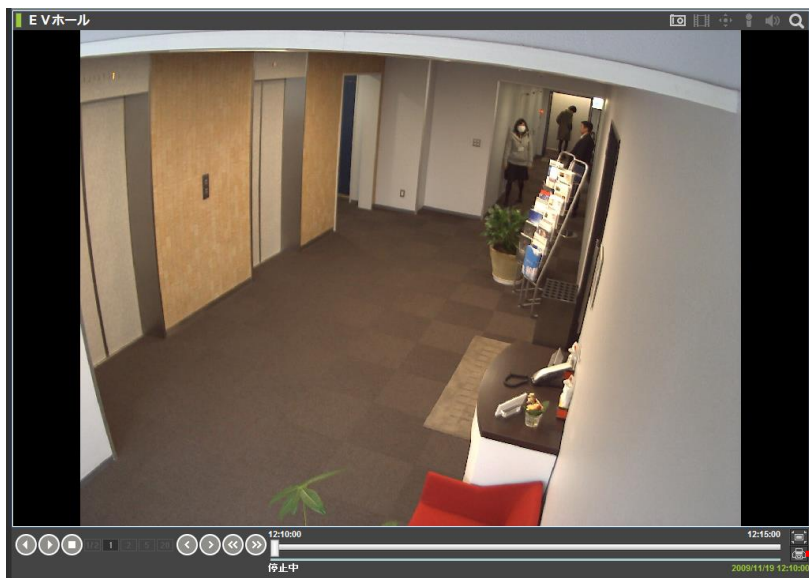
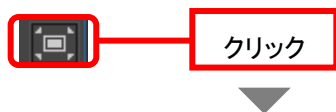
サムネイル画像から選択した録画データを変更するには、サムネイルビューエリアの別のサムネイル画像をクリックするか、録画操作パネルのボタンをクリックします。



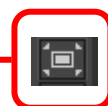
録画操作パネル		
	【イベント録画再生時】	【常時録画再生時】
[1]	1 件前のイベント録画データを表示します。	5 分前の常時録画データを表示します。
[2]	1 件後のイベント録画データを表示します。	5 分後の常時録画データを表示します。
[3]	10 件前のイベント録画データを表示します。	1 時間前の常時録画データを表示します。
[4]	10 件後のイベント録画データを表示します。	1 時間後の常時録画データを表示します。

⑤ フルスクリーンで再生するには

録画操作パネルの[フルスクリーン]ボタンをクリックすると、アロバビュークライアントの全画面を使って画像を表示します。



元に戻すには、[再生エリアを元に戻す]ボタンをクリックします。



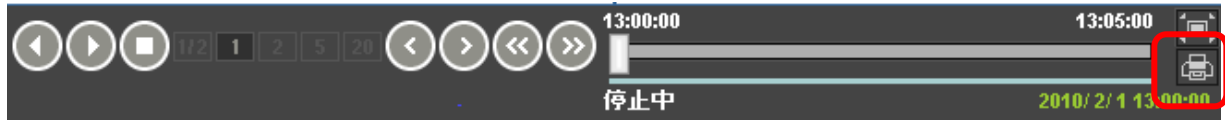
Point



[環境設定]の[全般]タブで、「カメラツールバー表示」と「メニューバー表示」のチェックをすべてはずしておく、モニター画面を最大限に利用して再生できます。ただし、録画操作パネルは常に表示されます。非表示に設定したメニューバーやカメラツールバーは、カーソルを画面上部に置くと表示されます。

10.2.6 録画したカメラ画像を印刷するには

録画操作パネルの[プリント]ボタンをクリックすると、[印刷]ダイアログボックスが表示され、カメラ画像を印刷できます。



録画データ再生中は、[プリント]ボタンはクリックできません。必ず、停止／一時停止状態にしてください。

10.2.7 スナップショットを撮影するには

カメラツールバーの[スナップショット]アイコンをクリックすると、表示しているカメラ画像のスナップショットを、設定した保存先フォルダにJPEG形式で保存します。



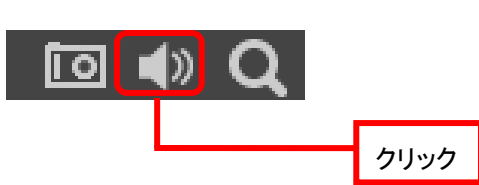
クリック



[環境設定]の[保存]タブで、スナップショットの保存先が指定されていないと、スナップショット機能は使用できません。

10.2.8 録音した音声を聞くには

カメラツールバーの[スピーカー]アイコンをクリックすると、カメラに搭載または、接続されたマイクが拾って記録した音声付の録画再生をします。再度、[スピーカー]アイコンをクリックすると、音声の再生を中止します。



録画の設定や、ご使用の環境によっては、音声と映像の再生にずれが生じる場合があります。

Point シンクロ再生時の音声付録画再生

再生するビューに、カスタムビューを選択した場合（シンクロ再生時）、カメラ A の音声を再生中に、カメラ B の[スピーカー]アイコンをクリックすると、カメラ A の音声再生を停止し、カメラ B の音声再生を開始します。



- ・カメラに音声入力機能を搭載したカメラのみ、[スピーカー]アイコンが有効になります。
- ・音声入力機能に対応したカメラでも、ログインユーザが音声権限のないユーザーだった場合、[スピーカー]アイコンは無効になります。音声権限は、[管理者設定]の[ユーザ権限]で設定します。

10.2.9 デジタルズームを使うには

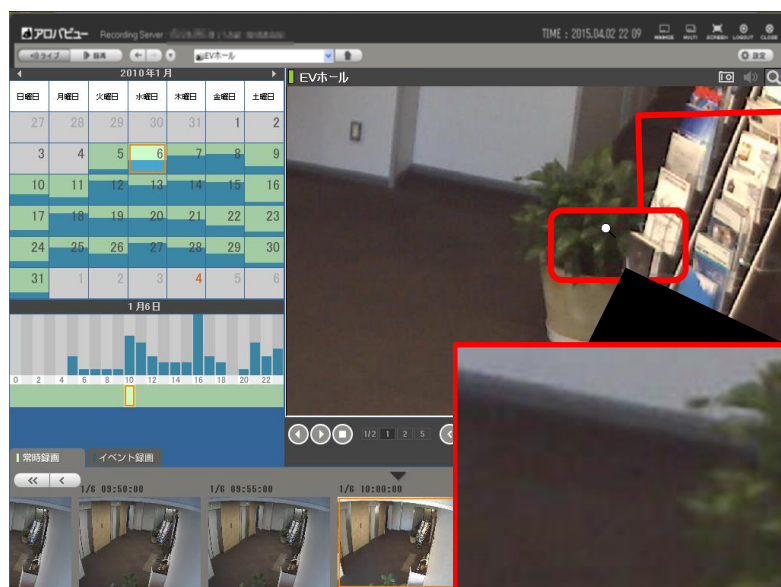
カメラツールバーの[デジタルズーム]アイコンをクリックすると、マウскарソルが虫眼鏡アイコンに変化します。その状態でクリックすると、虫眼鏡アイコンがある場所を中心に、カメラ画像を最大 10 倍まで拡大して表示(ズーム)します。

虫眼鏡アイコンの状態では、右クリックすると画像をズームアウトします。



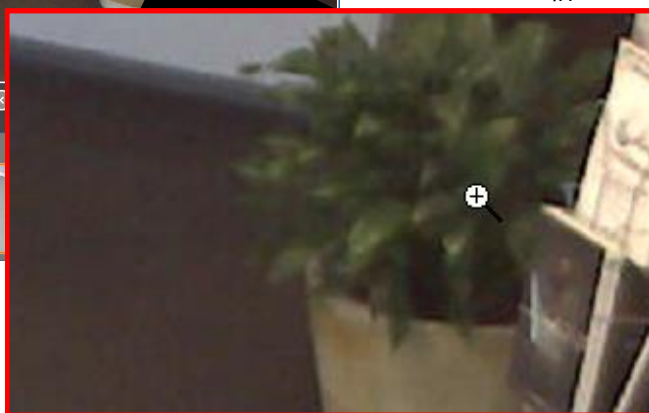
クリック

▼ズームしたい場所でクリックします。



虫眼鏡アイコンに変化した

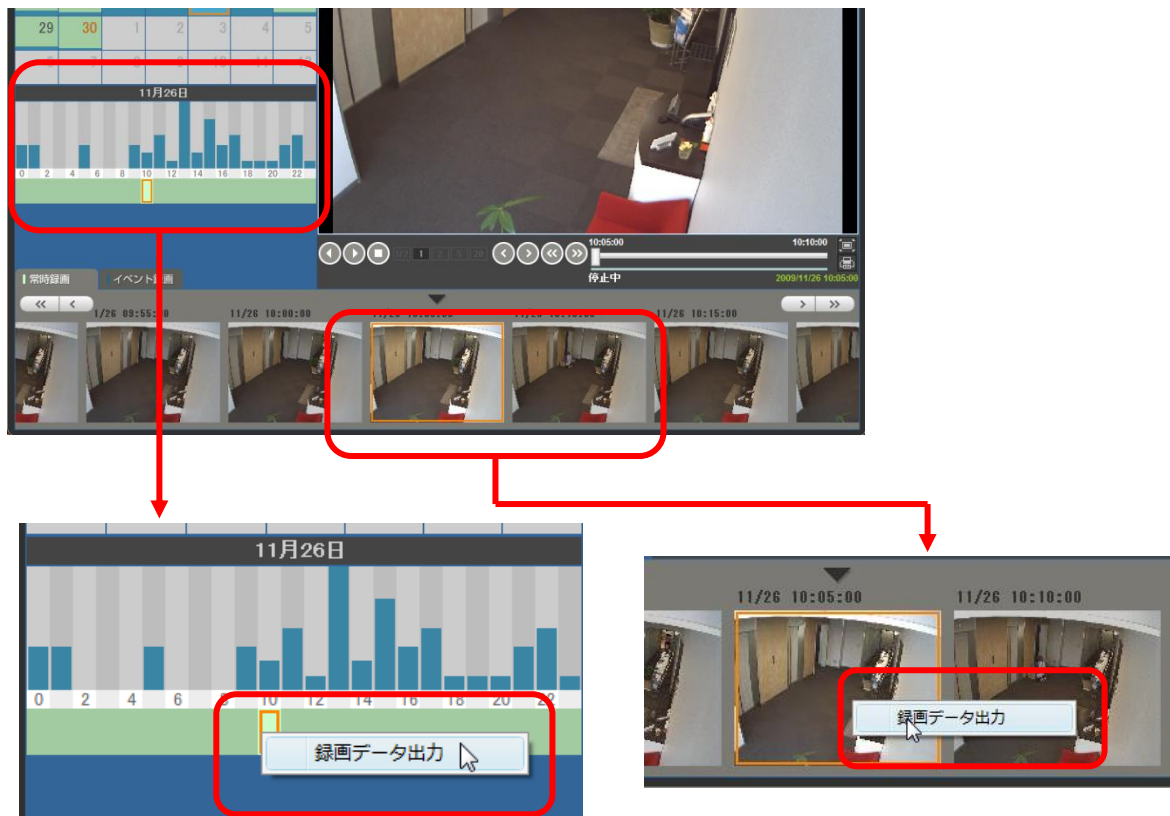
▼10倍ズーム



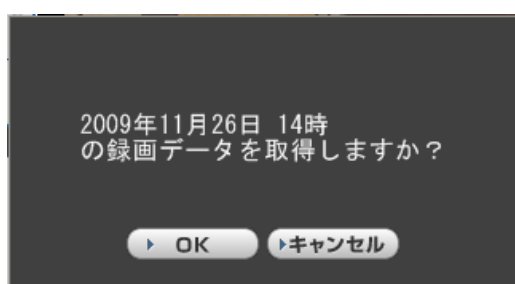
10.2.10 録画データをダウンロードするには

イベント録画および常時録画の録画データを、モニタリングしているパソコンにダウンロードできます。

1. グラフィカルチャートのグラフを右クリック、またはサムネイル画像を右クリックし、表示される右クリックメニューの[録画データ出力]を選択します



2. 確認ダイアログボックスが表示されます。<OK>をクリックすると、[環境設定]→[保存先]で指定したフォルダに、録画データをダウンロードできます。



[環境設定]→[保存先]タブで録画データの保存先を指定していないと、録画データのダウンロードはできません。

また、ダウンロードデータの再生には、専用アプリケーション(ArobaViewPlayer)が必要となります。

11 アンインストール

アロバビュークライアントのアンインストールは以下の手順で行います。

順番を間違えると、正常にアンインストールされない場合があります。必ず手順に従って作業してください。

1. アロバビュークライアントと IE を終了します。
2. IE を起動します。

32bit OS の場合・・・IE アイコンを右クリックして IE を「管理者として実行」してください

64bit OS の場合・・・IE アイコンをクリックして IE を起動してください。

IE の仕様により 64bit OS で IE を管理者として実行するとアロバビュークライアントのアンインストールができません

3. ブラウザの[ツール]メニューから[インターネットオプション]を開きます。



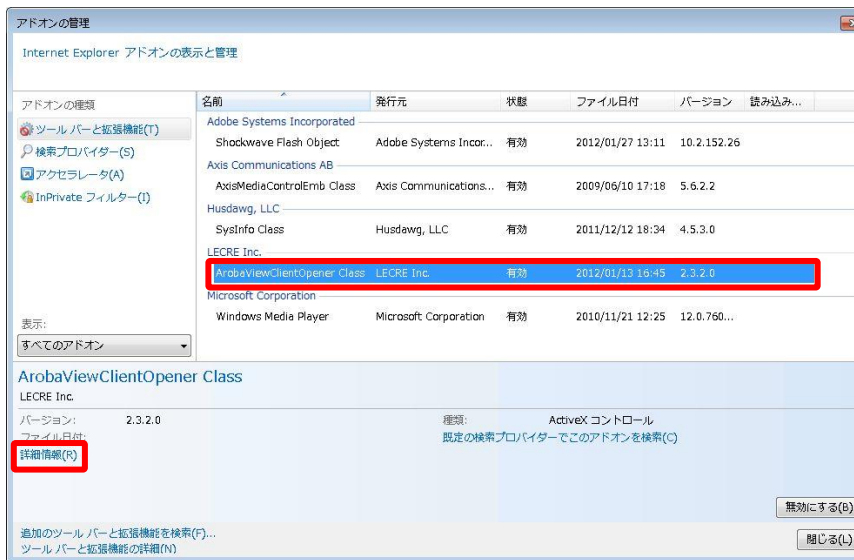
4. [プログラム]タブを表示し[アドオンの管理]をクリックします。



5. アドオンの管理の[表示]で「すべてのアドオン」を選択し[名前]をクリックします。



6. 「ArobaViewClientOpener Class」を選択し[詳細情報]をクリックします。



7. [削除]をクリックします。



8. 「ArobaViewClient をアンインストールしました。」というダイアログが表示されればアンインストールは完了です。



12 各種マニュアルの入手方法

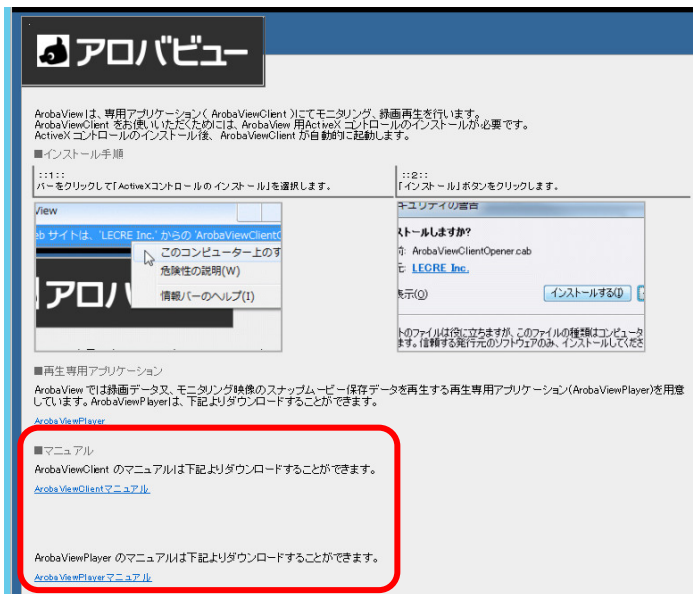
ここでは各種マニュアルの入手方法について解説します。

12.1 アロバビュークライアント 設定 & 操作マニュアル

12.2 再生専用アプリケーション ArobaViewPlayer 操作ガイド

Internet Explorer を起動し、アロバビューをインストールしたサーバーへアクセスし、マニュアルをダウンロードしてください。

- ・RS 単体構成の場合 <http://サーバーアドレス/rs/>
- ・ES 連携構成の場合 <http://サーバーアドレス/es/>



12.3 マップビュー 設定 & 操作マニュアル

Internet Explorer を起動し、MapEditor へアクセスし、マニュアルをダウンロードしてください。

- ・RS 単体構成の場合 <http://サーバーアドレス/rs/mapeditor/>
- ・ES 連携構成の場合 <http://サーバーアドレス/es/mapeditor/>



12.4 ArobaViewCommander 設定 & 操作マニュアル

InternetExplorer を起動し、ArobaViewCommander の設定画面へアクセスし、マニュアルをダウンロードしてください。

- ・RS 単体構成の場合 <http://サーバーアドレス/rs/setting/>
- ・ES 連携構成の場合 <http://サーバーアドレス/es/setting/>



13 制限事項

アロバビュークライアントをご利用の際の制限事項について記載します。

概要	高解像度・高画質・高レートでの H.264 フォーマット映像のライブモニタリングにて映像が乱れる。
詳細内容	H.264 フォーマット映像のライブモニタリングにおいて、解像度「1920x1080」、画質「100」、フレームレート「30」といった、高解像度・高画質・高レートのカメラ設定を行った場合、映像に乱れが発生する場合があります。
対処方法	解像度、画質、フレームレート各々の設定値を低めに調整すると解消されます。

概要	H.264 配信時にフレームレートを 1fps に設定すると映像にタイムラグが発生する。
詳細内容	配信フォーマットに H.264 を選択し、フレームレートを 1fps に設定した状態でモニタリングを行うと、アロバビュー クライアントでの映像表示に数秒の遅延が発生する場合があります。
対処方法	フレームレートを高め(5fps 以上)に設定すると解消されます。

14 トラブルシューティング

ここでは陥りがちなトラブルの解決方法について解説しています。

14.1 ログイン時

Q:アロバビュークライアント画面が表示されない

A:アロバビュークライアントは ActiveX コントロールを利用しています。従って、Internet Explorer のセキュリティ設定で ActiveX が無効になっていると動作しません。

コントロールパネルの[インターネットオプション]を開き、[セキュリティ]タブメニューで ActiveX の設定を確認してください。ActiveX が無効の設定になっている場合、有効になるよう、設定を変更してください。

Q:ログイン ID、パスワードを忘れた

A:システム管理者にお問合わせください。

Q:ログインできない

A:ユーザ ID とパスワードは間違っていないか？

サーバーでアロバビューサービスが開始されているかを、システム管理者に確認してください。

14.2 操作系

Q:アロバビュークライアント画面の時刻表示と画像が止まったままになる

A:何らかの原因によりネットワークが切断している可能性があります。クライアントのネットワーク接続を確認してください。

Q:モニタリング中の時間が正確ではない

A:アロバビュークライアントはアロバビューサーバーの時刻を参照して表示しています。表示時刻が正確でない場合、アロバビューサーバーの時刻がずれていることが考えられます。アロバビューサーバーの時刻を確認してください。

Q:常時録画の録画時間が正しくない

A:アロバビュークライアントはアロバビューサーバーの時刻を参照して表示しています。表示時刻が正確でない場合、アロバビューサーバーの時刻がずれていることが考えられます。アロバビューサーバーの時刻を確認してください。

ただし、サーバーの時刻を変更すると、それまでに録画したデータとの時刻の整合性が保てなくなるため、録画したデータは削除するようにしてください。

Q: イベント録画の録画時間が正しくない

A: イベント録画の時刻はカメラから取得しています。表示時間が正確でない場合、カメラの時刻設定が正確でないことが考えられます。カメラ側の設定時刻を確認してください。

ただし、カメラの時刻を変更すると、それまでに録画したデータとの整合性が保てなくなるため、録画したデータは削除するようにしてください。

Q: イベント録画設定が有効にならない

A: イベント録画は、センサ連動機能や、動体検知が搭載されたカメラのみ設定可能になります。

また、上記の機能を搭載したカメラであっても、アロバビューで機能サポートしていない場合、イベント録画の機能を使用することはできません。

Q: マルチ画面表示にすると、表示速度がとても遅くなる

A: 表示速度は、クライアント PC のスペックおよび、回線帯域に依存します。多くの画面を表示させる場合、より高いパフォーマンスが要求されます。クライアント PC の推奨環境でご利用ください。

Q: 録画レートが設定よりも低いことがある

A: カメラとアロバビューサーバー間の帯域が狭い場合、あるいは同時接続ユーザーの多いカメラの場合、録画レートが設定したレートを下回る場合があります。

Q: イベントが発生しても録画されない

A: カメラ側の設定により、正しくアロバビューサーバーに画像ファイルが送られない場合があります。カメラ側の設定をご確認ください。

14.3 カメラ関連

Q: カメラの登録ができない

A: システム管理者またはカメラグループ管理者の権限がなければ、カメラの新規登録を行えません。管理者権限を持つユーザ ID でログインし直してください。

Q: モニタリングの画像サイズ、画質が設定できない

A: カメラの機種によってモニタリングの画像サイズ、画質が設定できない機種があります。その場合には、録画の設定と同じ画像サイズ、画質で表示されます。

Q: カメラの画像が映らない

A: カメラが正しくネットワークに接続されているかを確認してください。カメラが別のネットワーク上にある場合には、カメラ側のネットワークルーターで NAT が正しく設定されているかを確認してください。

Q:特定のカメラで表示速度が遅い

A:同時接続に制限のあるカメラの場合、接続しているユーザー数が制限を超えると表示が遅くなる場合があります。

Q:カメラの操作ボタンをクリックしてもカメラが動かない

A:カメラ側の設定で操作を拒否している場合があります。カメラ側の設定を確認してください。

また、アロバビューのユーザ限設定により、カメラ操作権限が与えられていないと、カメラ操作アイコンをクリックできません。ユーザ権限設定をご確認ください。